



Level



Pressure



Flow



Temperature



Liquid
Analysis



Registration



Systems
Components



Services

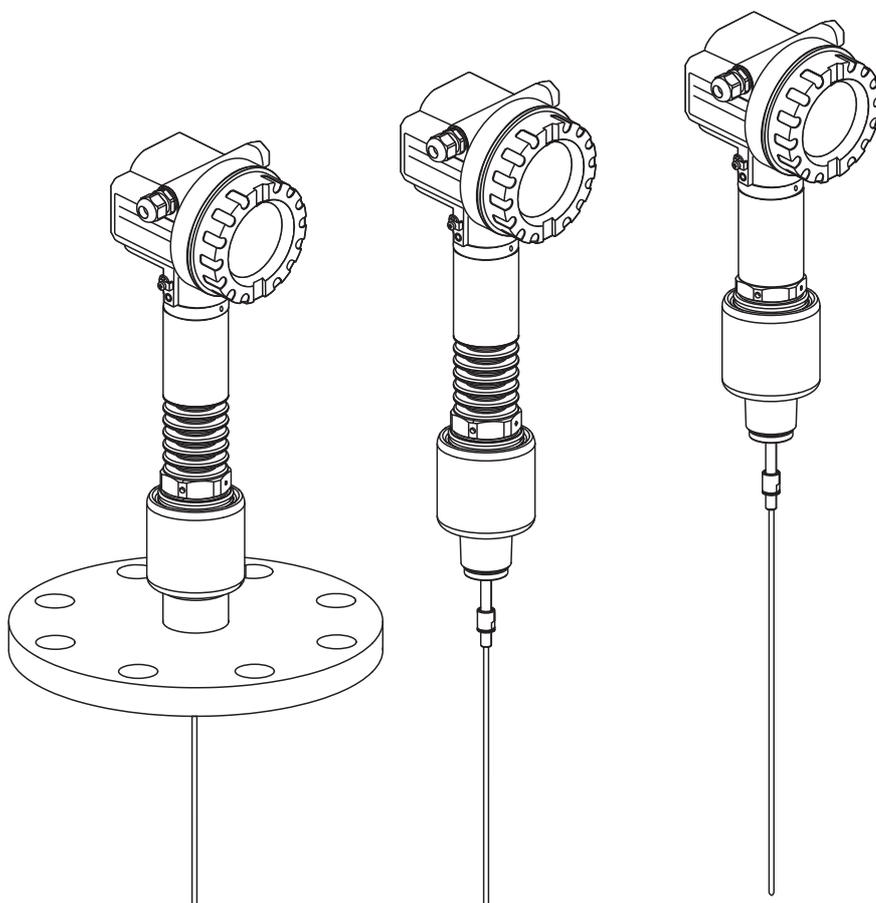


Solutions

取扱説明書

レベルフレックス M FMP45

ガイドレーダーレベル計



BA00279F/33/JA/15.11

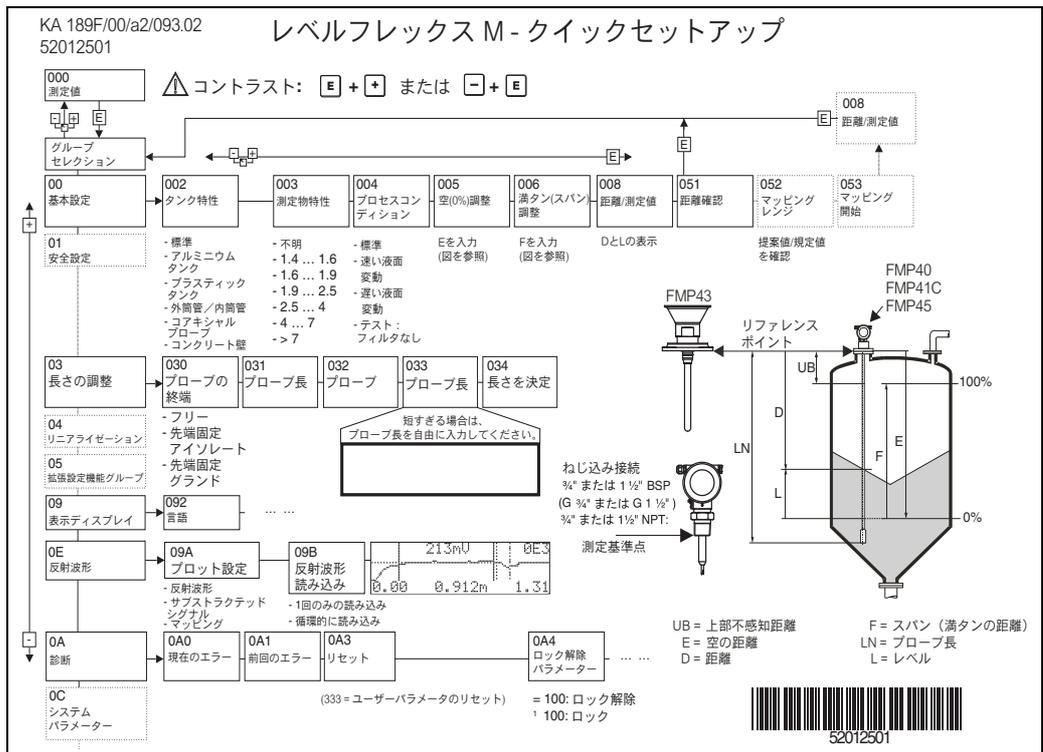
ソフトウェアバージョン:
01.04.zz

Endress+Hauser 

People for Process Automation

エンドレスハウザー ジャパン株式会社

機能説明の概要



注意!

この取扱説明書では、レベル伝送器の設置および初期スタートアップについて説明します。本書には、標準的な測定作業に必要な機能がすべて考慮されています。さらにレベルフレックス M は、測定点の最適化、測定値の変換といったこの取扱説明書には記載されていない他の機能も備わっています。

機器のすべての機能の概要については 86 ページを参照してください。

機器のすべての機能の詳細については、取扱説明書 BA00245F「機能説明書」を参照してください。このマニュアルは、同梱の CD-ROM に格納されています。

取扱説明については、ホームページ "www.endress.com" も参照してください。

※本機器を安全にご使用いただくために

●本書に対する注意

- 1) 本書は、最終ユーザまでお届けいただきますようお願いいたします。
- 2) 本製品の操作は、本書をよく読んで内容を理解した後に行なってください。
- 3) 本書は、本製品に含まれる機能詳細を説明するものであり、お客様の特定目的に適合するものではありません。
- 4) 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複製することは固くお断りいたします。
- 5) 本書の内容については、将来予告無しに変更することがあります。
- 6) 本書の内容については、細心の注意をもって作成しましたが、もし不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら当社営業所・サービスまたはお買い求めの代理店までご連絡ください。

●本製品の保護・安全および改善に関する注意

- 1) 当該製品および当該製品で、制御するシステムの保護・安全のため当該製品を取り扱う際には、本書の安全に関する指示事項に従ってください。なお、これらの指示事項に反する扱いをされた場合は、当社は安全性の保証をいたしません。
- 2) 本製品を、安全に使用していただくため本書に使用するシンボルマークは下記の通りです。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、大けがをしたりするほか、爆発・火災を引き起こす恐れがあります。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、大けが、爆発、火災の恐れがあります。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、けが、物的損害の恐れがあります。

図番号の意味



記号は、警告（注意を含む）を促す事項を示しています。
の中に具体的な警告内容（左図は感電注意）が描かれています。



記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
の中や近くに具体的な禁止内容（左図は一般的禁止）が描かれています。



この記号は、必ずしてほしい行為を示しています。
の中に具体的な指示内容（左図は一般的指示）が描かれています。

●電源が必要な製品について

- 1) 電源を使用している場合
機器の電源電圧が、供給電源電圧に合っているか必ず確認した上で本機器の電源をいれてください。
- 2) 危険地区で使用する場合
「新・工場電気設備防爆指針」に示される爆発性ガス・蒸気の発生する危険雰囲気でも使用できる機器がございます（0 種場所、1 種場所および 2 種場所に設置）。設置する場所に応じて、本質安全防爆構造・耐圧防爆構造あるいは特殊防爆構造の機器を選定して頂きご使用ください。
これらの機器は安全性を確認するため、取付・配線・配管など十分な注意が必要です。また保守や修理には安全のために制限が加えられております。
- 3) 外部接続が必要な場合
保護接地を確実にしてから、測定する対象や外部制御回路への接続を行ってください。

●製品の返却に関する注意

製品を返却される場合、いかなる事情でも弊社従業員と技術員および取り扱いに関わるすべての関係者の健康と安全に対する危険性を回避するために、適正な洗浄を行なってください。
返却時には必ず添付「洗浄証明書」に記入していただき、この証明書と製品を必ず一緒にお送りください。
必要事項を記入して頂かない限り、ご依頼をお受けすることができません。
また返却の際、弊社従業員あるいは技術員と必ず事前に打ち合わせの上、返却をしてください。

Declaration of Hazardous Material and De-Contamination 洗浄証明書

RA No.

Please reference the Return Authorization Number (RA#), obtained from Endress+Hauser, on all paperwork and mark the RA# clearly on the outside of the box. If this procedure is not followed, it may result in the refusal of the package at our facility.

必ずE+Hから連絡された返却用リファレンス番号(RA#)を記入して下さい。
記入されない場合、書類手続きが行われないため、機器が処分されてしまう可能性があります。

Because of legal regulations and for the safety of our employees and operating equipment, we need the "Declaration of Hazardous Material and De-Contamination", with your signature, before your order can be handled. Please make absolutely sure to attach it to the outside of the packaging.

機器を送付する前に、公的な、また従業員と機器の安全確保のため、自署によるサインを含め、本書面が必要となります。
この書面は必ず梱包の外部に添付して下さい。

Type of instrument / sensor

機器のタイプ/センサー名 _____

Serial number

シリアルナンバー _____

Used as SIL device in a Safety Instrumented System / 安全機器システム上のSIL機器として使用していた場合はチェックして下さい。

Process data / プロセスデータ

Temperature / 温度 _____ [°F] _____ [°C]

Pressure / 圧力 _____ [psi] _____ [Pa]

Conductivity / 導電率 _____ [µS/cm]

Viscosity / 粘度 _____ [cp] _____ [mm²/s]

Medium and warnings

物質及び危険性



	Medium / concentration 物質/濃度	Identification CAS No. 化学物質番号	flammable 可燃性	toxic 毒性	corrosive 腐食性	harmful/ irritant 有害/刺激物	other * 他注意*	harmless 無害
Process medium 計測物質								
Medium for process cleaning プロセス洗浄 物質名								
Returned part cleaned with 出荷時洗浄 物質名								

* explosive; oxidising; dangerous for the environment; biological risk; radioactive

** 爆発性; 酸化性; 環境汚染物質; 生物学的汚染; 放射線物質

Please tick should one of the above be applicable, include safety data sheet and, if necessary, special handling instructions.

該当する箇所をチェックして、安全データシートを添付し、必要であれば取り扱い上の注意を添付して下さい。

Description of failure / 故障状況 _____

Company data / 顧客情報

Company / 御社名 _____	Phone number of contact person / ご担当者名及びご連絡先 _____
Address / ご住所 _____	Fax / E-Mail _____
	Your order No. / ご注文番号 _____

"We hereby certify that this declaration is filled out truthfully and completely to the best of our knowledge. We further certify that the returned parts have been carefully cleaned. To the best of our knowledge they are free of any residues in dangerous quantities."

以上記載に虚偽無く、私どもの知り得る範囲での情報を記載致します。返却品につきましては、入念に且つ注意深く洗浄を行ったことを証明致します。危険物質の残渣無きよう、できうる限りの洗浄を行ったことを証明致します。

目次

1	安全注意事項	4	7	保守	64
1.1	使用目的	4	7.1	外面の清掃	64
1.2	設置、設定、操作	4	7.2	修理	64
1.3	操作とプロセスの安全性	4	7.3	防爆認定された機器の修理	64
1.4	安全規約および記号に関する注記	5	7.4	交換	64
2	各部の名称	6	8	アクセサリ	65
2.1	機器の名称	6	8.1	日よけカバー	65
2.2	納入品目	9	8.2	絶縁キット	65
2.3	証明と認定	9	8.3	リモート表示と操作 FHX40	66
2.4	登録商標	9	8.4	センタリングディスク	67
3	設置	10	8.5	コミュボックス FXA195 HART	68
3.1	クイックインストールレーションガイド	10	8.6	コミュボックス FXA291	68
3.2	輸送、受入、保管	10	8.7	ToF アダプタ FXA291	68
3.3	設置状況	11	8.8	特殊プロセス接続	69
3.4	設置	13	9	トラブルシューティング	70
3.5	設置後のチェック	23	9.1	トラブルシューティングの説明	70
4	配線	24	9.2	システムエラーメッセージ	71
4.1	配線のクイックガイド	24	9.3	アプリケーションエラー	73
4.2	計測ユニットの接続	26	9.4	スペアパーツ	75
4.3	推奨接続	29	9.5	返却	76
4.4	保護等級	29	9.6	廃棄	76
4.5	配線後のチェック	29	9.7	ソフトウェアの履歴	76
5	操作	30	9.8	エンドレスハウザー社へのお問い合わせ ..	76
5.1	操作のクイックガイド	30	10	技術データ	77
5.2	ディスプレイと操作キー	32	10.1	追加の技術データ	77
5.3	機器本体での操作	34	11	付録	86
5.4	エラーメッセージの表示と 通知エラーメッセージ	37	11.1	HART (表示モジュール) の 操作メニュー	86
5.5	HART 通信	38	11.2	特許	88
6	設定	40			
6.1	機能チェック	40			
6.2	測定機器上のスイッチ操作	40			
6.3	基本設定	41			
6.4	表示ディスプレイ VU 331 での基本設定 ..	43			
6.5	不感知距離	52			
6.6	VU331 による反射波形	54			
6.7	機能 "ハンシャハケイヨウジ" ; 反射波形表示 (OE3)	55			
6.8	エンドレスハウザー社製操作プログラムでの 基本設定	58			

1 安全注意事項

1.1 使用目的

レベルフレックス M は、粉粒体および液体の連続的なレベル測定を目的とするコンパクトなレベル伝送器です。測定原理は、ガイドレーダーレベル計 / TDR : Time Domain Reflectometry (時間領域反射率測定法) です。

1.2 設置、設定、操作

レベルフレックス M は、現在の技術的な安全基準および EU 基準に添って設計されています。ただし、間違って設置したり、本来の使用目的でない用途で使用した場合は、間違った設置や調整によるオーバーフローなどの危険が発生する可能性があります。このため、機器は本取扱説明書の指示に従って設置、接続、操作および保守を行わなければなりません。作業従事者は、許可され、適切な資格がなければなりません。機能説明書をよく読んで理解し、これに従わなければなりません。本マニュアルで認めている場合以外には、この機器の改造や修理は行わないでください。

1.3 操作とプロセスの安全性

本機器で校正や試験、メンテナンスを行う際の操作とプロセスの安全性を確保するためには、代替的なモニタリング測定を行う必要があります。

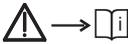
防爆エリアでの使用

防爆エリアでの測定システムに使用については、本取扱説明書の重要な部分である、個別の「防爆資料」に記載されています。設置説明に必ず準拠し、この補足資料で述べられている等級は必須事項です。

- 作業従事者全員に適切な資格があることを確認してください。
- 国および地方の法規だけでなく証明書の仕様も遵守してください。

1.4 安全規約および記号に関する注記

この取扱説明書で、安全に関する事項および代替操作手順を強調表示するために次の規約が使用され、それぞれページの余白に対応する記号で示されています。

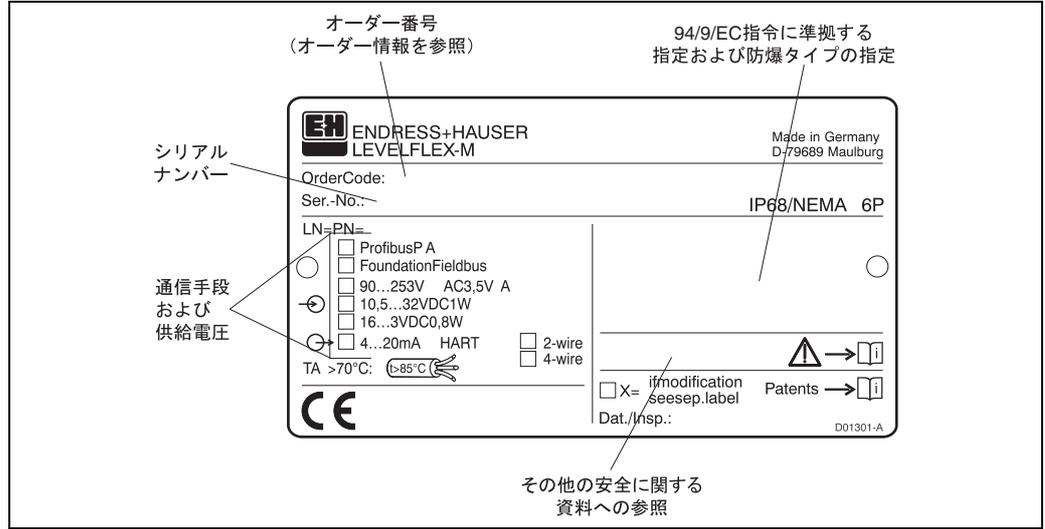
安全に関する表記規則	
	危険！ 危険は、適切に行わなければ人体の損傷、安全を損なう事故、あるいは機器の損傷を招く操作または手順を示します。
	警告！ 警告は、適切に行わなければ人体の損傷、あるいは機器の誤動作を招く操作または手順を示します。
	注意！ 注意は、適切に行わなければ操作への間接的悪影響、あるいは機器の予測を超えた動作につながる操作または手順を示します。
爆発防止	
	防爆認定機器 レベルフレックスの銘板上にこの記号が彫られている場合は、防爆エリアに設置できることを示しています。
	爆発危険区域 図面で使用されている記号は爆発危険区域を示しています。“爆発危険区域”に設置される機器およびそれらの機器の配線は、規定された防爆認定に準拠していなければなりません。
	安全な区域（爆発の危険のない区域） 図面で使用されている記号は、必要な場合、危険がない区域を示しています。機器が安全な区域に設置されていても、機器の出力が爆発危険区域で動作する場合は、防爆認定を受けていなければなりません。
電気シンボル	
	直流電圧 直流電流または直流電圧が適用されている端子、または供給されている端子
	交流電圧 交流電流（正弦波）または交流電圧が適用されている端子、または供給されている端子
	接地端子 オペレータに関する限り、既に接地システムによって接地（アース）された端子
	保護用接地線接続 他の装置への接続が行われる前にアース接地されていなければならない端子
	等電位接続（アース結合） 工場の接地システムに接続する必要がある接続部。この接続部の例としてはスター状の接地システムの中性線などがありますが、これはそれぞれの国や会社の方式で異なります。
	接続ケーブルの温度耐性 接続ケーブルが少なくとも 85 °C の温度に耐える必要があるという状態
	安全注意事項 安全注意事項については該当するバージョンのマニュアルを参照してください。

2 各部の名称

2.1 機器の名称

2.1.1 型式銘板

機器の型式銘板には、以下の技術データが示されています：



レベルフレックス M FMP45 の銘板情報（例）

2.1.2 型式

この表には相互に排他的なオプションは含まれていません。

10	認定
A	非防爆
F	非防爆 + WHG
1	ATEX II 1/2G Ex ia IIC T6/IECEX Zone 0/1
2	ATEX II 1/2D / IEC Ex td A20/21、アルミニウムブラインドカバー
3	ATEX II 1/2G Ex emb (ia) IIC T6/IECEX Zone 0/1
4	ATEX II 1/3D / IEC Ex td A20/22
5	ATEX II 1/2G Ex ia IIC T6、ATEX II 1/3D
6	ATEX II 1/2G Ex ia IIC T6、WHG
7	ATEX II 1/2G Ex d (ia) IIC T6 / IEC Ex d(ia) IIC T6
8	ATEX II 1/2G Ex ia IIC T6、ATEX II 1/3D、WHG
G	ATEX II 3G Ex nA II T6
H	ATEX II 3G Ex ic IIC T6 Gc
C	NEPSI Ex emb (ia) IIC T6
I	NEPSI Ex ia IIC T6
J	NEPSI Ex d(ia) IIC T6
Q	NEPSI DIP（準備中）
R	NEPSI Ex nA II T6
M	FM DIP - Class II, Division 1、Group E-G N.I.
S	FM IS Cl.I,II,III Div.1 Gr.A-G N.I.、zone 0, 1, 2
T	FM XP Cl.I,II,III Div.1 Gr.A-G、zone 1, 2
N	CSA 一般仕様
P	CSA DIP - Class II、Division 1、Group G+ 炭塵、N.I.
U	CSA IS Cl.I,II,III Div.1 Gr.A-D、G + 炭塵、N.I.、zone 0, 1, 2
V	CSA XP Cl.I,II,III Div.1 Gr. A-D、G + 炭塵、N.I.、zone 1, 2
K	TIIS Ex d (ia) IIC T1
L	TIIS Ex d (ia) IIC T2
Y	特殊、TSP 番号（要問合せ）

20	プロセス温度	
	A	-200 ~ +280 °C (XT) ; 飽和水蒸気温度 最高 +200 °C
	B	-200 ~ +400 °C (HT)
	Y	特殊、TSP 番号 (要問合せ)
30	プローブ	
	A	mm 指定、ローブ 4mm、SUS 316 相当
	C	インチ指定、ローブ 1/6"、SUS 316 相当
	K	mm 指定、ロッド 16 mm、SUS 316L 相当
	L	mm 指定、コアキシャル、SUS 316L 相当
	M	インチ指定、ロッド 16 mm、SUS 316L 相当
	N	インチ指定、コアキシャル、SUS 316L 相当
	S	mm 指定、ロッド 16 mm、SUS 316L 相当、500 mm 分割型
	T	mm 指定、ロッド 16 mm、SUS 316L 相当、1000 mm 分割型
	U	インチ指定、ロッド 16 mm、SUS 316L 相当、20 インチ 分割型
	V	インチ指定、ロッド 16 mm、SUS 316L 相当、40 インチ 分割型
	Y	特殊、TSP 番号 (要問合せ)
40	プロセス接続	
	AFJ	2" 150lbs RF、SUS316 または 316L 相当フランジ ANSI B16.5
	AGJ	3" 150lbs RF、SUS316 または 316L 相当フランジ ANSI B16.5
	AHJ	4" 150lbs RF、SUS316 または 316L 相当フランジ ANSI B16.5
	ARJ	2" 300/600lbs RF、SUS316 または 316L 相当フランジ ANSI B16.5
	ASJ	3" 300/600lbs RF、SUS316 または 316L 相当フランジ ANSI B16.5
	ATJ	4" 300lbs RF、SUS316 または 316L 相当フランジ ANSI B16.5
	A1J	2" 1500lbs RF、SUS316 または 316L 相当フランジ ANSI B16.5
	A2J	3" 1500lbs RF、SUS316 または 316L 相当フランジ ANSI B16.5
	A3J	4" 600lbs RF、SUS316 または 316L 相当フランジ ANSI B16.5
	A4J	4" 900lbs RF、SUS316 または 316L 相当フランジ ANSI B16.5
	A5J	4" 1500lbs RF、SUS316 または 316L 相当フランジ ANSI B16.5
	CHJ	DN100 PN10/16 B1、SUS 316L 相当フランジ EN1092-1 (DIN2527 C)
	CRJ	DN50 PN10-40 B1、SUS 316L 相当フランジ EN1092-1 (DIN2527 C)
	CSJ	DN80 PN10-40 B1、SUS 316L 相当フランジ EN1092-1 (DIN2527 C)
	CTJ	DN100 PN25/40 B1、SUS 316L 相当フランジ EN1092-1 (DIN2527 C)
	C1J	DN50 PN63 B2、SUS 316L 相当フランジ EN1092-1 (DIN2527 E)
	C2J	DN50 PN100 B2、SUS 316L 相当フランジ EN1092-1 (DIN2527 E)
	C3J	DN80 PN63 B2、SUS 316L 相当フランジ EN1092-1 (DIN2527 E)
	C4J	DN80 PN100 B2、SUS 316L 相当フランジ EN1092-1 (DIN2527 E)
	C5J	DN100 PN63 B2、SUS 316L 相当フランジ EN1092-1 (DIN2527 E)
	C6J	DN100 PN100 B2、SUS 316L 相当フランジ EN1092-1 (DIN2527 E)
	KFJ	10K 50A RF、SUS 316L 相当フランジ JIS B2220
	KGJ	10K 80A RF、SUS 316L 相当フランジ JIS B2220
	KHJ	10K 100A RF、SUS 316L 相当フランジ JIS B2220
	K3J	63K 50A RF、SUS 316L 相当フランジ JIS B2220
	K4J	63K 80A RF、SUS 316L 相当フランジ JIS B2220
	K5J	63K 100A RF、SUS 316L 相当フランジ JIS B2220
	GGJ	ネジ ISO228 G1½、200bar、SUS 316L 相当
	GJJ	ネジ ISO228 G1½、400bar、SUS 316L 相当
	RGJ	ネジ ANSI NPT1½、200bar、SUS 316L 相当
	RJJ	ネジ ANSI NPT1½、400bar、SUS 316L 相当
	YY9	特殊、TSP 番号 (要問合せ)
50	電源供給 / 出力	
	B	2 線、4-20mA SIL HART
	D	2 線、PROFIBUS-PA
	F	2 線、FOUNDATION Fieldbus
	G	4 線 AC 90-250V ; 4-20mA SIL HART
	H	4 線 DC 10.5-32V ; 4-20mA SIL HART
	K	2 線、4-20mA HART、界面計測
	Y	特殊、TSP 番号 (要問合せ)
60	操作	
	1	表示ディスプレイなし (通信経由)
	2	表示ディスプレイ VU 331 (4 行表示、反射波形表示)
	3	FHX 40 取り付け用 (分離型ディスプレイ FHX 40 はアクセサリ参照)
	9	特殊、TSP 番号 (要問合せ)

2.2 納入品目



警告!

「輸送、受入、保管」(10 ページ) で説明されている測定機器の開梱、輸送および保管に関する指示に従うことが重要です。

納入品目の構成は、以下のとおりです：

- 組立済みの機器
- アクセサリ (→ 65 ページ)
- 付属 CD-ROM に含まれたエンドレスハウザー社オペレーティングソフトウェア
- 簡易取扱説明書 KA00189F (基本設定/トラブルシューティング)：機器の中に保管
- 短時間で設定を行うための簡易取扱説明書 KA01044F
- 認定資料：取扱説明書に添付されていない場合
 - 技術仕様書
 - 取扱説明書
 - 機能説明書の記述

2.3 証明と認定

CE マーク、適合宣言

本機器は、最新の安全基準に適合するように設計されており、テストされ、安全に動作する状況で工場に設置されます。本機器は、EC 適合宣言に記載の、該当する規格および規定に準拠しており、したがって、EC 指令の法的要件を遵守しています。エンドレスハウザー社では、本機器が試験に合格していることを、CE マークを付けて証明しています。

2.4 登録商標

KALREZ[®]、VITON[®]、TEFLON[®]

E.I. Du Pont de Nemours & Co. (Wilmington, USA) の登録商標。

TRI-CLAMP[®]

Ladish & Co., Inc. (Kenosha, USA) の登録商標。

HART[®]

HART Communication Foundation (Austin, USA) の登録商標。

PulseMaster[®]

Endress+Hauser GmbH+Co. (Maulburg, Germany) の登録商標。

3 設置

3.1 クイックインストレーションガイド

ねじ込みボスを用いての設置
F12 または T12 ハウジング

警告!
ねじ込みボス以外使用しないでください。

AF 60

最大トルクについては、表を参照してください。

プロセス温度	トルク
最高 280 °C	450 Nm
最高 400 °C	400 Nm

ハウジングの回転
ディスプレイとコンパートメントへのアクセスが容易になるようハウジングは 350° まで回転させることができます。

ハウジング F12

L00-FMP45xxx-17-00-00-en-003

3.2 輸送、受入、保管

3.2.1 受入

損傷の形跡がないかどうか、梱包状態と中身を確認してください。
荷をチェックし、不足品が無いこと、納入物が注文と一致していることを確認します。

3.2.2 輸送



警告!
18 kg を超える機器の安全注意事項および輸送条件に従ってください。
輸送時にプローブロッド部分で測定機器を持ち上げないでください。

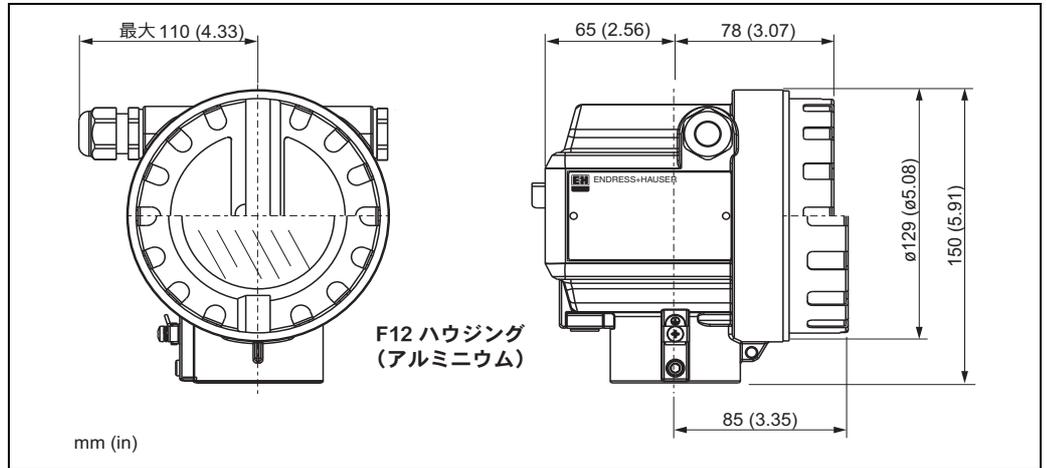
3.2.3 保管

保管および輸送時の衝撃から保護するために、測定機器を梱包してください。
それには、オリジナルの梱包材を使用すると最適に保護できます。
許容保管温度は、- 40 °C ~ + 80 °C です。

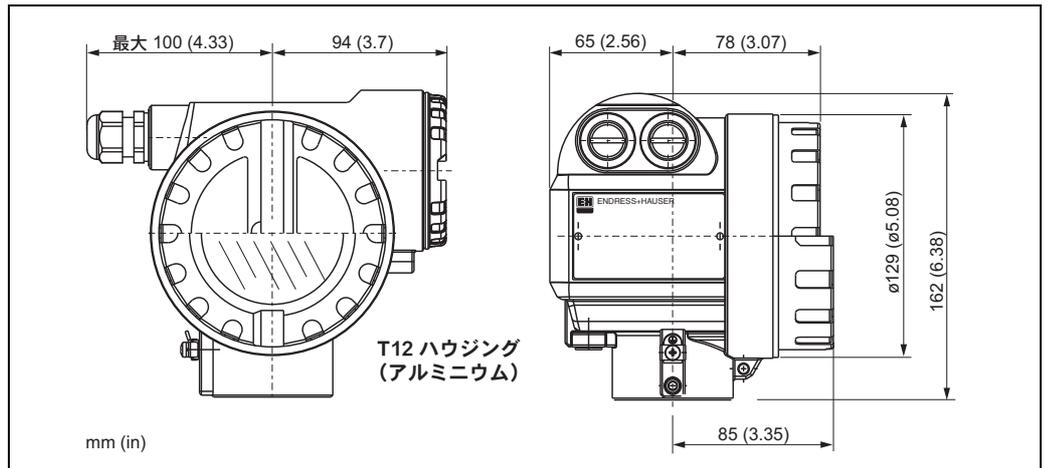
3.3 設置状況

3.3.1 寸法

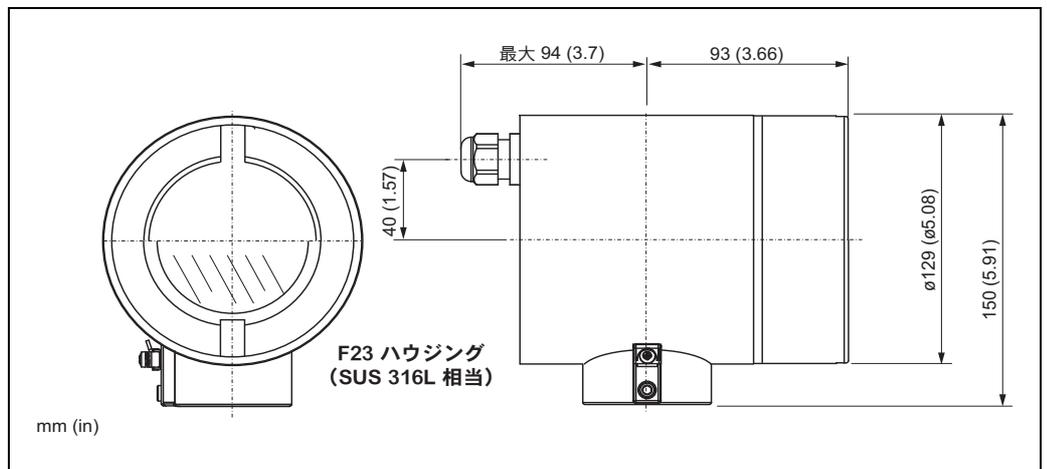
ハウジング寸法



L00-F12xxx-06-00-00-en-001

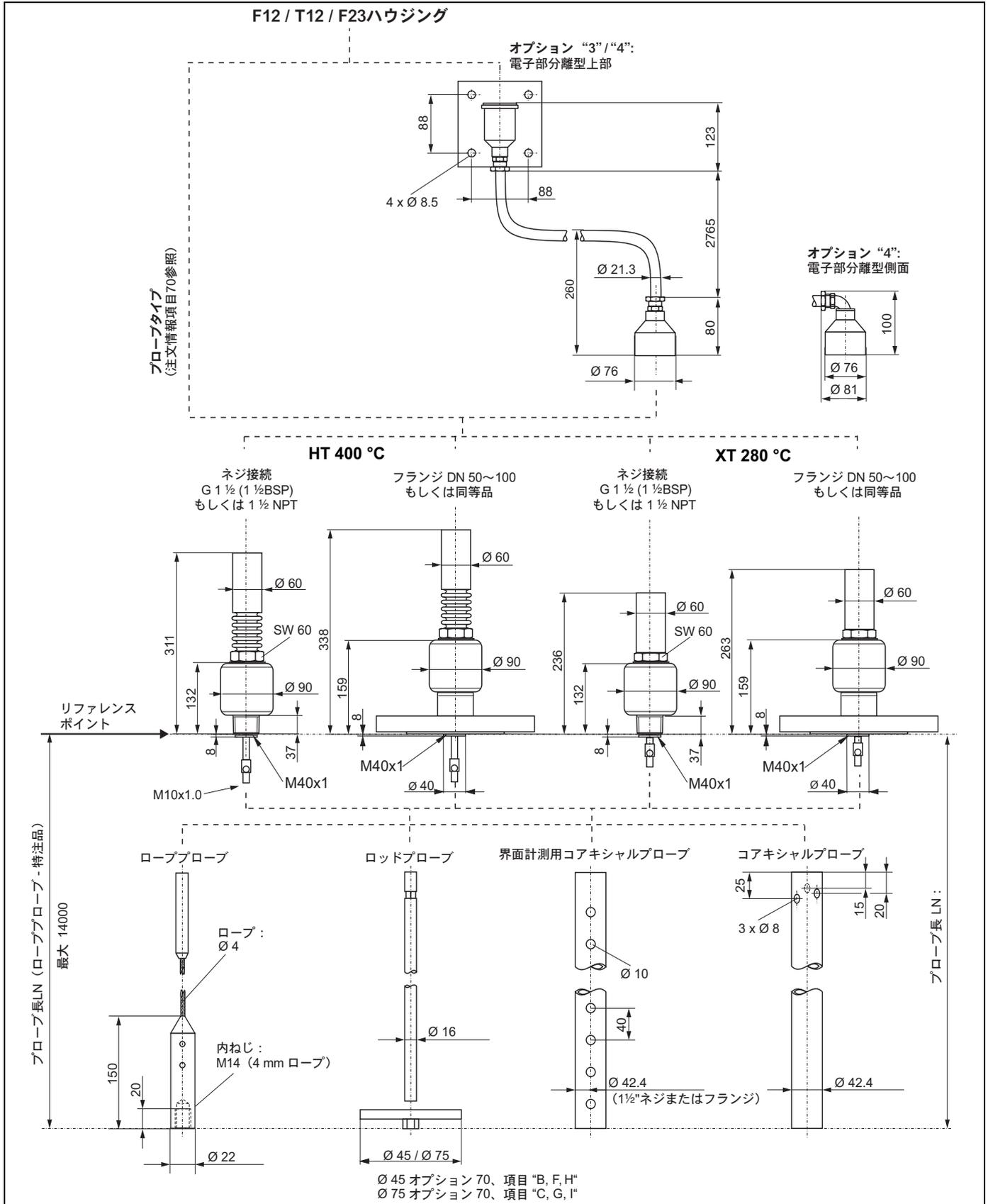


L00-T12xxx-06-00-00-en-001



L00-F23xxx-06-00-00-en-001

プローブのプロセス接続



L00-FMP45tss-06-00-00-es-001

1) SD00288F/00/EN 「蒸気ボイラー認定」を参照

3.4 設置

3.4.1 設置に際して必要な工具

フランジ取付に必要な工具に加えて、以下の工具が必要です：

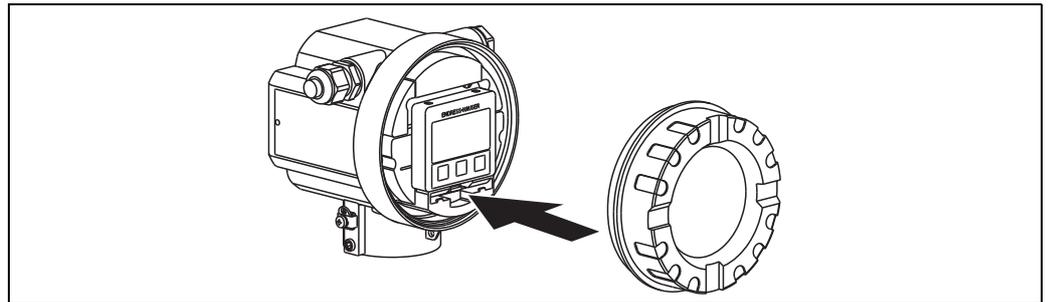
- ネジ接続の取付けの場合：60 mm スパナ（1½” 用）
- 4 mm の六角レンチ（ハウジングの回転用）

3.4.2 プローブの短縮（切断）



注意！

プローブを切断した場合：電子部ハウジング内の機器本体ディスプレイでクイックセットアップを使って新しいプローブ長を入力します。



L00-FMP4xxxx-16-00-00-xx-004

ロッドプローブ

容器底面または排出円錐部との距離が 50 mm 以下になる場合は、ロッドプローブを切断する必要があります。ロッドプローブのロッド下部終端をのこぎりで切断するか分離します。

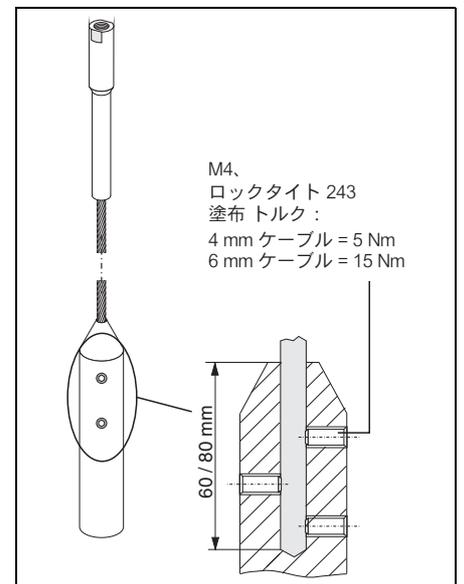
ローププローブ

容器底面または排出円錐部との距離が 150 mm 以下になる場合は、ロッドプローブを切断する必要があります。

- 安定用ウェイトを取り外します：
 - ウェイトは六角止めネジ 3 本 (M4, AF3 六角キー) でローププローブに固定されており、ネジはロックタイトで固定されています。接着剤で固まっている部分は、ドライヤーで暖めて取り外しやすくなる必要があります。
- 外したロープからウェイトを取り外します。
- 新しいロープ長を測ります。
- ロープの切断する位置に粘着テープを巻き、飛散を防止します。
- ロープをのこぎりで直角に切断するか、またはボルトカッターで切断します。
- ロープをウェイトに完全に挿入します。
 - ロープ 4 mm : 深さ 60 mm
 - ロープ 6 mm : 深さ 80 mm

ウェイトをロープに戻して固定します。

- 止めネジにねじゆるみ止め用接着剤（ロックタイト 243 推奨）を塗り、所定の位置で締め付けます。
- 締め付けトルクに注意してください。
 - ロープ 4 mm : 5 Nm
 - ロープ 6 mm : 15 Nm



L00-FMP4xxxx-17-00-00-en-044

コアキシャルプローブ

切断する場合は、以下に注意してください。コアキシャルプローブは終端から最大 80 mm まで切断できます。中にはパイプの中心にロッドを固定するためのセンタリングユニットが組み込まれています。センタリングユニットはロッドに固定されています。センタリングユニットの約 10 mm 下まで切断することが可能です。

3.4.3 空のサイロでの設置



警告!

製品に静電気が帯電している可能性がある場合には、プローブをサイロの内部に下ろす前に、プロセス接続とローブプローブを接地してください。

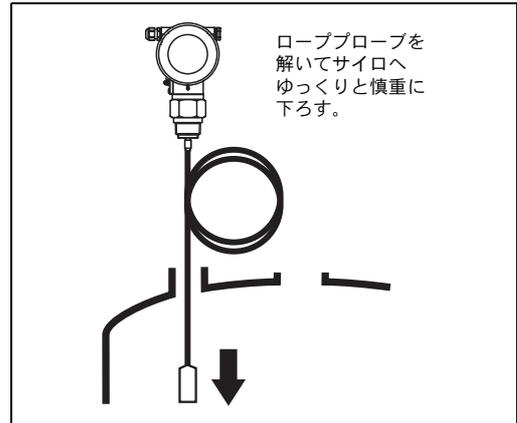
レベルフレックスは、ネジ込みソケットまたはフランジにネジ込んで取付けます。以下の手順を実行してください。

プローブの挿入

- ローブプローブを解いてサイロへゆっくりと慎重に下ろします。
- ローブプローブにねじれを生じさせないでください。
- ローブプローブ、またはサイロの取付部が損傷するおそれがあるため、はね返りに注意してください。

注意!

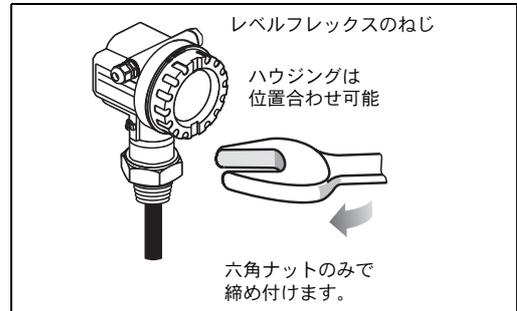
フランジの取付けでシールを使用する場合は、プローブフランジとプロセスフランジ間の導通が妨げられないように、必ず塗装されていない金属ボルトを使用してください。



L00-FMP4xxxx-17-00-00-en-056

ネジ止め

- レベルフレックスをプロセス接続部またはフランジにねじ込みます。
- 10 ~ 20 Nm のトルクで六角ナットのみを回します。
- レベルフレックスは、金属製、コンクリート製、およびプラスチックのサイロで使用可能です。金属製サイロ内部に取り付ける場合は、プロセス接続部とサイロの金属同士の接触が良好であることを確かめてください。



L00-FMP4xxxx-17-00-00-en-057

3.4.4 一部充填されたサイロへのローブプローブの取付け

すでに運転中のサイロを完全に空にすることが不可能な場合があります。以下の条件を満たす場合は、一部充填サイロへの取付けが可能です。

- 取付けは、サイロができるだけ空のときに行ってください。最低サイロの3分の2が空になっている必要があります。

取付後は必要に応じて、マッピングを行ってください。

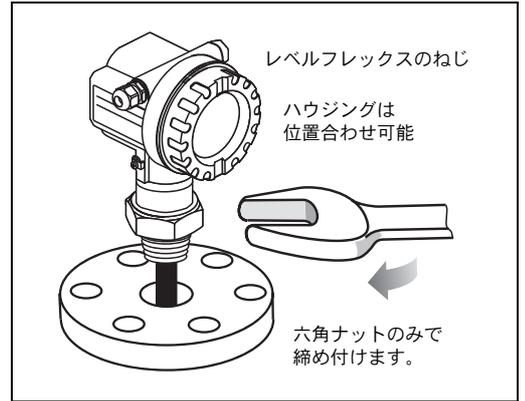


警告！

製品に静電気が帯電している可能性がある場合は、プローブをサイロの内部に下ろす前にハウジングを接地してください。

ネジ止め

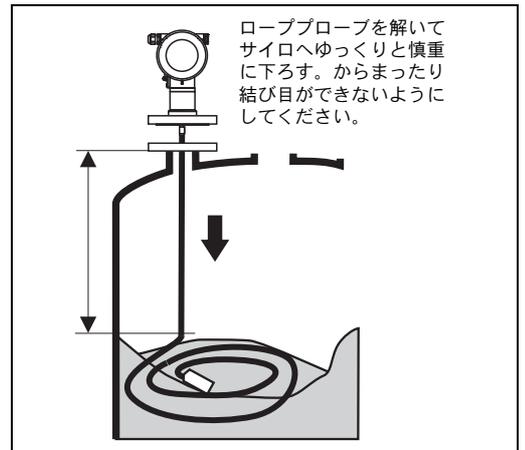
- 状況確認が終わったら、レベルフレックスをフランジにねじ込みます。
- 10 ~ 20 Nm のトルクで六角ナットのみを回します。
- フランジの取付けでシールを使用する場合は、プローブフランジとプロセスフランジ間の導通が妨げられないように、必ず塗装されていない金属ボルトを使用してください。
- サイロ内部に取り付ける場合は、プロセス接続部とサイロの金属同士の接触が良好であることを確かめてください。



L00-FMP4xxxx-17-00-00-en-058

プローブの挿入

- ローブプローブを解いてサイロへゆっくりと慎重に下ろします。
- ロープをねじらないでください。
- サイロの金具を破損する恐れがあるため、絶対にロープが跳ね返らないようにしてください。
- 可能であれば、レベルの低下に伴ってロープに結び目ができないよう、絡んだり横になったりしていないことを設置後に目視で点検してください。これはフランジを使用しない場合に特に重要です。問題があれば、ロープを一旦引き上げてプローブを挿入し直してください。
- フランジをノズルのカウンタフランジにネジ止めします。



L00-FMP4xxxx-17-00-00-en-059



注意！

仕様の測定精度を得るには、プローブロープが完全に伸びていなければなりません。

3.4.5 ロッドプローブの取付け

KA00228F を参照してください。

3.4.6 一般的な設置説明

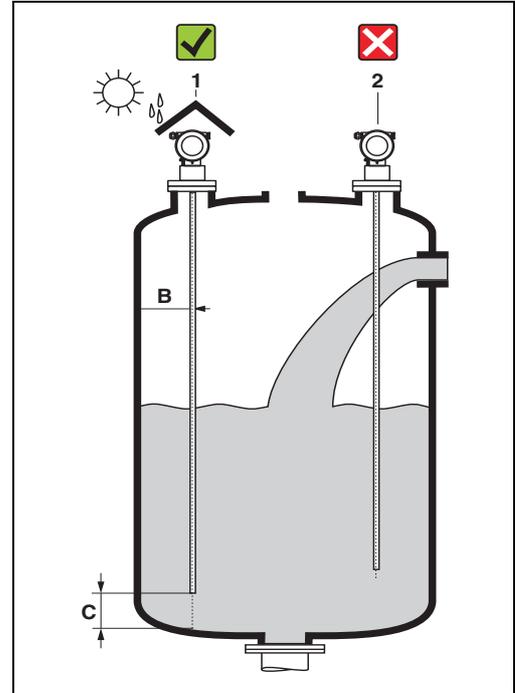
通常はロッドプローブをご使用ください。測定レンジが 4m を超える場合や上部の空間が狭く、まっすぐ固定されたプローブを使用できない場合はローププローブをご使用ください。

コアキシャルプローブには設置条件による影響はありません。以下の場合に設置可能です。

- 充填口
- 内部構造物に近接する位置
- 粘度 500 cSt 以下

取付位置

- 充填口には取り付けないでください (2)。
- プローブは、壁に付着が生じたとしても、プローブと付着物の距離 (B) が平滑な壁面の場合は最小 100 mm 以上となるように設置してください。
- 内部構造物から離してロッドまたはローププローブを設置してください。300 mm 以内の場合には、初期調整時に必ず“マッピング”を実施してください。
- プローブの終端とサイロの底からの最低距離 (C) は以下です。
 - ロープ : 150 mm
 - ロッド : 50 mm
 - コアキシャルプローブ : 10 mm
- 屋外に設置する場合は、日よけカバー (1) (アクセサリ 65 ページを参照) を付けてください。



L00-FMP45xxx-17-00-00-xx-007



注意！

G1½" ネジシール

FMP45 用シールは、DIN 3852 part 1、スクリュープラグフォーム A に対応しています。ネジ部先端の全長は 45 mm です。また、適切なシールリングは DIN 7603 準拠の 48 x 55mm です。この規格のシールリング (A、C、D) および耐久性のある材質を使用してください。

ロッドおよびローププローブからタンクの壁までの最小距離 (B) :

プローブとタンク壁が接触しない限り、壁からの距離は限定されません。



注意！

タンク壁に近い設置をする場合、タンク壁には高粘度液もしくはスラリー液等による付着形成があってはなりません。

プローブのタンクへの溶接



警告！

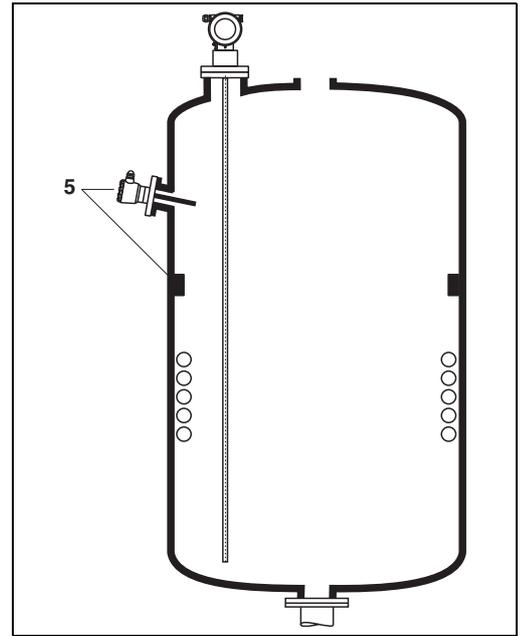
プローブをタンクへ溶接する前に、低抵抗接続でアース接地しなければなりません。これが不可能な場合は、電子機器および HF モジュールを外してください。そうしなければ、電子機器が損傷する恐れがあります。

その他の設置

- 内部構造物 (5) (例えばリミットスイッチ、支柱など) までの距離が、動作中はプローブ全長に渡って 300 mm 以上になるように設置位置を選択してください。
- プローブは測定スパン内になければならず、なおかつ動作中にプローブが内部構造物に触れてはなりません。

活用できるオプション

- ノイズ反射の除去機能: ノイズ反射の除去機能を使うことにより計測を最高の状態に近づけることができます。

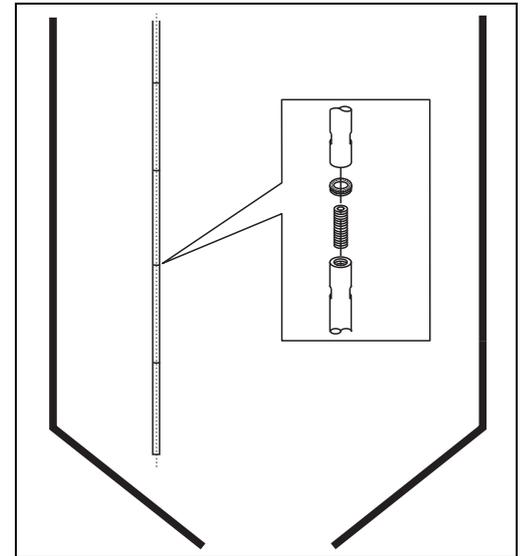


L00-FMP41Cxx-17-00-00-xx-001

分離型プローブ

設置する際にタンクと天井までの空間が狭い場合は、分離型プローブ (Ø16 mm) の使用をお勧めします。

- 最大プローブ長: 10 m (394 in)
- 横方向の最大応力: 20 Nm
- 分離型プローブは以下の長さを単位として、複数を組合わせて使用することができます。
 - 500 mm (19.68 in)
 - 1000 mm (39.37 in)
- トルク: 15 Nm



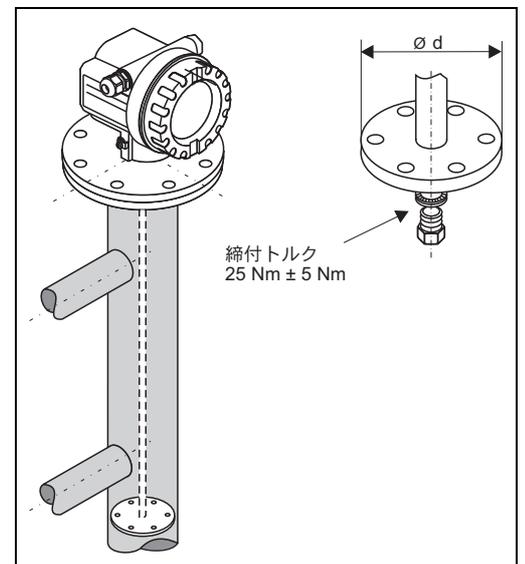
L00-FMP4xxxx-17-00-00-xx-015

プローブ先端のセンタリング

プローブの先端にセンタリングディスクを取り付けることにより、信頼できる計測が可能です。

→ 6 ページの「型式」を参照してください。

- ロッドプローブ用センタリングディスク:
 - d = 45 mm (DN50/2")
 - d = 75 mm (DN80/3" + DN100/4")



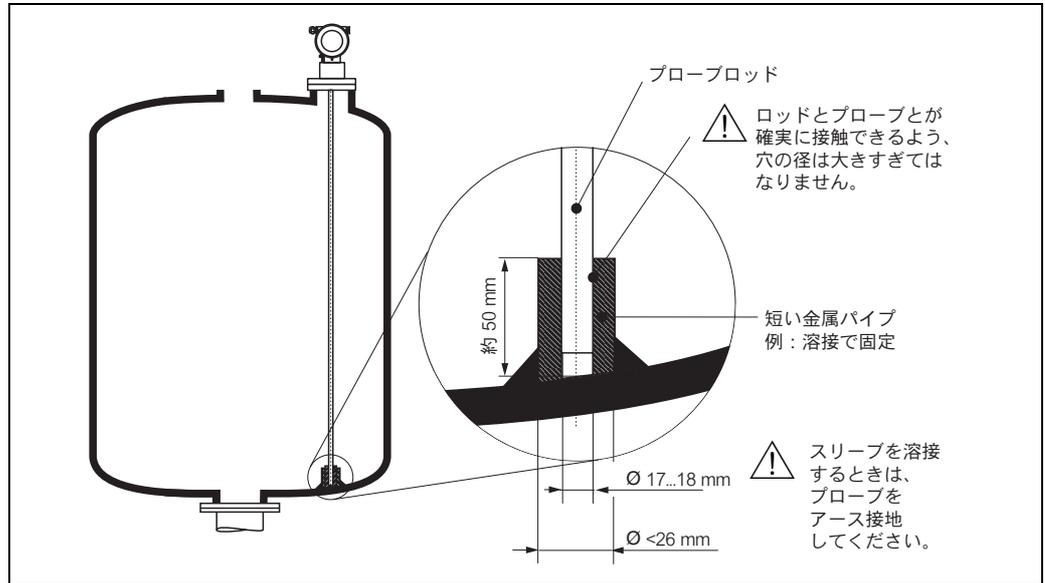
L00-FMP4xxxx-17-00-00-en-068

振れ対策のためのプローブ支持

WHG 認証の場合：

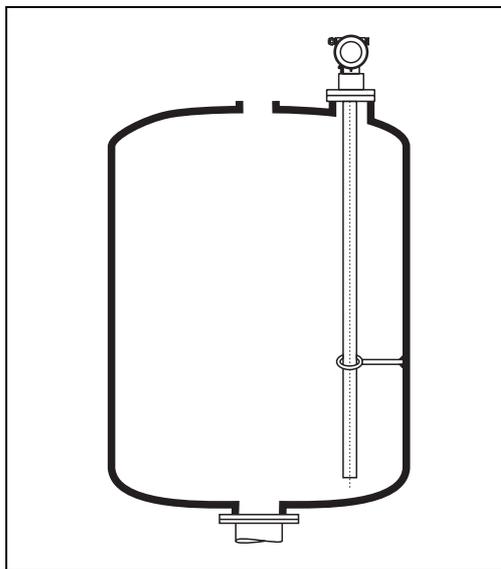
長さ ≥ 3 m 以上のプローブには支持が必要となります（図を参照）。

a. ロッドプローブ



L00-FMP4xxxx-17-00-00-en-055

b. コアキシャルプローブ

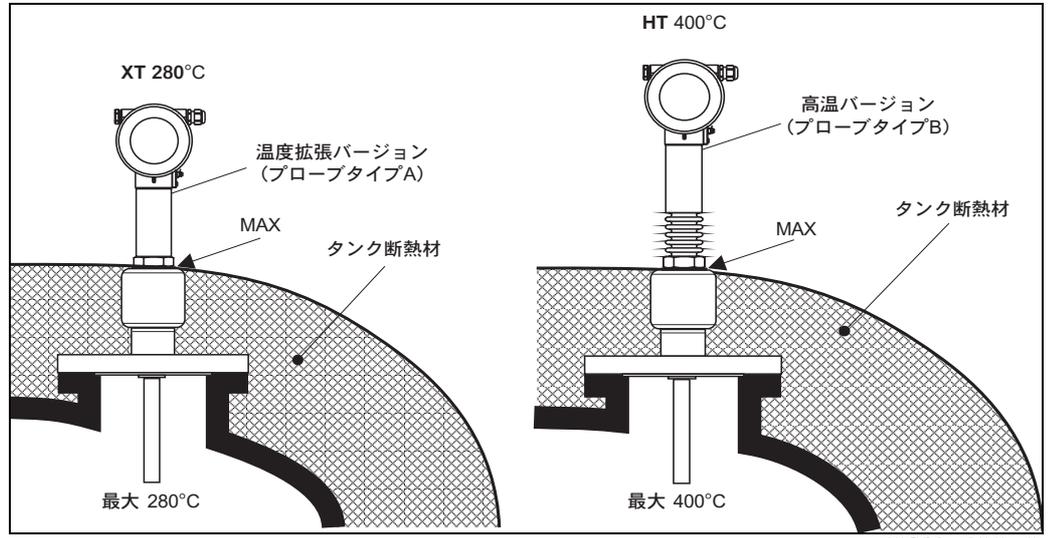


L00-FMP4xxxx-17-00-00-en-054

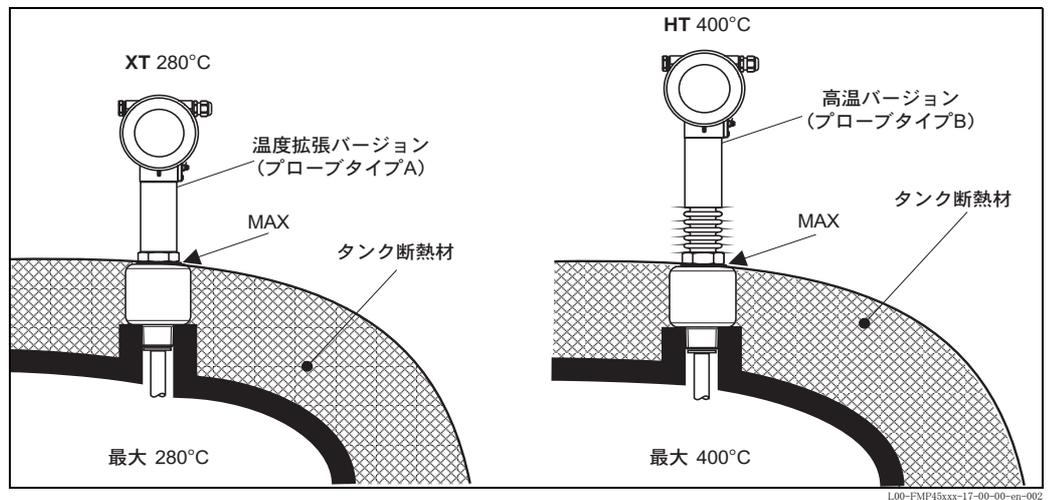
断熱材を使用する場合の設置

- 熱放射、熱対流による電子部の過熱を防ぐため、プロセス温度が高い場合 (≥ 200 °C) には FMP 45 をタンク断熱部に設置してください。
- 断熱材は図の "MAX" と示した位置を越えないようにしてください。

フランジ 50 A ~ 100 A とのプロセス接続



ネジ G1½" および 1½"NPT とのプロセス接続



注意!

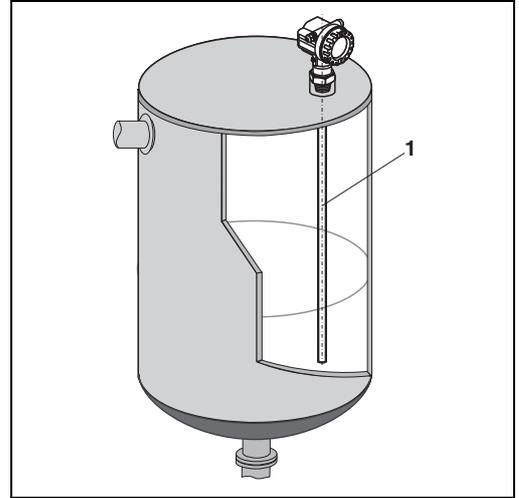
飽和水蒸気アプリケーションで FMP45 XT を使用する場合は、プロセス温度が 200 °C (392 °F) を超えないようにしてください。それよりも高いプロセス温度に対しては、HT バージョンを使用してください。

3.4.7 特記事項

攪拌タンクに取り付ける場合、ロッドプローブの横方向耐荷重をご確認ください。特に攪拌によりプローブに大きな物理的な応力が加わる場合は、非接触タイプのレーダーが適する場合もあります。

枕型タンクおよび縦型タンクでの設置

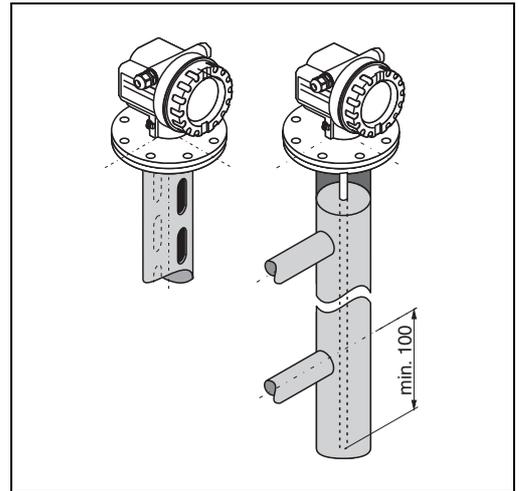
- 4 m 以内の測定レンジにはロッドプローブをご使用ください。これ以外の場合、もしくはフリースペースがたくさんある場合は、4 mm ローププローブをご使用ください。
- 接触するようなことがない限り、壁面との距離は任意です。
- 金属タンクを使用する場合には、中心から外れた位置にプローブ (1) を取り付けてください。



L00-FMP4xxxx-17-00-00-yy-049

内筒管または外筒管への取り付け

- ロッドおよびローププローブは、(内筒管や外筒管などの) パイプ内に取り付けることができます。
- 150 mm (6") 以内の金属パイプに取り付ける場合、測定感度が上がり比誘電率 1.4 以上の液体を測定ができます。
- 内側に最大で約 5 mm (0.2") 突き出している溶接接合部分に関しては、測定には影響を及ぼしません。
- ロッドプローブを使用する場合は、プローブの長さは下側の排出口よりも 100 mm 長くなければなりません。
- プローブと壁が接触していないことを確認する必要があります。必要であれば、プローブの終端でセンタリングディスクを使用してください (「プローブ型:」, → 8 ページを参照)。



L00-FMP4xxxx-17-00-00-yy-023



警告!

真空での利用や、極端に凝縮された構造が発生するような用途では、タンクが完全に満了になる危険性があります。比誘電率値が高い測定物クラスの場合は、これによってプロセス変数測定値が実際のレベルよりも低くなる場合があります。対策については、エンドレスハウザー社にお問い合わせください。

3.4.8 特殊な設置状況に関する注意

プローブのタンクへの溶接

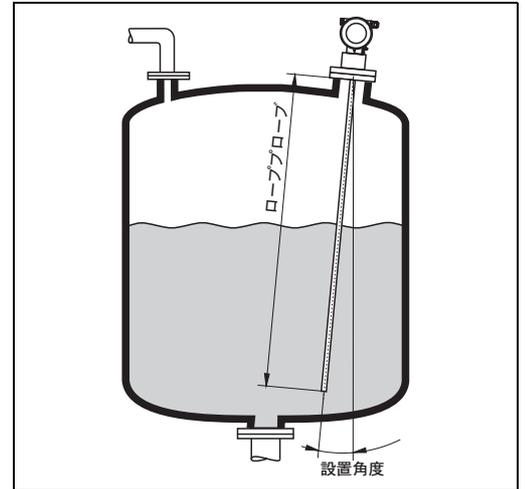


警告!

プローブをタンクへ溶接する前に、低抵抗接続でアース接地しなければなりません。これが不可能な場合は、電子機器およびHFモジュールを外してください。そうしなければ、電子機器が損傷する恐れがあります。

斜めの取付

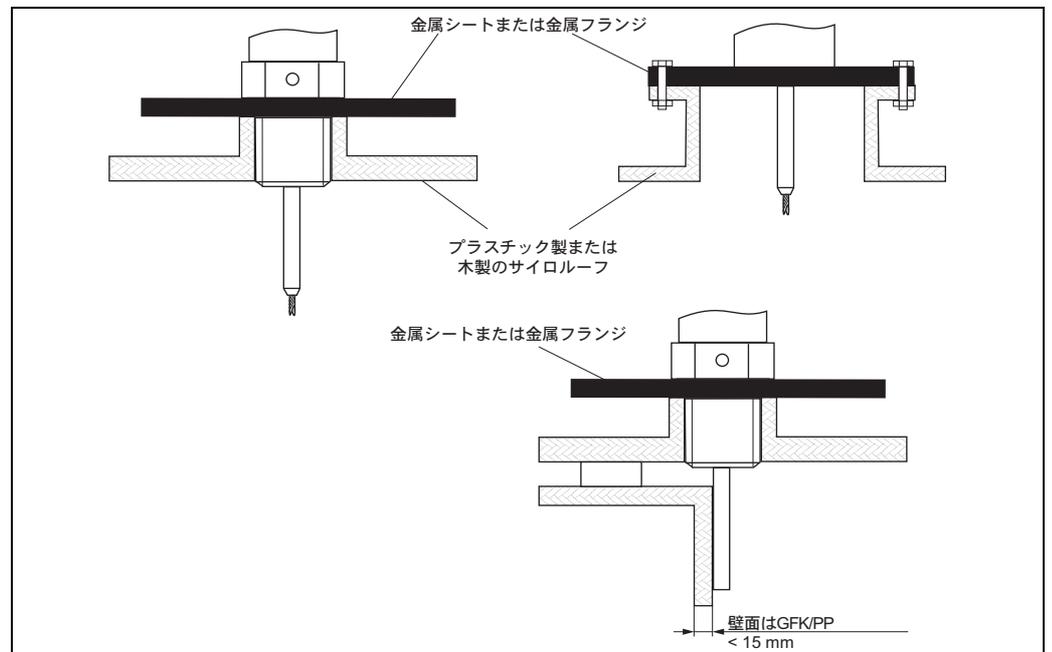
- 機械的理由により、プローブはできるだけ液面と垂直に取り付けてください。
- 斜めに取り付ける場合、設置角度によってプローブの長さを調整しなければなりません。
 - 1 m まで：30°
 - 2 m まで：10°
 - 4 m まで：5°



L00-FMP4xxx-17-00-00-en-048

プラスチック容器内での設置

ガイドレーダーでは計測原理的にプロセス接続部において金属面が必要です。ロッドプローブまたはローブプローブを、天面にプラスチックまたは木材を用いたプラスチック製のサイロに設置する際には、 \geq DN50 (2") のメタリックフランジ、または直径 \geq 200 mm のメタルシートを取り付け、その上にプローブを設置してください。

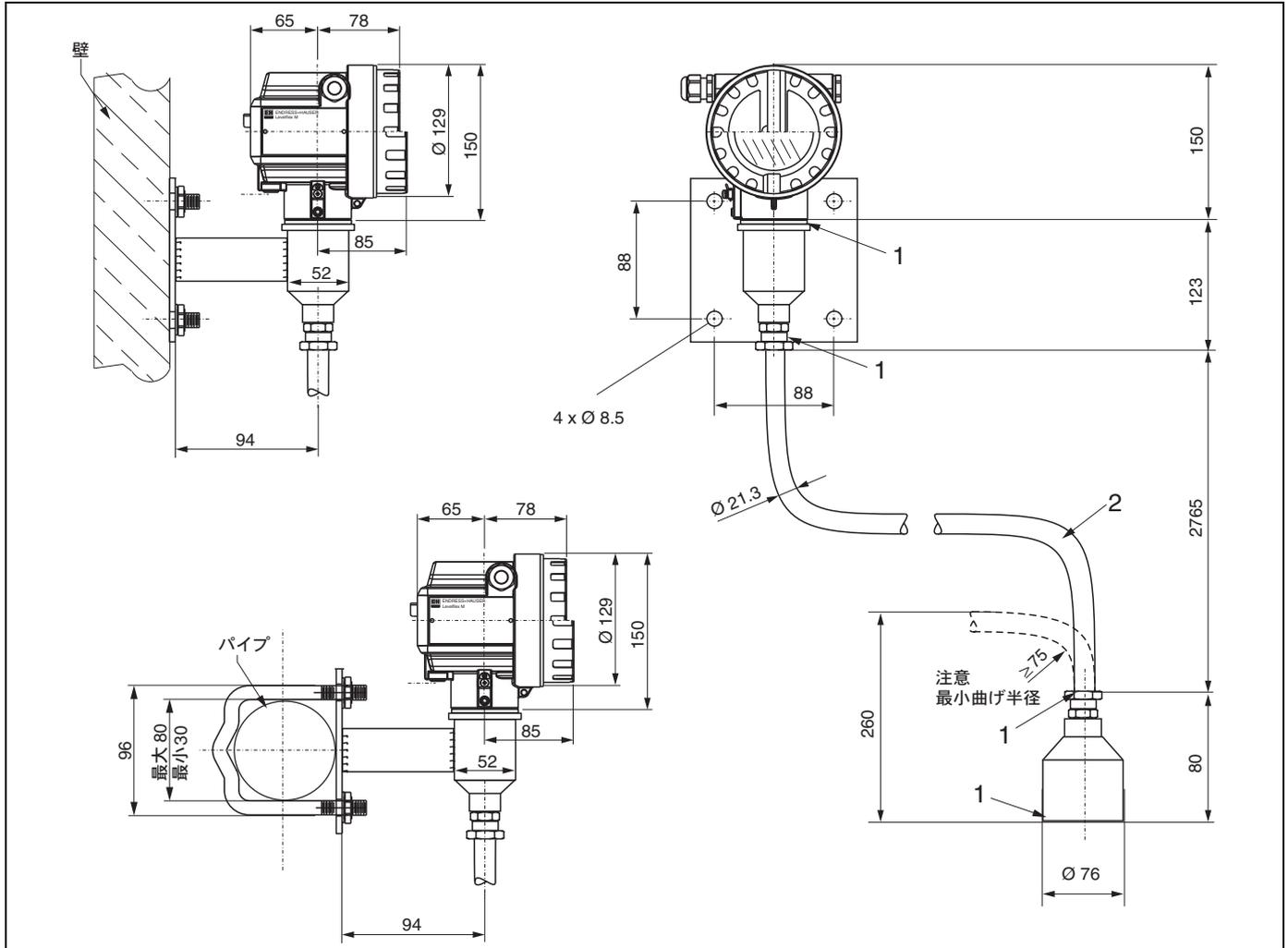


L00-FMP4xxx-17-00-00-en-018

3.4.9 プロセス接続部上部のクリアランスがない場合の設置

電子部分離型による設置

- 壁用ブラケットおよびパイプ用ブラケットは納入品目に含まれており、出荷時に取付けられています。
- 16 ページ以降の設置説明に従ってください。
- 図のように壁もしくはパイプにハウジングを取付けてください。



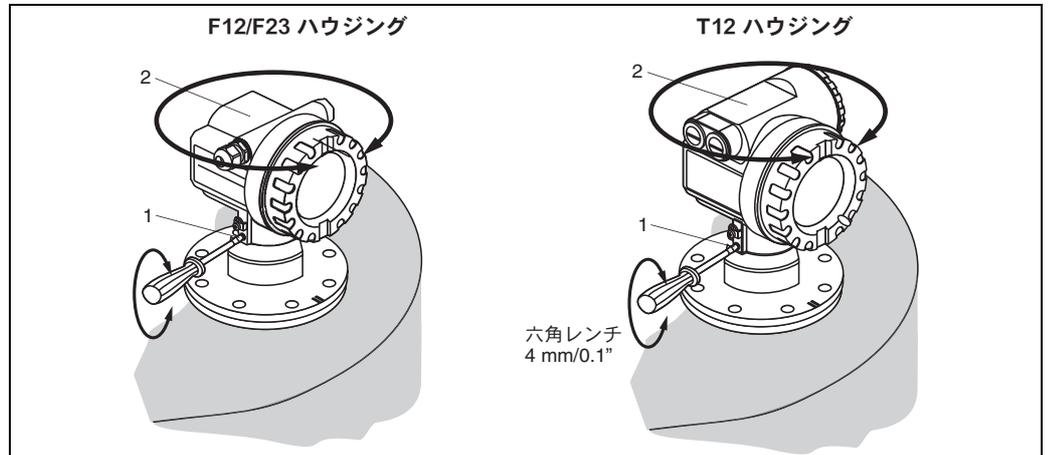
注意!
保護ホースは、これらの箇所 (1) では、分解できません。

プローブと電子部品間の接続ライン (2) の周囲温度は、105 °Cを超えないようにしてください。電子部分離型の場合は、プロセス接続の温度は 280 °C もしくは 400 °C (装置のバージョンによる) まで設定可能です。電子部分離型の場合は、プローブ、接続ケーブル、およびハウジングで構成されています。電子部品分離型完成品一式を注文すると、これらの電子部品は組み立てられた状態で配送されるため、分離することはできません。

3.4.10 ハウジングの回転

設置後は機器本体ディスプレイ端子室へのアクセスが容易に行えるよう、ハウジングは 350° 回転可能です。ハウジングを必要な位置まで回すには、以下のように進めます：

- 止めネジ (1) を外します。
- 必要な方向に、ハウジング (2) を回します。
- 止めネジ (1) を締めます。



L00-FMP41Cxx-17-00-00-de-002

3.5 設置後のチェック

本機器を設置完了後、以下のチェックを行います：

- 測定機器に損傷はないか？（目視検査）
- 測定機器は、プロセス温度、プロセス圧力、周囲温度、測定レンジその他の測定点仕様と一致しているか？
- 測定点番号とラベルの貼付は正しいか（目視検査）？
- 測定機器は雨や直射日光から十分保護されているか（65 ページを参照）？

4 配線

4.1 配線のクイックガイド

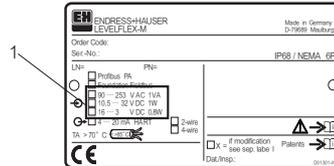
F12/ F23 ハウジング内の配線



注意!

配線作業に先立って次の点に注意してください。

- 電源は型式銘板 (1) 上の電源定格データと一致して
なければなりません。
- 機器の接続作業を始める前に電源のスイッチを切ります。
- 機器の接続作業を始める前に等電位接続線
(プラント内の接地系) を送信器のアース端子 (7) に
接続します。
- 止めねじ (8) を締め付けます。
これでアンテナとハウジングの接地電位につながります。



本計測機器を爆発危険区域で使用する場合は国の基準を遵守し、
安全に関する注意に記載の指示 (XA) に従う必要があります。
必ず指定の防水栓を使用してください。



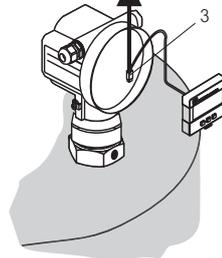
説明書付きで供給される機器には、
次のような防爆設計が施されています。

- ハウジング F12/F23 - EEx ia:
電源部は本質的に安全です (粉塵なし)。
- 電子回路と電流出力はアンテナ回路から
電気的に遮断されています。

レベルフレックス M を次のように接続します。

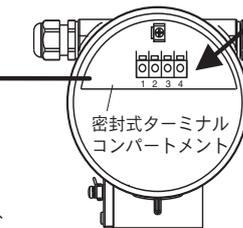
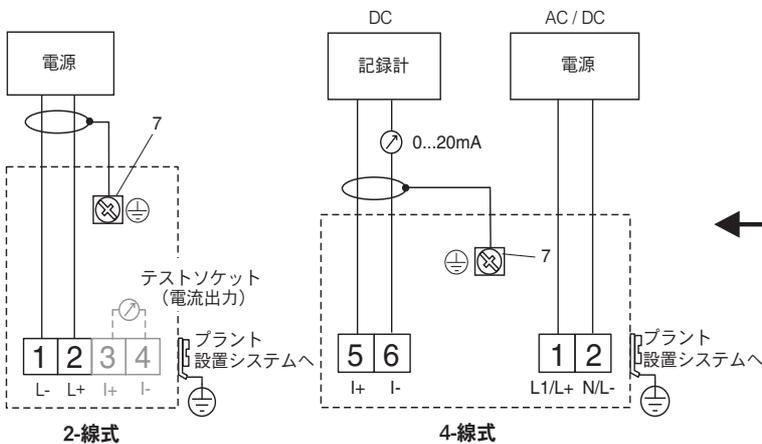
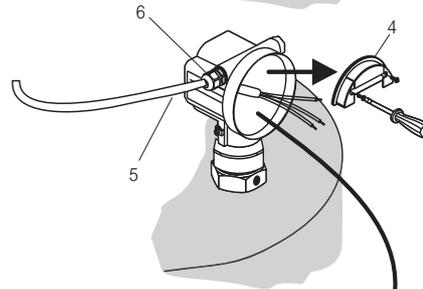
- ハウジングカバー (2) のねじを緩めます。
- ディスプレイ (3) が接続されていれば取り外します。
- ターミナルコンパートメント (4) のカバープレートを取り外します。
- 引輪を軽く引いて端子モジュール (5) を引き出します。
- 防水栓 (6) にケーブル (5) を通します。
シールドツイストペアケーブルを使用してください。

! ディスプレイコネクタを
抜く!



接地はセンサー側の電源ライン (7) のみとします。

- 接地を行います (ピンの割り当てに注意)。
- 端子モジュールを元どおりに挿入します。
- 防水栓 (6) を固定します。
- カバープレート (4) のねじを締め付けます。
- 接続されていたディスプレイを元に戻します。
- ハウジングカバー (2) のねじを締め付けます。
(防塵 = 40 Nm)
- 電源のスイッチを入れます。



注意!
4 線式が防爆アプリケーションに使用される場合、
電流出力は本質安全になります。

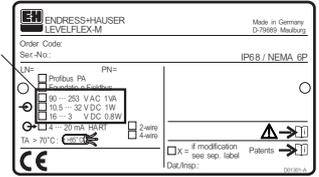
T12 ハウジング内の配線



注意!

配線作業に先立って次の点に注意してください。

- 電源は型式銘板 (1) 上の電源定格データと一致して
いなければなりません。
- 機器の接続作業を始める前に電源のスイッチを切ります。
- 機器の接続作業を始める前に等電位接続線 (プラント内の
接地系) を送信器のアース端子 (7) に接続します。
- 止めねじを締め付けます (8)。
これでアンテナとハウジングの接地電位がつながります。



本計測機器を爆発危険区域で使用する場合は国の基準を遵守し、安全に関する注意に記載の指示 (XA) に従う必要があります。必ず指定の水防栓を使用してください。



レベルフレックス M を次のように接続します。

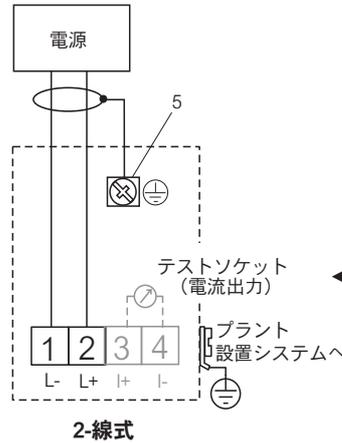
ターミナルコンパートメントが分離している場合は、ハウジングカバー (2) のねじを緩める前に電源のスイッチを切ってください。

- 水防栓 (4) にケーブル (3) を通します。
アナログ信号だけを使用する場合には、標準的な取付ケーブルで十分です。
重畳的な通信信号 (HART) を扱う場合には、シールド付きケーブルを使用してください。

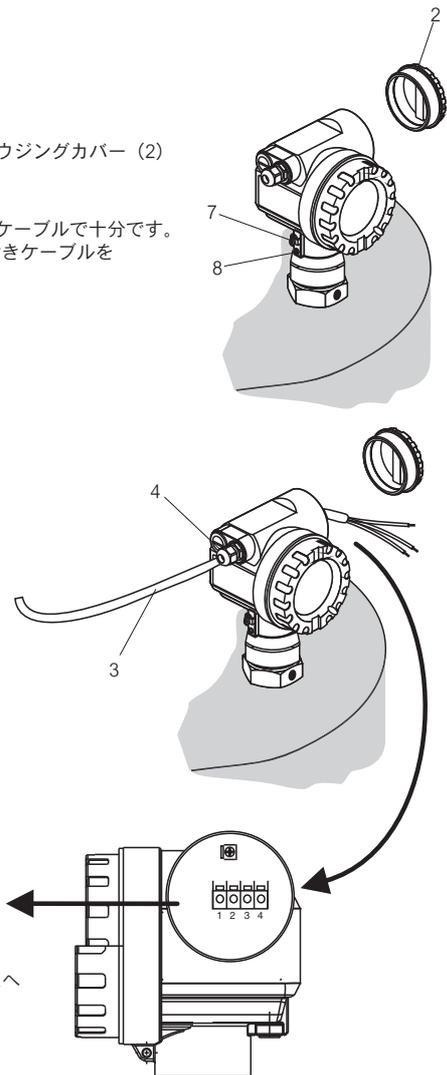


接地はセンサー側の電源ライン (5) のみとします。

- 接続を行います (ピンの割り当てに注意)。
- 水防栓 (4) を締め付けます (最大トルク 10...12 Nm)。
- ハウジングカバー (2) のねじを緩めて取り外します。
(防塵 = 40 Nm)
- 電源のスイッチを入れます。



2-線式



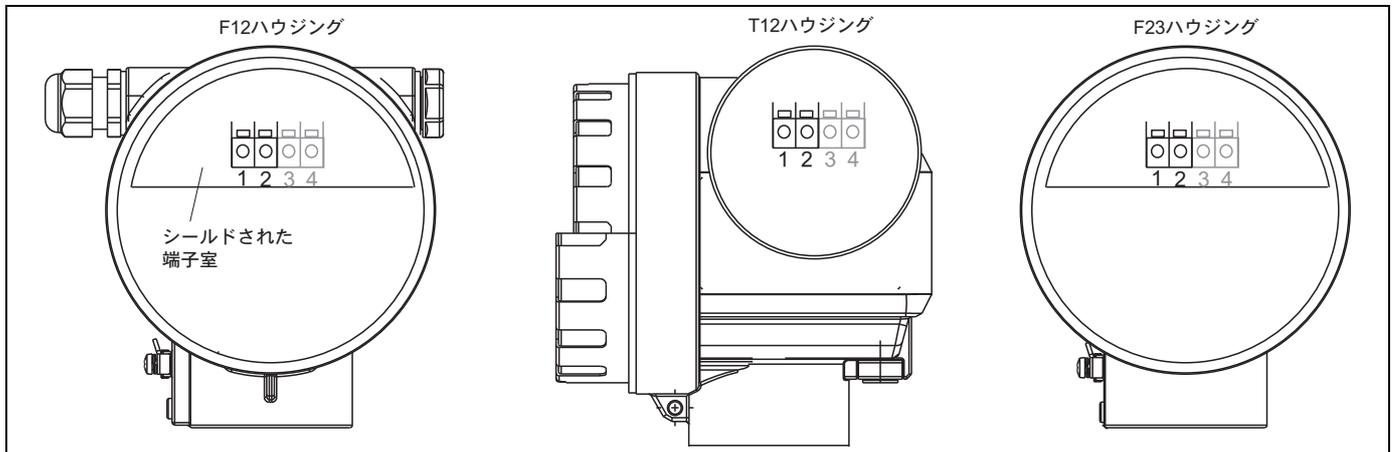
4.2 計測ユニットの接続

端子室

3種類のハウジングがあります。

- 端子コンパートメントが追加シールされたアルミニウム製 F12 ハウジング
 - 標準
 - Ex ia
- 端子コンパートメントが独立したアルミニウム製 T12 ハウジング
 - 標準
 - Ex e
 - Ex d
 - Ex ia (過電圧保護回路付)
- ステンレススチール SUS 316L 相当 (1.4435) ハウジング F23
 - 標準
 - Ex ia

設置後は機器本体ディスプレイ端子室へのアクセスが容易に行えるよう、ハウジングは 350° 回転可能です。



L00-FMR2xxxx-04-00-00-en-019

アナログ出力および電圧供給に関する重要な情報とともに、機器データが铭板上に記載されています。配線におけるハウジングの向きについては、「ハウジングの回転」(23 ページ) を参照してください。

HART 通信の抵抗

HART 通信用の最小抵抗 : 250 Ω

グランド接続

EMC 安全対策のためにグランド端子をハウジングの外に接続して良好なグランド状態を保ってください。

水防栓

タイプ		クランピング領域
標準, Ex ia, IS	プラスチック M20x1.5	5 ~ 10 mm
Ex em, Ex nA	金属 M20x1.5	7 ~ 10.5 mm

端子

ケーブルの断面積が 0.5 ~ 2.5 mm²

電線口

水防栓：M20x1.5 (Ex d：電線口)
電線口：G½ または ½NPT

供給電圧

HART、2 線
以下の値が機器本体の端子間電圧となります。

通信		消費電流	端子間電圧
HART	標準	4 mA	16 V ~ 36 V
		20 mA	7.5 V ~ 36 V
	Ex ia	4 mA	16 V ~ 30 V
		20 mA	7.5 V ~ 30 V
	Ex em Ex d	4 mA	16 V ~ 30 V
		20 mA	11 V ~ 30 V
Ex ic	4 mA	16 V ~ 32 V	
	20 mA	7.5 V ~ 32 V	
固定電流、例えば、ソーラーパワー動作の場合 (HART によって測定値が伝送される場合には調整可能)	標準	11 mA	10 V ~ 36 V
	Ex ia	11 mA	10 V ~ 30 V
HART マルチドロップモードでの固定電流	標準	4 mA ¹⁾	16 V ~ 36 V
	Ex ia	4 mA ¹⁾	16 V ~ 30 V

1) 電源起動時は 11mA を出力 (消費) します。

HART 残留リップル、2 線 : $U_{ss} \leq 200$ mV

HART、4 線、アクティブ

バージョン	電圧	最大負荷抵抗
DC	10.5 ~ 32 V	600 Ω
AC、50/60 Hz	90 ~ 253 V	600 Ω

HART 残留リップル、4 線、DC バージョン : $U_{ss} = 2$ V、許容電圧 (10.5 ~ 32 V) におけるリップルを含む電圧。

消費電流

通信	電流出力値	消費電流	消費電力
HART、2 線	3.6 ~ 22 mA ¹⁾	—	最小 60 mW, 最大 900 mW
HART、4 線 (AC 90 ~ 250 V)	2.4 ~ 22 mA	3 ~ 6 mA	最大 3.5 VA
HART、4 線 (DC 10.5 ~ 32 V)	2.4 ~ 22 mA	最大 100 mA	最大 1 W

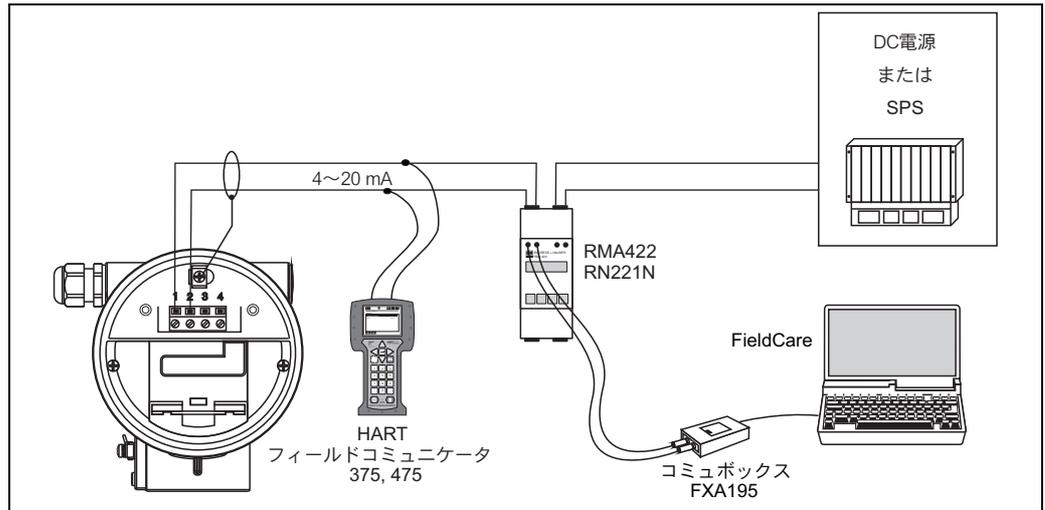
1) HART マルチドロップの場合は、電源起動時に 11 mA を消費します。

過電圧保護

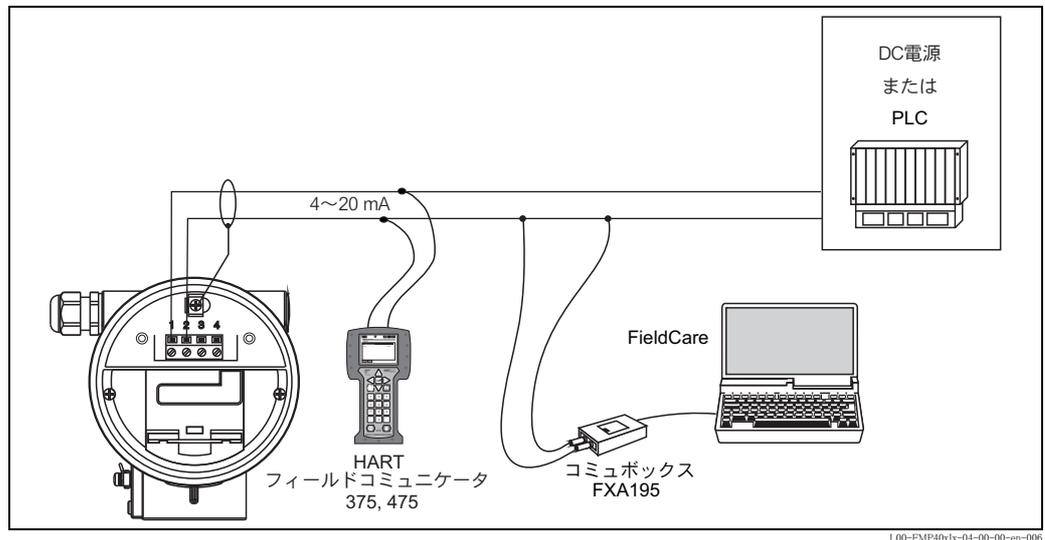
可燃性の液体のレベル計測のために計測機器を使用する際に、DIN EN 60079-14 または DIN EN 60060-1 (10 kA、パルス 8/20 μ s) に従って過電圧保護を行う必要がある場合、下記に従う必要があります。

- T12ハウジング内で過電圧保護（ガス放出チューブ）実装の計測機器を使用する場合は、「型式」（→6ページ）を参照します。
もしくは、
- 適切な対策を講じると（外部保護装置、例えば HAW562Z）この過電圧保護が得られます。

4.2.1 HART とエンドレスハウザー社製 RMA との接続 RMA 422/ RN 221



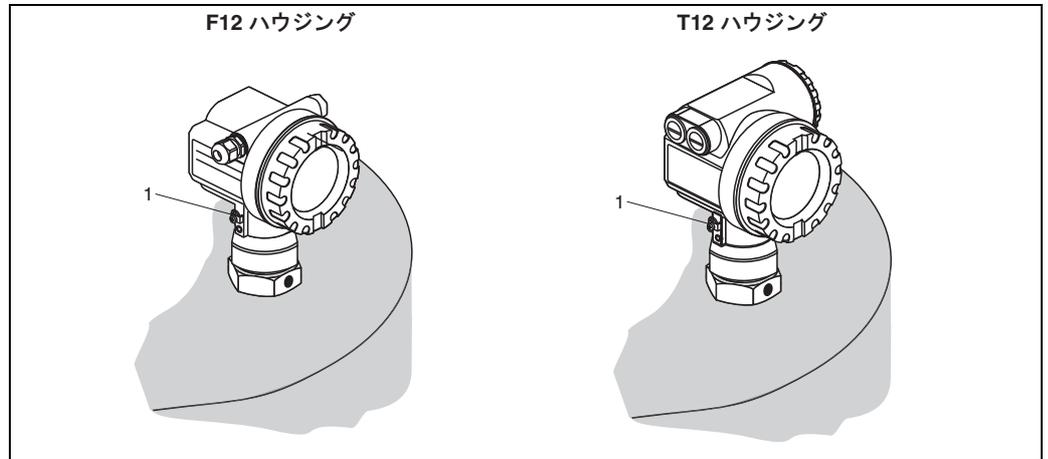
4.2.2 HART と他の供給ユニットとの接続



4.3 推奨接続

4.3.1 等電位接続線

等電位接続線を伝送管の外部アース端子（1）に接続します。



L00-FMP41Cxx-17-00-00-en-003

4.3.2 スクリーンケーブルの配線



警告！

防爆用途では、本機器のセンサ側だけを接地します。安全に関する指示の詳細については、爆発危険区域での用途に関する別の資料に記載されています。

4.4 保護等級

- ハウジング密閉時：
 - IP68、NEMA6P（水面下 1.83 m で 24 時間）
 - IP66、NEMA4X
- ハウジング開放時：IP20、NEMA1（ディスプレイは気密保護）

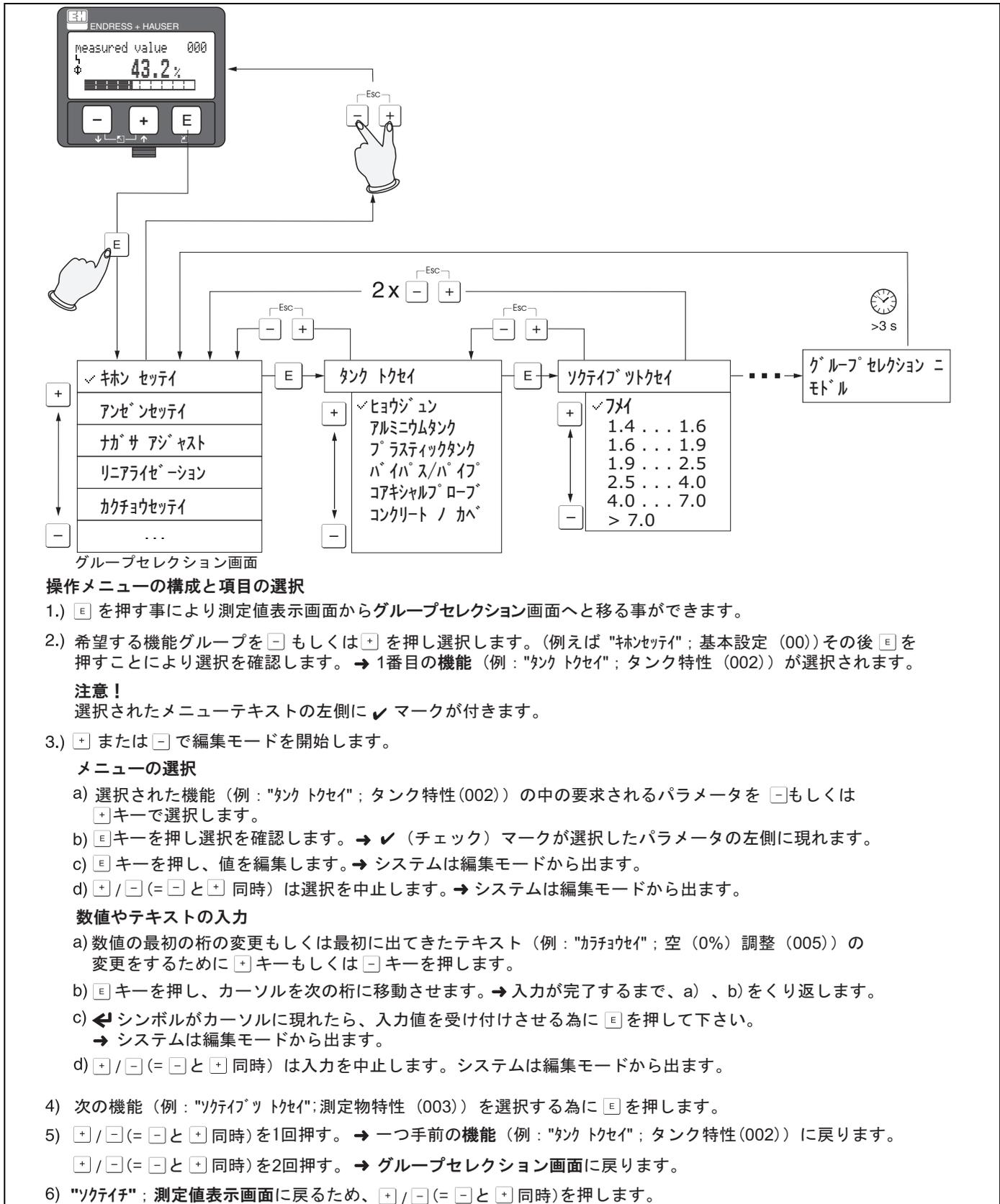
4.5 配線後のチェック

本機器を配線後、以下のチェックを行います：

- 端子の配置は正しいか（24 ページ以降、25 ページ）？
- 水防栓は締まっているか？
- ハウジングふたは、しっかりネジ込まれているか？
- 電源供給がある場合：
 - 機器は運転準備できているか、液晶ディスプレイは表示されるか？

5 操作

5.1 操作のクイックガイド



L00-FMP4xxxx-19-00-00-en-001

5.1.1 操作メニューの選択と設定

操作メニューは、2つのレベルからなります：

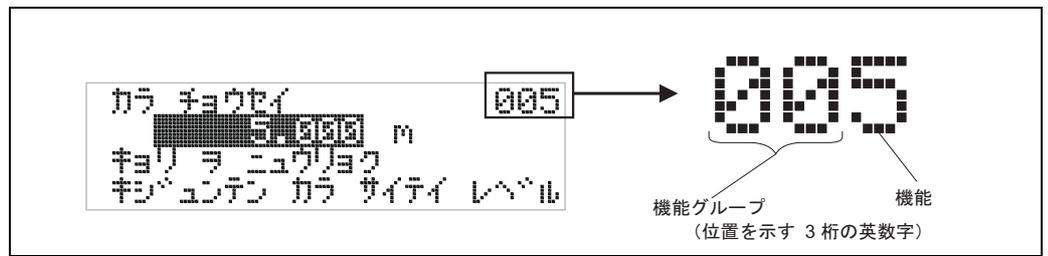
- **機能グループ** (00、01、03、…、0C、0D) :
本機器の各操作オプションは、異なる機能グループに大きく分割されています。機能グループとしては、例えば "林ンセッテイ"; 基本設定、"アンベンセッテイ"; 安全設定、"シュツリョク"; 出力、"ヒョウジ ディスプレィ"; 表示ディスプレイなどがあります。
- **機能** (001、002、003、…、0D8、0D9) :
各機能グループは、1つまたは複数の機能で構成されます。これらの機能でレベルフレックス本体の動作やパラメータの設定が実行されます。ここで、数値を入力し、パラメータを選択し、保存することができます。"林ンセッテイ"; 基本設定 (00) 機能グループで使用可能な機能としては、"タンクトケイ"; タンク特性 (002)、"ソクテイブツトケイ"; 測定物特性 (003)、"プロセスコンデション"; プロセスコンデション (004)、"カチョウケイ"; 空 (0%) 調整 (005) などがあります。

例えば本機器の用途を変更する場合、以下の手順を行います：

1. "林ンセッテイ"; 基本設定 (00) 機能グループを選択します。
2. "タンクトケイ"; タンク特性 (002) 機能を選択します (既存のタンク形状が選択されます)。

5.1.2 機能の識別

機能メニュー内での位置付けをわかりやすくするために、機能ごとに、表示ディスプレイに位置が表示されます。



L00-FMRxxxx-07-00-00-en-005

最初の 2 桁は、機能グループを識別します：

- "林ンセッテイ"; 基本設定 00
- "アンベンセッテイ"; 安全設定 01
- "リアライゼーション"; リニアライゼーション 04
- ...

3 桁目は、機能グループ内で、個別の機能の番号になります：

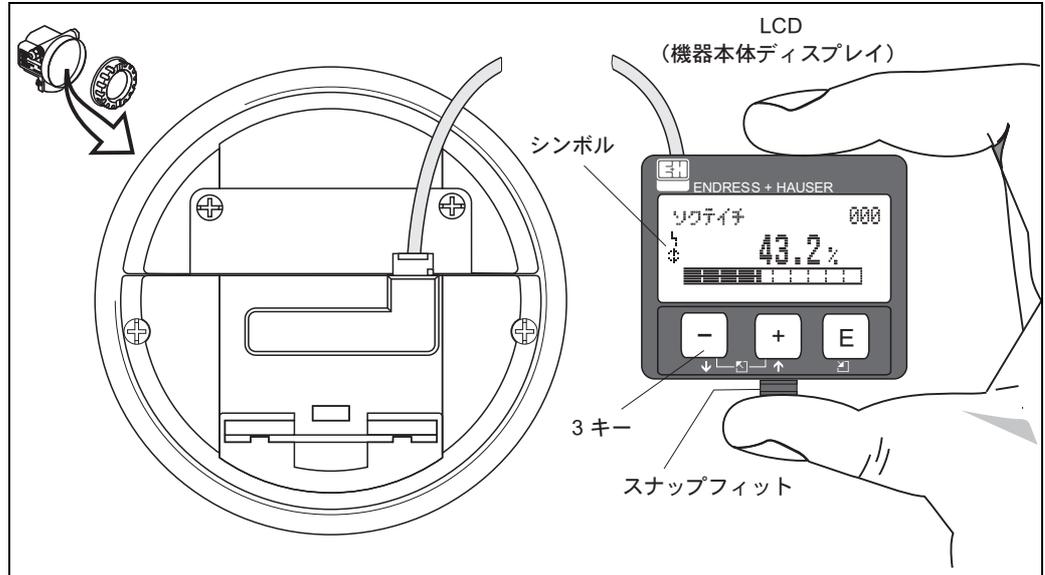
- "林ンセッテイ"; 基本設定 00 → ● "タンクトケイ"; タンク特性 002
- "ソクテイブツトケイ"; 測定物特性 003
- "プロセストケイ"; プロセス特性 004
- ...

これ以降では、位置は常に説明されている機能の後に括弧に入れて表示されます (例えば "タンクトケイ"; タンク特性 (002))。

5.2 ディスプレイと操作キー

5.2.1 液晶表示ディスプレイ (LCD)

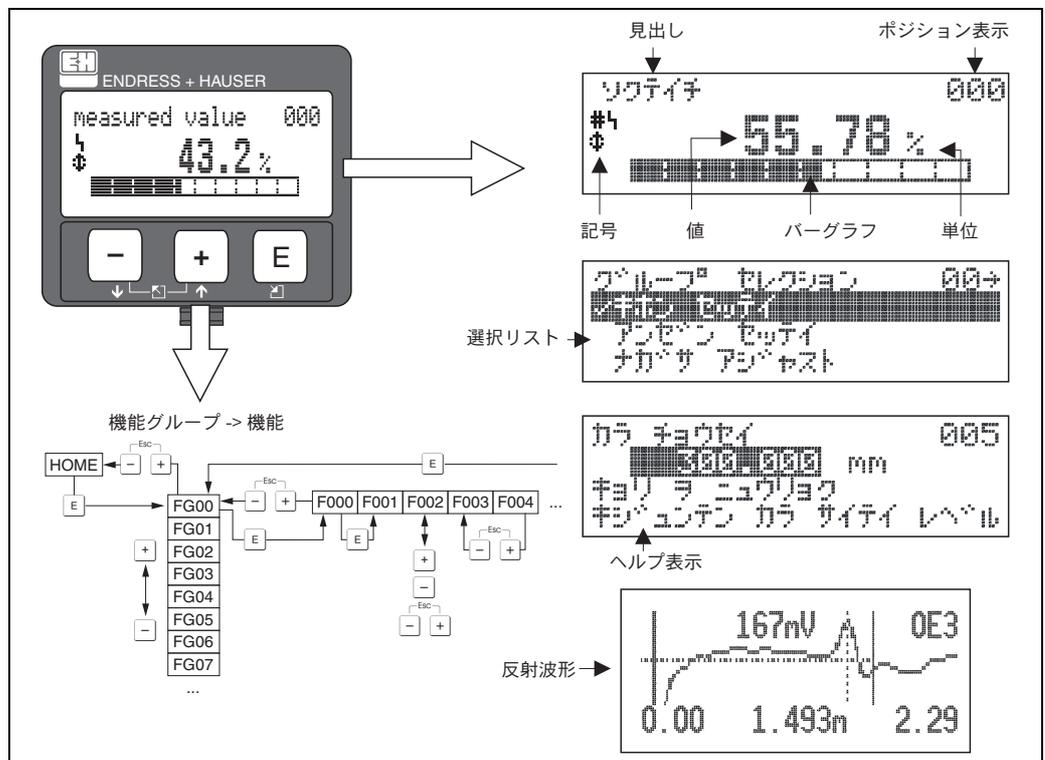
1行20文字、4行。キーの組み合わせによりコントラストを調整できます。



L00-FMxxxxx-07-00-00-en-001

VU331 機器本体ディスプレイは、スナップフィット（上図参照）を押すことにより、容易に取りはずしが可能です。機器とは 500 mm のケーブルで接続されます。

5.2.2 ディスプレイ



L00-FMxxxxx-07-00-00-en-001

5.2.3 記号表示

機器本体ディスプレイに表示されるシンボルを次表に示しています。

記号	意味
	アラーム 機器が、アラーム状態になった時にこのシンボルが現れます。点滅表示は警告を表します。
	ロック 機器がロックされている時、つまり入力が不可能な状態になっている時にこのシンボルが現れます。
	通信 機器が HART、PROFIBUS PA、FOUNDATION Fieldbus などを通じて通信中にこの通信シンボルが現れます。

5.2.4 キーの割当て

操作部はハウジング内にあり、ハウジング蓋を開け操作します。

キーの機能

キー	意味
 もしくは 	選択リストの上の方に移動します。 機能内の数値を変更します。
 もしくは 	選択リストの下の方に移動します。 機能内の数値を変更します。
  もしくは  	機能グループ内の一つ手前に戻ります (一つ左側に移動)。
	機能グループ内の一つ先に進みます (一つ右側に移動)。
 と  もしくは  と 	機器本体ディスプレイ LCD のコントラスト調整
 と  と 	ハードウェアのロック/ロック解除 表示もしくは通信を介しての操作は不可能となります。 ディスプレイを介してのみロック解除のみが可能です。ロック解除パラメータも機器本体ディスプレイを介して入力しなければなりません。

5.3 機器本体での操作

5.3.1 設定モードのロック

レベルフレックスにはレベルフレックス本体データ、数値または工場出荷設定値の変更権限をもたない者による変更を防止するための方法が2通り用意されています。

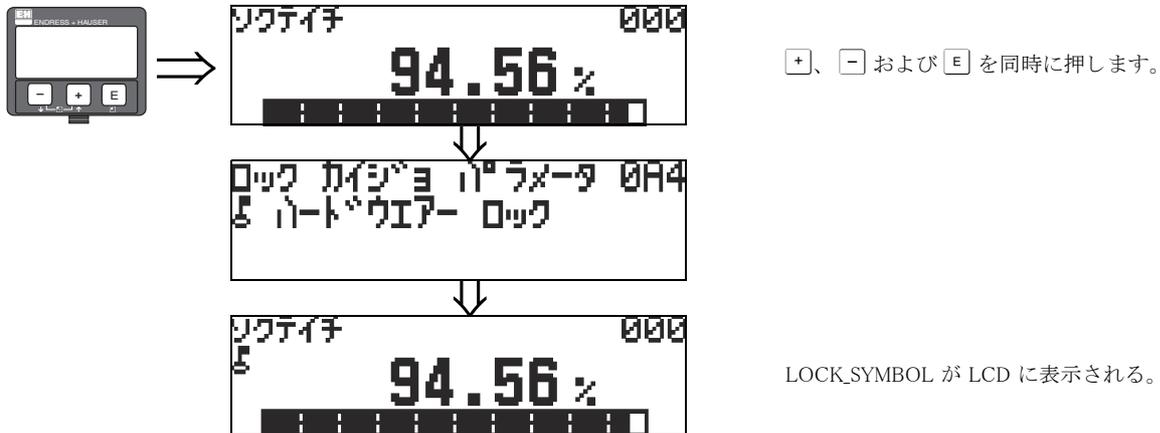
"ロック解除パラメータ"; ロック解除パラメーター (0A4) 機能

100 以外の値 (例えば 99) を、"シグナル"; 診断 (0A) 機能グループの "ロック解除パラメーター"; ロック解除パラメーター (0A4) に入力します。ロックは、ディスプレイに  シンボルで示され、ディスプレイまたは通信でもう一度解除することができます。

ハードウェアロック

、 および  キーを同時に押すと機器がロックされます。

ロックを表す  記号が表示ディスプレイに表示されます。 キーと  キーと  キーを同時に押すことによって、表示ディスプレイを介してのみ、再びロック解除することができます。ハードウェアロックを通信で解除することはできません。本機器がロックされていても、パラメータはすべて、表示することができます。



5.3.2 設定モードのロック解除

本機器がロックされているときに、ディスプレイでパラメータの変更を試みると、本機器のロックを解除するよう自動的に求められます：

“ロックカージョパラメーター”；ロック解除パラメーター（0A4）機能

以下のロック解除パラメータを入力することによって（表示ディスプレイ上に入力、または通信によって）。

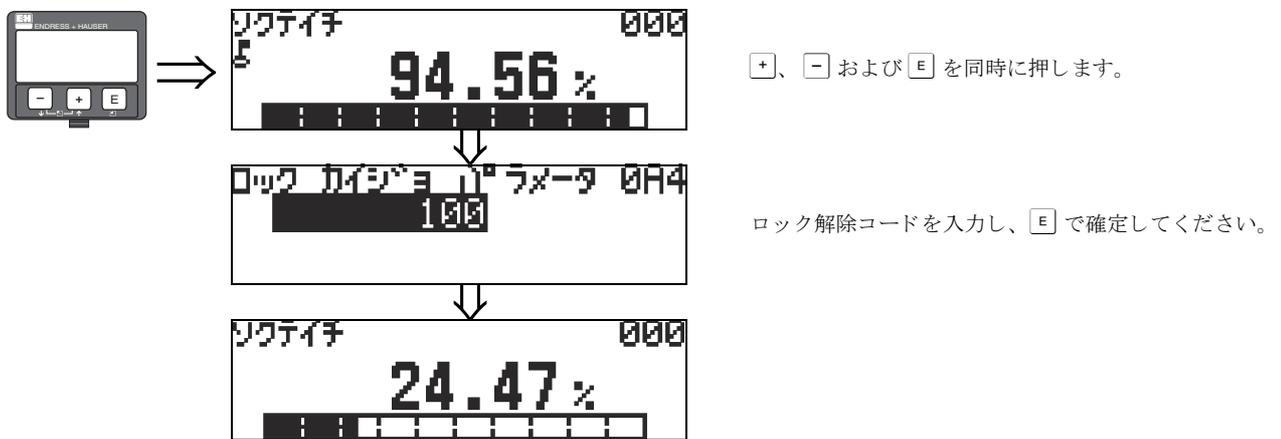
100 = HART 機器の場合

レベルフレックスはロックが解除されて操作可能となります。

ハードウェアのロック解除

[+]、[-] および [E] キーを同時に押すと、ユーザはロック解除パラメータを入力するように指示されます。

100 = HART 機器の場合



警告！

全センサの特性など、特定のパラメータを変更すると、測定システム全体の多くの機能、特に測定精度に影響することがあります。通常の状況下でこのようなパラメータを変更する必要はなく、弊社のサービス部門のみが管理する特殊なコードで保護されています。不明な点については、エンドレスハウザー社にお問い合わせください。

5.3.3 工場出荷設定値（リセット）



警告！

リセットを行うと、本機器が工場出荷設定に戻ります。これによって、測定が正常に機能しなくなることがあります。一般に、リセット後は基本設定をやりなおすことを推奨します。

リセットは以下の場合にのみ必要となります。

- レベルフレックス本体の機能が停止した場合、もしくは停止された場合。
- レベルフレックス本体を移動しなければならない場合。
- レベルフレックス本体を取り外し、保管後再度設置する場合。



ユーザー入力（"リセット"；リセット（0A3））：

- 333 = ユーザーのパラメータ

333 = ユーザーのパラメータのリセット

測定履歴が未知のレベルフレックス本体を新たなアプリケーションに設置するときには、このリセットを推奨します。

- レベルフレックスはデフォルト値にリセットされます。
- タンク内ノイズ反射マッピングのユーザー設定値は失われません。
- "加減算設定"; 拡張設定 (05) 機能グループの "カスタマー タンク マップ"; カスタマー タンク マップ (055) マッピングを削除することもできます。
- テーブル内の数値は保持されていますが、リニアライズ調整は "リニア"; リニアに切り替わります。"リニアライズ"; リニアライズ (04) 機能グループで、このテーブルが再び使用可能となります。

リセットの影響を受ける機能のリスト：

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|
| ● "タンク特性"; タンク特性 (002) | ● "max. スケール"; 最大スケール (046) |
| ● "測定物特性"; 測定物特性 (003) | ● "容器直径"; 容器直径 (047) |
| ● "プロセス特性"; プロセス特性 (004) | ● "距離確認"; 距離確認 (051) |
| ● "空 (0%) 調整"; 空 (0%) 調整 (005) | ● "マッピングレンジ"; マッピングレンジ (052) |
| ● "満タン (スパン) 調整"; 満タン (スパン) 調整 (006) | ● "マッピング開始"; マッピング開始 (053) |
| ● "アラーム時の出力"; アラーム時の出力 (010) | ● "オフセット"; オフセット (057) |
| ● "アラーム時の出力"; アラーム時の出力 (011) | ● "出力積分"; 出力積分 (058) |
| ● "反射無し時の出力 (012)"; 反射無し時の出力 (012) | ● "出力下限"; 出力の下限 (062) |
| ● "勾配 % スパン / 分"; 勾配 % スパン / 分 (013) | ● "電流出力"; 電流出力 (063) |
| ● "遅延時間"; 遅延時間 (014) | ● "固定電流出力値"; 固定電流出力値 (064) |
| ● "安全距離"; 安全距離 (015) | ● "4mA 値"; 4mA 値 (068) |
| ● "安全距離内"; 安全距離内 (016) | ● "言語"; 言語 (092) |
| ● "あふれ防止"; あふれ防止 (018) | ● "ホームへ戻る"; ホームへ戻る (093) |
| ● "プローブの終端"; プローブの終端 (030) | ● "表示形式"; 表示形式 (094) |
| ● "レベル / アレージ"; レベル / アレージ (040) | ● "小数点以下の桁"; 小数点以下の桁 (095) |
| ● "リニアライズ"; リニアライズ (041) | ● "小数点のキャラクター"; 小数点のキャラクター (096) |
| ● "ユーザー単位"; ユーザー単位 (042) | ● "ロック解除パラメーター"; ロック解除パラメーター (0A4) |

完全な "基本設定"; 基本設定 (00) は起動する必要があります。

5.4 エラーメッセージの表示と通知エラーメッセージ

エラーの種類

設定または測定中に発生したエラーは、本体ディスプレイに直ちに表示されます。2 個以上のシステム/プロセスエラーが発生した場合は、もっとも優先度の高いエラーがディスプレイに表示されます。

この測定システムではエラーを 2 種類に区別しています：

- **A (アラーム) :**
機器は定義された状態 (例えば最大 22 mA など) になります。
常灯状態の  記号で表されます。
(コードの説明については 71 ページを参照。)
- **W (警告) :**
機器は測定を継続します。エラーメッセージが表示されます。
点滅する  シンボルで示されます。
(コードの説明については 71 ページを参照。)
- **E (アラーム / 警報) :**
設定可能です (例えば、反射なし、安全距離内のレベルなど)
常灯 / 点滅状態の  記号で表されます。
(コードの説明については 71 ページを参照。)



エラーメッセージ

エラーメッセージが、ディスプレイに 4 行のテキストで表示されます。さらに一意のエラーコードも表示されます。エラーコードの説明については 71 ページを参照してください。

- "シグナル"; 診断 (0A) 機能グループは、以前発生したエラーだけでなく、現在のエラーも表示できます。
- 複数のエラーが発生した場合は、 または  を押してページを切り換え、複数のエラーメッセージを表示させることができます。
- 前回発生したエラーは、"シグナル"; 診断 (0A) 機能グループで、機能 "ゼロカイ/エラー/リセット" ; 前回のエラーの消去 (0A2) を使用して消去することができます。

5.5 HART 通信

ローカルでの操作とは別に、測定機器をパラメータ化し、HART プロトコルによって、測定値を表示させることができます。操作に使用できるオプションは、2 つあります：

- ハンドヘルドユニット 375, 475 による操作
- オペレーティングシステム（例えば、接続用 FieldCare 28 ページ以降）を使用したパーソナルコンピュータ（PC）による操作

5.5.1 375, 475 ハンドヘルドユニットによる操作

ハンドヘルドユニット 375, 475 では、すべての機能をメニュー操作によって設定することができます。



注意！

HART ハンドヘルドユニットに関する詳細情報は、Field Communicator 375、475 の輸送バッグに保管されているそれぞれの取扱説明書に記載されています。

5.5.2 エンドレスハウザー社製操作プログラム

操作プログラム FieldCare は FDT テクノロジーによるエンドレスハウザー社製プラントアセット管理ツールです。FieldCare を使用してエンドレスハウザー社のすべての機器設定を行うと同様に、FDT 規格をサポートする他のメーカーの装置の設定も行うことができます。ハードウェアおよびソフトウェアの要件については、インターネットでご確認ください。

www.endress.com → 国を選択 → テキスト検索：FieldCare → FieldCare → 技術情報

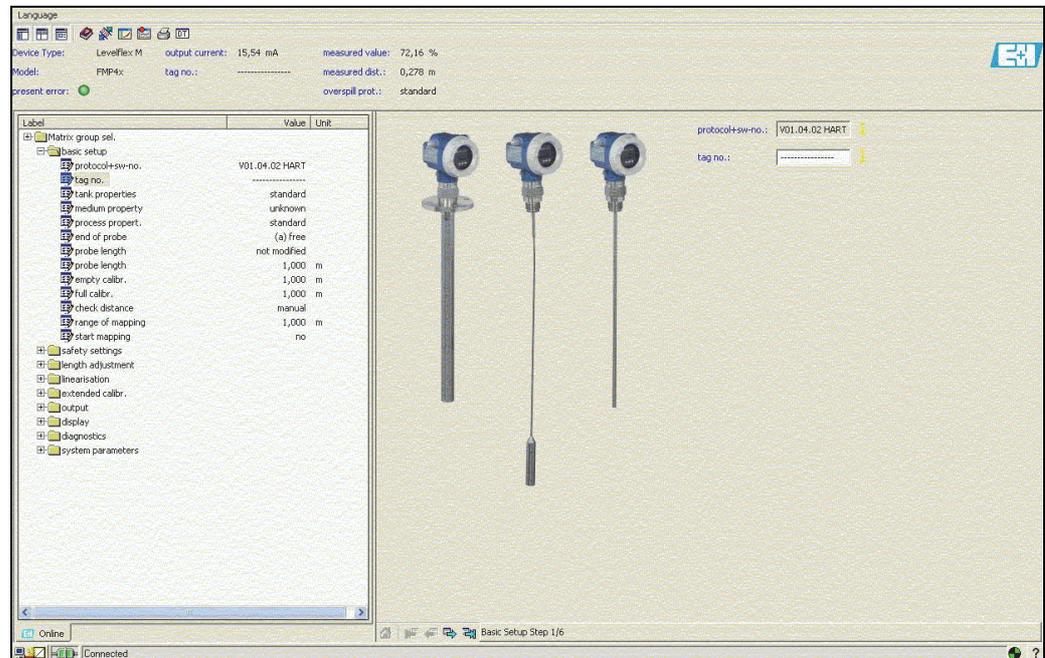
FieldCare は次の機能をサポートしています。

- オンラインでの機器調整
- 反射波形を介しての信号解析
- タンクのリニアライゼーション
- 機器データのロード、セーブ（アップロード／ダウンロード）
- 測定ポイントの（機器設定）ドキュメント作成

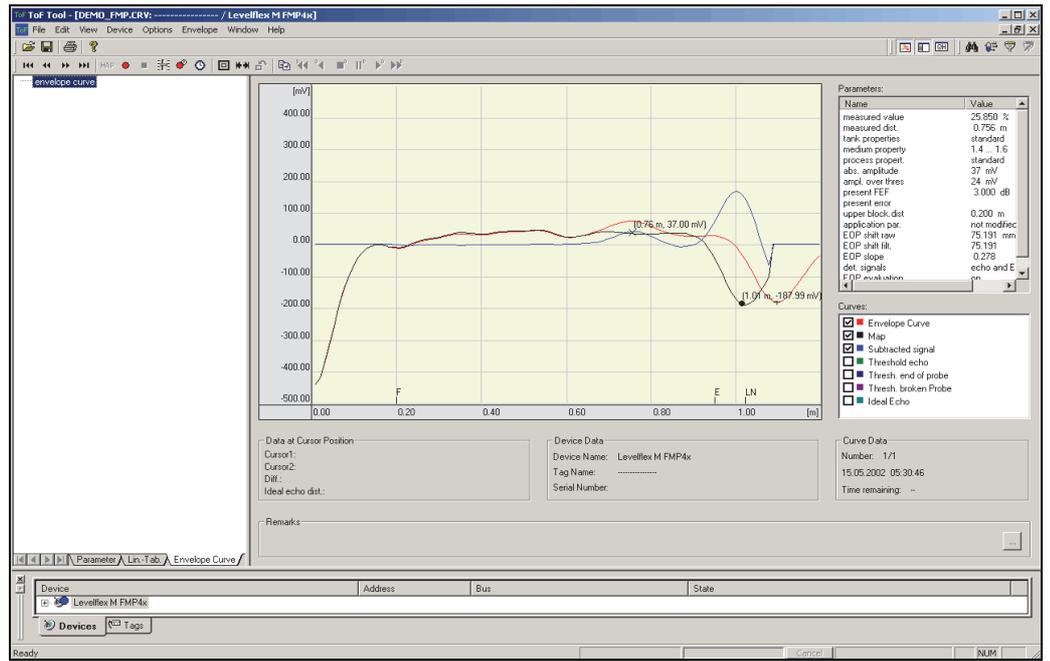
接続オプション

- コミュボックス FXA195 とコンピュータの USB ポートを介した HART
- ToF アダプタ FXA291 付きコミュボックス FXA291、サービスインターフェースを使用

メニューガイドによる設定

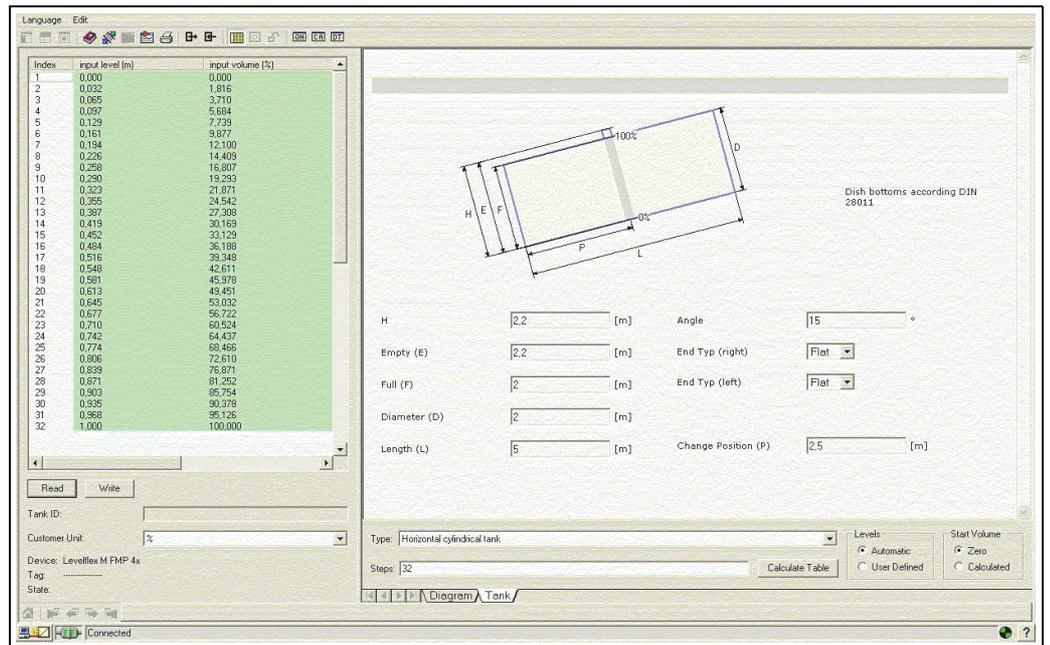


反射波形を介しての信号解析



L00-FMP4xxxx-20-00-00-en-007

タンクのリニアライゼーション



L00-fmp-lxxx-20-00-00-en-041

6 設定

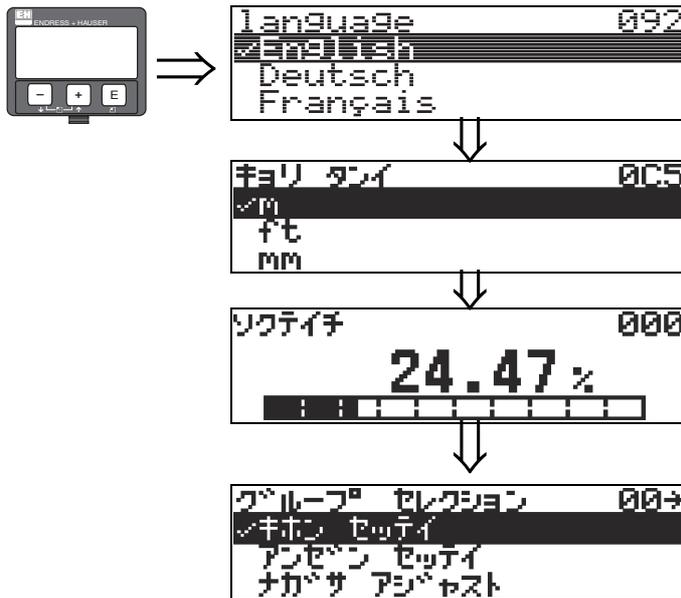
6.1 機能チェック

測定ポイントを運転開始する前に、最終チェックがすべて完了したことを確認します：

- チェックリスト「設置後のチェック」→ 23 ページ
- チェックリスト「配線後のチェック」→ 29 ページ

6.2 測定機器上のスイッチ操作

本機器を初めてオンにすると、ディスプレイにソフトウェアのバージョンと、通信プロトコル、選択されている言語が続けて 5 秒間表示されます。



言語を選択します (本機器を初回にオンすると、このメッセージが表示されます)。

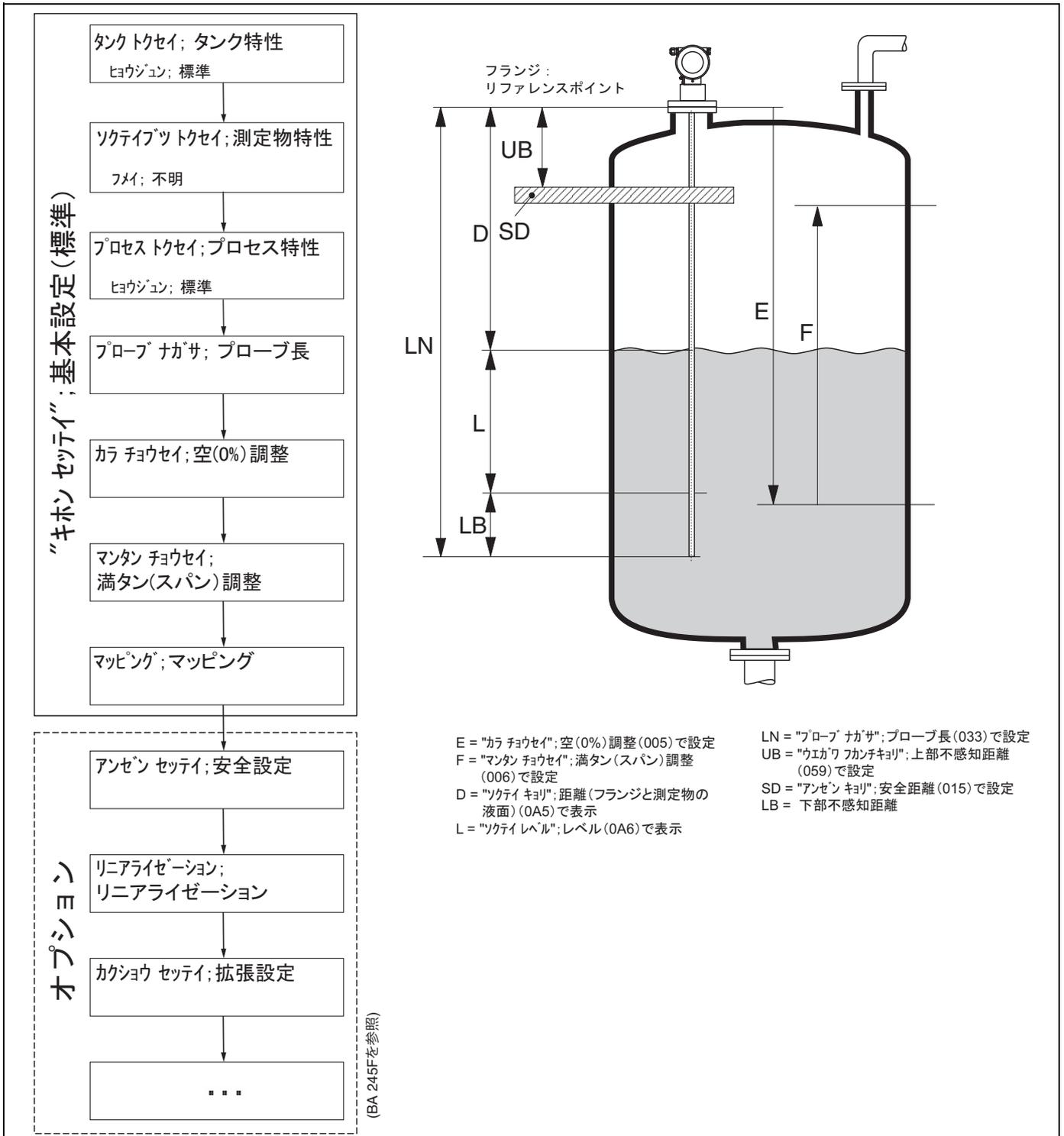
基本単位を選択します。
(このメッセージは初めて機器に電源が投入された時に表示されます)。

現在の測定値が表示されています。

E が押された後、グループセレクションに移ります。

このセレクションで基本設定を行うことができます。

6.3 基本設定



L00-FMP41Cxx-19-00-00-en-001

**警告！**

ほとんどの用途で、基本設定だけで十分設定を済ませることができます。レベルフレックスは、注文したプローブ長さに応じて工場で初期調整されています。そのため、ほとんどの場合、自動的に装置を計測コンディションに適合させるアプリケーションパラメータを入力するだけです。電流出力用モデルでは、ゼロ点 (E) とスパン (F) は 4 mA および 20 mA、デジタル出力と本体ディスプレイ表示は 0% および 100% に工場調整されています。最大 32 点のリニアライゼーション機能は、手動または半自動入力テーブルに基づいていますが、機器本体の操作でも遠隔操作でも稼働できます。例えば、この機能を使用すれば、レベルを、体積または質量の単位に変換できます。

**注意！**

レベルフレックス M では、プローブが破損しているかどうかをチェックすることができます。短いプローブを破損したプローブと間違える可能性があるため、納入時にはこの機能はオフになっています。

この機能を稼働するには、次のステップを実行します。

1. カバーの付いていないプローブを使用してマッピングを実行します ("マッピングレンジ"; マッピングレンジ (052) と "マッピングガイ"; マッピング開始 (053))。
2. "ファンクティ"; 安全設定 (01) 機能グループで "プローブイェクシ"; プローブ異常検知 (019) 機能を稼働します。

複雑な測定操作の場合は、追加機能を必要とします。これによりユーザー固有の必要条件に添うように、必要に応じてレベルフレックスをカスタマイズして使用することができます。これを行うために利用できる機能については、同梱の CD-ROM に格納されている「機能説明書 - BA00245F」に詳しく記載されています。

"ファンクティ"; 基本設定 (00) の機能を設定する場合は、次の指示に従ってください。

- 30 ページで説明されているように機能を選択してください。
- 機能によっては (例えば、"ファンクシマッピングガイ"; 不要反射マッピングの開始 (053))、データ入力を確定するよう求められます。[+] キーまたは [-] キーを押して、"M"; はいを選択し、[E] キーを押して確定します。これで、この機能が開始します。
- 設定可能な期間中にキーを押さないと (→ 機能グループ "表示 (09) ")、ホームポジション (測定値表示) に自動的に戻ります。

**注意！**

- 本機器は、データ入力中も引き続き測定を行います。すなわち現在の測定値が信号出力から通常通り出力されます。
- 反射波形モードがディスプレイで有効になっている場合は、測定値の更新サイクル時間が遅くなります。測定点が最適化された後は反射波形表示モードを解除することを推奨します。
- 電源供給が失敗しても、すべてのパラメータ化された事前設定値は、安全に EEPROM に保存されたままです。
- 操作メニューの概要だけでなく、全機能の詳細については、同梱の CD-ROM に格納されている「機能説明書 - BA00245F」に記載されています。

6.4 表示ディスプレイ VU 331 での基本設定

機能 "ソクテイ"; 測定値 (000)

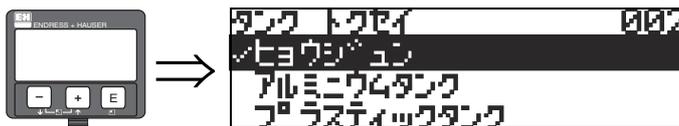


この機能は、現在の測定値を選択で表示します ("ユーザー-タイ"; ユーザー単位 (042) 機能参照)。小数点以下の桁数は、"ショウケンイカケタ"; 小数点以下の桁 (095) 機能で選択することができます。

6.4.1 機能グループ "キホン セッテイ"; 基本設定 (00)



機能 "タンクトクセイ"; タンク特性 (002)



この機能は、タンク特性の選択に使用します。

選択:

- "ヒョウジ ユン"; 標準
- "アルミニウムタンク"; アルミニウムタンク
- "プラスチックタンク"; プラスティックタンク
- "バイパス / パイプ"; 外筒管 / 内筒管
- "コアキシアルプローブ"; コアキシアルプローブ
- "コンクリートノカベ"; コンクリート壁

標準

ロッドプローブおよびローブプローブの通常タンク取り付けには "ヒョウジ ユン"; 標準 オプションを推奨します。

アルミニウムタンク

"アルミニウムタンク"; アルミニウムタンクオプションは、タンクが空の時にノイズレベルの増加を引き起こす、高いアルミニウムサイロ用に特に設計されています。このオプションは、4 m 以上のプローブのみに有効です。4 m 以下のプローブの場合は、"ヒョウジ ユン"; 標準オプションを選択してください。



注意!

"アルミニウムタンク"; アルミニウムタンクを選択した場合、機器は測定物の特性に応じて、最初のタンク充填中に自動的に校正を行います。そのため、最初の充填時には測定誤差が発生します。

プラスチックタンク

プロセス接続で、表面が金属でない木またはプラスチックタンク内にプローブを設置する時には、"プラスチックタンク" オプションを選択します (「プラスチックタンクでの設置」(→ 21 ページ以降) を参照)。プロセス接続に金属面を用いる場合には、"ヒョウジ ユン"; 標準オプションを選択してください。



注意!

原則として、プロセス接続には、表面部分が金属の物を選んでください。

外筒管 / 内筒管

"パイプス/パイプ"; 外筒管 / 内筒管オプションは、外筒管 ("バイパス") または内筒管 ("パイプ") にプローブを設置する場合に設定します。このオプションを選択すると、上部不感知距離があらかじめ 100 mm に設定されます。

コアキシャルプローブ

"コアキシャルプローブ"; コアキシャルプローブオプションは、コアキシャルプローブを使用する場合に選択してください。これを設定した場合は、測定の評価は、高感度のコアキシャルプローブに適応しています。このため、このオプションはローブプローブまたはロッドプローブを使用する場合には選択しないでください。

コンクリート壁

"コンクリート壁"; コンクリート壁オプションは、壁との距離を 1 m 以下で取り付ける場合に、コンクリート壁の単一ダンピング特性を考慮に入れています。

機能 "ソクティブットクセイ"; 測定物特性 (003)



この機能は、比誘電率を選択するために使用します。

選択:

- "不明"; 不明
- 1.4 ... 1.6 (コアキシャルプローブ、ロッドプローブを金属パイプに取り付けた場合 ≤ DN150)
- 1.6 ... 1.9
- 1.9 ... 2.5
- 2.5 ... 4.0
- 4.0 ... 7.0
- > 7.0

測定物クラス	比誘電率	代表的な液体	典型的な測定レンジ
1	1.4 ~ 1.6	- 濃縮ガス、例えば N ₂ 、CO ₂	4 m (157") 金属パイプに取り付けた場合
2	1.6 ~ 1.9	- プロパンなどの液化ガス - 溶剤 - フリゲン / フレオン - パームオイル	9 m (354")
3	1.9 ~ 2.5	- 鉱油、燃料	12 m (472")
4	2.5 ~ 4	- ベンゼン、スチレン、トルエン - フラン - ナフタリン	16 m (629")
5	4 ~ 7	- クロロベンゼン、クロロホルム - セルローズスプレー - イソシアン酸塩、アニリン	25 m (984")
6	> 7	- 水溶液 - アルコール - 酸、アルカリ	30 m (1181")

非常に粗い粒体もしくは粗い粉体には低位のグループが適用されます。以下のものは、最大測定可能レンジが減少する原因となります。

- 表面が非常に粗い粒体。例えば充填時に空気が入ったため堆積密度が低くなっている粒体。
- 付着物。主に湿った測定物のもの。



注意!

アンモニアは拡散速度の高い物質であるため、この媒体での測定にはガスタイトフィールドスルを備えた FMP45 の使用をお勧めします。

機能 "プロセスクセイ"; プロセス特性 (004)



この機能を使用すると、機器反応がタンクの充填速度に適合されます。この設定はインテリジェントフィルタに影響を与えます。

選択:

- "ヒョウジユン"; 標準
- "ハイエキメンヘントウ"; 速い液面変動
- "オダヤカナヘンカ"; 穏やかな変化
- "テスト: ノーフィルター"; フィルタなし

選択:	標準	"ハイエキメンヘントウ"; 速い液面変動	"オダヤカナヘンカ"; 穏やかな変化	"テスト: ノーフィルター"; フィルターなし
用途:	すべての標準的な用途に適用。低~中程度の充填速度で粒体および液体を充填する十分な大きさのタンク向け。	速い充填速度で、主に液体を充填する小さなタンク向け。	例えば攪拌器などによって、液面が激しく荒れるような用途に適用。主として低~中程度の充填速度の大きなタンク向け。	最短の反応時間: • テスト用 • "ハイエキメンヘントウ"; 速い液面変動設定が遅すぎる場合に、充填速度の速い小さなタンクに適用。
2線電子部タイプ:	デッドタイム: 4秒 立上り時間: 18秒	デッドタイム: 2秒 立上り時間: 5秒	デッドタイム: 6秒 立上り時間: 40秒	デッドタイム: 1秒 立上り時間: 0秒
4線電子部タイプ:	デッドタイム: 2秒 立上り時間: 11秒	デッドタイム: 1秒 立上り時間: 3秒	デッドタイム: 3秒 立上り時間: 25秒	デッドタイム: 0.7秒 立上り時間: 0秒

機能 "プローブエント"; プロブの終端 (030)



この機能を使用すれば、プローブ終端の信号極性を選択できます。プローブ終端が覆われていない場合や絶縁されていないアタッチメントに設置されている場合、プローブ終端の信号は陰性となります。

アタッチメントが接地されている場合、プローブ終端からの信号は陽性となります。

選択:

- "フリー"; 先端固定なし (先端固定なしのウェットタイプの場合、ロッド、コアキシャルプローブの場合)
- "センタンコテイ アイソレート¹⁾"; 絶縁されたアタッチメントに先端を固定している場合
- "センタンコテイ グランド¹⁾"; 接地されたアタッチメントに先端を固定している場合¹⁾

1) プローブの先端に金属のセンタリングを使用している場合

機能 "プローブ ナガサ"; プローブ長 (031)



この機能を使用して、工場出荷時の校正の後でプローブ長が変更されたかどうかを選択します。選択した場合に限り、プローブ長を入力または修正する必要があります。

選択:

- "ミソウ"; 未変更
- "ヘンコウズミ"; 変更済み



注意!

"プローブ ナガサ"; プローブ長" (031) 機能で "ヘンコウズミ"; 変更済みが選択された場合は、次のステップでプローブ長が定義されます。

機能 "プローブ"; プローブ (032)



この機能を使用して、プローブが露出した状態になっているか、あるいは測定物によってカバーされた状態になっているかを選択します。プローブが露出した状態になっている場合は、"ナガサクタイ"; 長さを決定 (034) で、レベルフレックスが自動的にプローブ長を決定することができます。プローブが測定物によってカバーされている場合は、"プローブ ナガサ"; プローブ長 (033) 機能で、正確な入力を行なう必要があります。

選択:

- "フリー"; フリー (プローブが露出した状態)
- "ウマッテイル"; 埋っている (プローブが測定物によってカバーされている状態)

機能 "プローブ ナガサ"; プローブ長 (033)



この機能を使用して、手動でプローブ長を決定します。

機能 "ナガサケッテイ" ; 長さを決定 (034)



この機能を使用して、自動的にプローブ長を決定します。

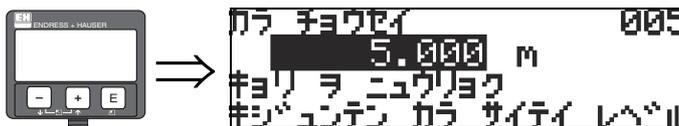
設置の状況により、自動的に決定されたプローブ長が実際（通常は 20 ~ 30 mm）よりも長い数値となる場合があります。これにより測定の精度が影響を受けることはありません。リニアライゼーションで空の数値を入力するときには、自動的にプローブ長を測定せず、「空 (0%) 調整」を選んでください。

選択 :

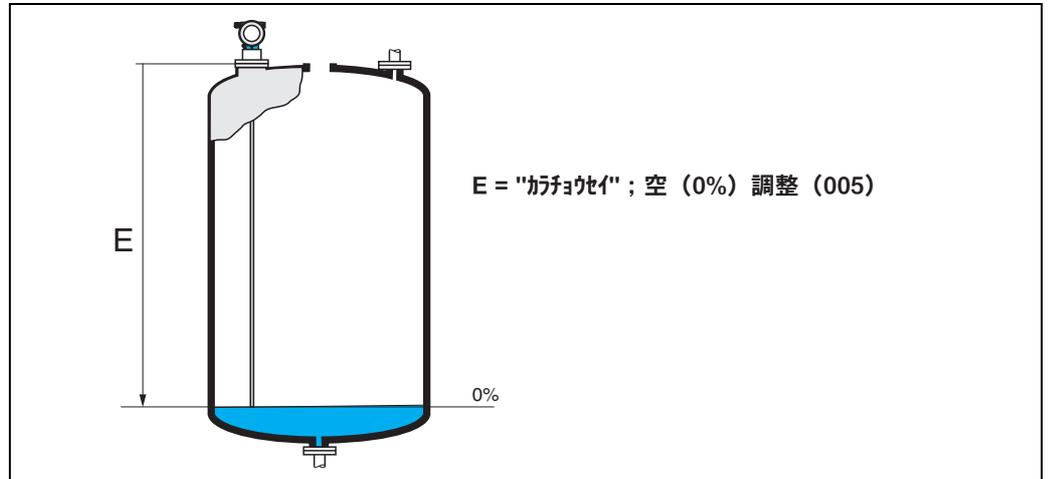
- "ナガサOK" ; 長さ OK
- "ミジカスキル" ; 短すぎる
- "ナガスキル" ; 長すぎる

"ミジカスキル" ; 短すぎるまたは "ナガスキル" ; 長すぎるを選択した後、新たな値を計算するのに約 10 秒かかります。

機能 "カラチャウセイ" ; 空 (0%) 調整 (005)



この機能は、フランジ（測定基準点）から最低レベル (= 0%) までの距離の入力に使用します。

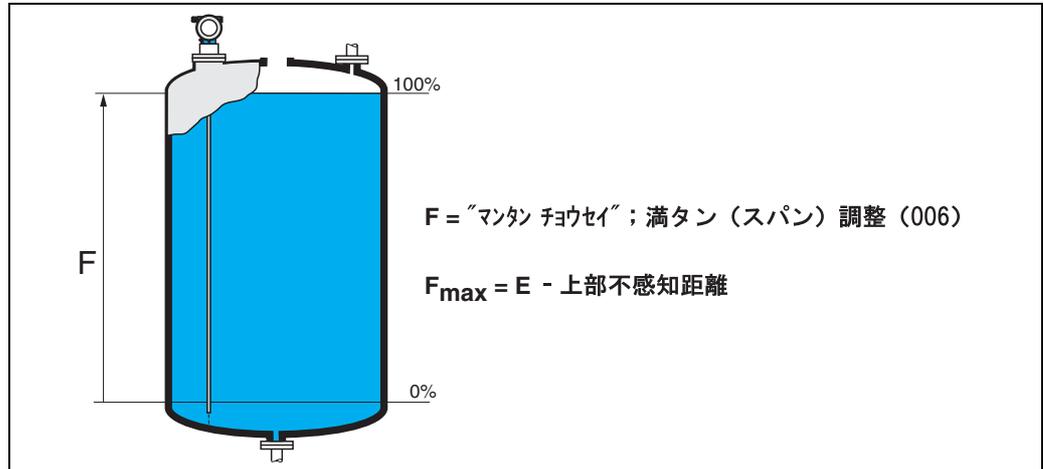


L00-FMP4xxxx-14-00-06-en-008

機能 "マンタン チョウセイ"; 満タン (スパン) 調整 (006)



この機能は、最低レベルから最大レベルまでの距離 (=スパン) の入力に使用します。



L100-FMP4xxxx-14-00-06-en-009



注意!

使用可能な測定レンジは、不感知距離の上部と下部との間にあります。空の距離 (E) とスパン (F) は、これとは別に設定可能です。

機能 "キョリソクテイチ"; 距離 / 測定値 (008)



基準点から測定対象物表面までの測定距離と、空 (0%) 調整を使用して計算された測定値が表示されます。この値が実際の測定値または実際の距離と一致しているかどうかチェックしてください。次のようなケースがあります。

- 距離が一致 - 測定値が一致 → 次の機能 "キョリカニン"; 距離確認 (051) に進みます。
- 距離が一致 - 測定値が不一致 → "カチョウテイ"; 空 (0%) 調整 (005) をチェックします。
- 距離が不一致 - 測定値が不一致 → 次の機能 "キョリカニン"; 距離確認 (051) に進みます。

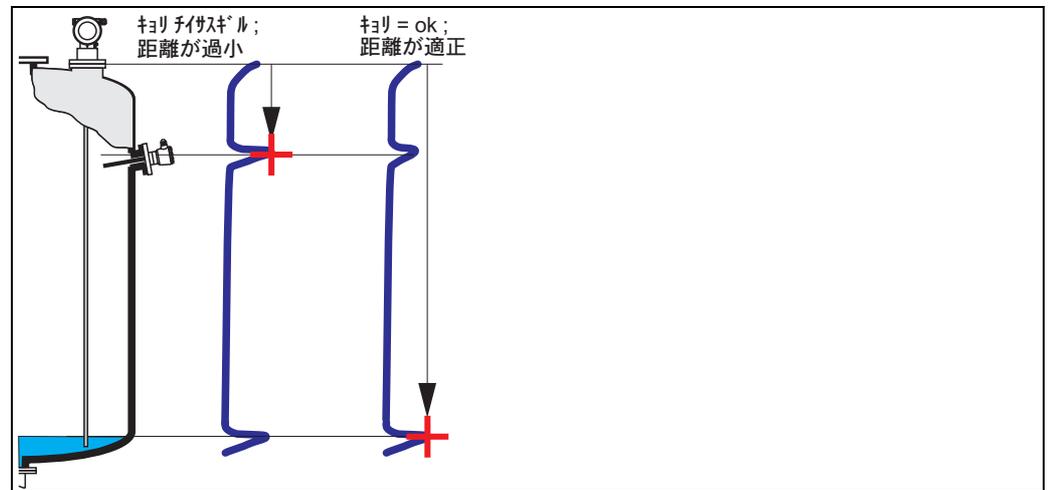
機能 “キョリカクニン” ; 距離確認 (051)



この機能により、ノイズ反射マッピングの開始の準備モードに入ります。これを開始するためには、測定距離を被測定物の液/粉面までの実際の距離と比較する必要があります。以下のオプションが選択できます。

選択 :

- “キョリ = ok” ; 距離が適正
- “キョリ チイサスキル” ; 距離が過小
- “キョリ オオキスキル” ; 距離が過大
- “キョリ フメイ” ; 距離が不明
- “マニュアル” ; マニュアル入力
- “プローブ フリー” ; プローブが測定物によりカバーされていない



L00-FMP4xxx-14-00-06-en-010

距離が適正

プローブの一部がカバーされている特を選びます。プローブがカバーされていないときには “マニュアル”; マニュアル入力、または “プローブ フリー”; プローブが測定物によりカバーされていないを選んでください。

- 現状測定されている反射ノイズのレベルまでのマッピングが行われます。
- 抑制すべき範囲が “マッピングレンジ”; マッピングレンジ (052) 機能で提示されます。

この場合でもマッピングの実行を推奨します。



注意!

測定物によりカバーされていないプローブでは、マッピングは “プローブ フリー” を選択することで確定されます。

距離が過小

- 現時点で反射ノイズが測られています。
- したがって現在測定されている反射を含めノイズ反射マッピングが行われます。
- 抑制すべき範囲が “マッピングレンジ”; マッピングレンジ (052) 機能で提示されます。

距離が過大

- このエラーはノイズ反射のマッピングでは修復されません。
- アプリケーションパラメーター (002)、(003)、(004) および “プローブ ガサ”; プローブ長 (031) をチェックします。

距離不明

実際の距離がわからなければマッピングは実行することができません。

マニュアル入力

範囲をマニュアルで入力してマッピングを行うこともできます。この入力は、"マッピングレンジ"; マッピングレンジ (052) 機能で行います。

**警告!**

マッピングのレンジは、実際のレベルから 0.3 m (12") 手前までとします。容器が空の場合は、プローブの全長にわたってマッピングすることができます。

プローブが測定物によりカバーされていない

プローブが露出した状態になっている場合は、プローブの全長にわたってマッピングします。

**警告!**

プローブが確実に露出されている場合にだけ、この機能でマッピングを開始してください。そうしなければ、機器が正確な測定を行えなくなります。

機能 "マッピングレンジ"; マッピングレンジ (052)

この機能では、マッピング開始の提示範囲が表示されます。基準点が常に測定の基準点となります (41 ページ以降を参照)。この数値はオペレータが編集することができます。マニュアル入力によるマッピングでは、デフォルト値は 0.3 m になります。

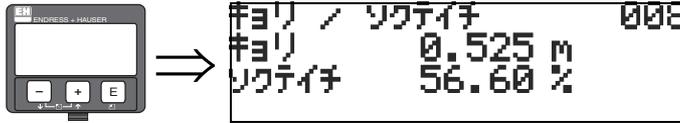
機能 "マッピング カイシ"; マッピング開始 (053)

この機能は "マッピングレンジ"; マッピングレンジ (052) で指定した距離まで干渉ノイズのノイズ反射マッピングを行うために使用します。

選択:

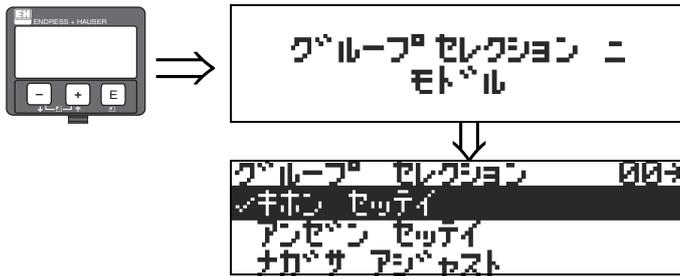
- "オフ"; オフ: ノイズ反射マッピングは行われません
- "オン"; オン: ノイズ反射マッピングが開始します

機能 "キヨリソクテイ"; 距離 / 測定値 (008)



基準点から測定対象物表面までの測定距離と、空 (0%) 調整を使用して計算された測定値が再度表示されます。この値が実際の測定値または実際の距離と一致しているかどうかチェックしてください。次のようなケースがあります。

- 距離が一致 - 測定値が一致 → 基本設定が完了しています。
- 距離が不一致 - 測定値が不一致 → さらに干渉ノイズのノイズ反射マッピングを行う必要があります。"キヨリカニン"; 距離確認 (051) に戻ります。
- 距離が一致 - 測定値が不一致 → "カチョウテイ"; 空 (0%) 調整 (005) を確認



3 秒後、以下のメッセージが表示されます。



注意!

基本設定の完了後、反射波形 ("ハンシャ ハナイ"; 反射波形 (0E) 機能グループ) による測定の評価を行うことを推奨します (→ 54 ページ参照を参照)。

6.5 不感知距離

機能 "ジヨウブワフカンチキョリ"; 上部不感知距離 (059)



長さ 8 m までのロッドプローブおよびローププローブでは、納入時に上部不感知距離が 0.2 m に工場設定されています。長さ 8 m 以上のローププローブでは、納入時に上部不感知距離がプローブ長の 2.5% に工場設定されています。DC > 7 の媒体では、プローブが壁面に対して平らに取り付けられている場合、または最大 50 mm のノズル上に取り付けられている場合に、ロッドプローブおよびローププローブの上部不感知距離を 0.1 m まで減少させることが可能です。

不感知距離および測定レンジ

プローブの下部終端では、不感知距離は存在しませんが、精度の低下する移行区域があります。「最大測定距離」(52 ページ)を参照してください。

FMP45	LN [m]		UB [m]
	最小	最大	最小
ロッドプローブ	0.3	4	0.2 ¹⁾
ローププローブ	1	35	0.2 ²⁾
コアキシャルプローブ	0.3	4	0

1) 各不感知距離はプリセット済み。DC > 7 の媒体の場合は、ロッドプローブおよびローププローブの上部不感知距離 UB を 0.1 m まで減少させることが可能です。上部不感知距離は手動で入力できます。



注意！
不感知距離以内では、信頼性のある測定は保証されません。

内筒管を用途とする場合

"タケイ"; タンク特性 (002) で "ガイトウカン / ナイトウカン" パラメータに選ぶと、上部不感知距離 (UB) は 100 mm に設定されます。

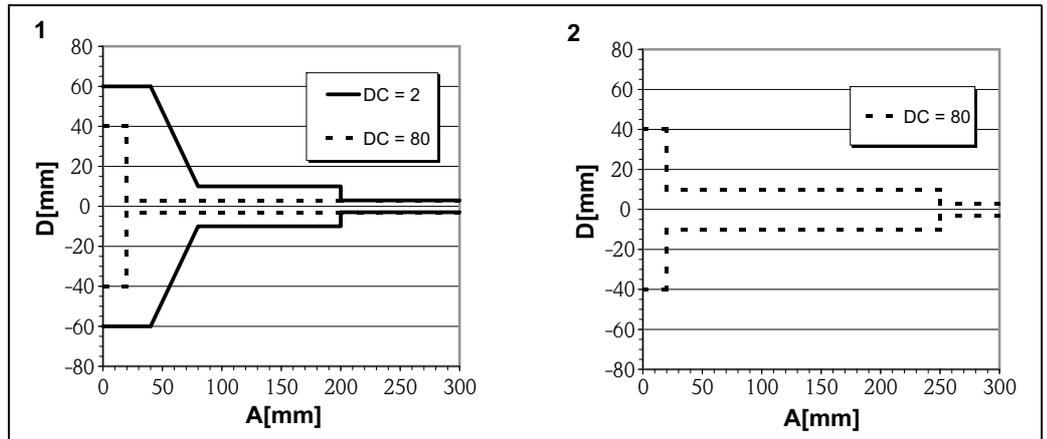
最大計測誤差

リファレンス条件下：
DIN EN 61298-2、スパンの割合

出力：	デジタル	アナログ
非リニアリティ、 非再現性、 ヒステリシスの合計	測定レンジ - 10 m まで：±3 mm - 10 m 超：±0.03 % PA コーティングのローププローブの場合 測定レンジ - 5 m まで：±5 mm - 5 m 超：±0.1 %	±0.06 %
オフセット / ゼロ	±4 mm	±0.03 %

リファレンス条件に満たない場合、取付状態によるオフセット / ゼロ点は最大 ±12 mm となります。この追加オフセット / ゼロ点は設定中に "ワセツト"; オフセット機能 (057) により補正されます。

プローブ終端付近での追加計測誤差：

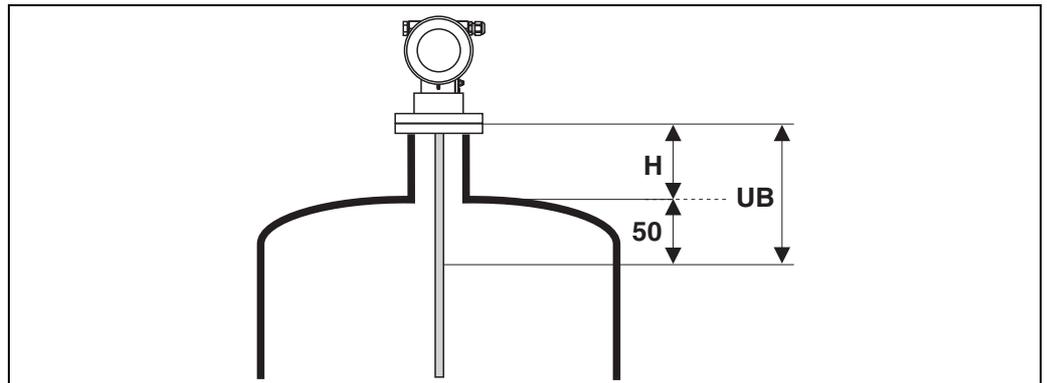


- 1 ロッドおよびコア軸シヤルプローブ
- 2 ローププローブ
- A プローブ終端からの距離
- D 非ニアリティ、非再現性、ヒステリシスの合計



注意！

高いノズルに機器を設置するときには "カチョウセツテイ"; 拡張設定 (05) 機能グループの "ジョウブファンクショリ"; 上部不感知距離 (059) で不感知距離を再入力してください。
 上部不感知距離 (UB) = ノズル高 (H) + 50 mm



L00-FMP4xxxx-14-00-06-xx-001

6.6 VU331 による反射波形

基本設定の完了後、反射波形 ("ハンシャハケイ"; 反射波形 (0E) 機能グループ) による測定の評価を行うことを推奨します。

6.6.1 機能 "プロット セッテイ"; プロット設定 (0E1)

この機能では、ディスプレイに表示する情報を選択することができます：

- 反射波形
- "サブストラクテッドシグナル"; サブストラクテッドシグナル
- マッピング



注意！

マッピングについては機能説明書 BA00245F に解説されています。

6.6.2 機能 "ハンシャハケイヨミミ"; 反射波形読み込み (0E2)

この機能では、反射波形の読み込みを、以下のどちらの方式で行うか決定します。

- "イッカイノヨミミ"; 1 回のみの読み込み または
- "ジュンカンヨミミ"; 循環的に読み込み

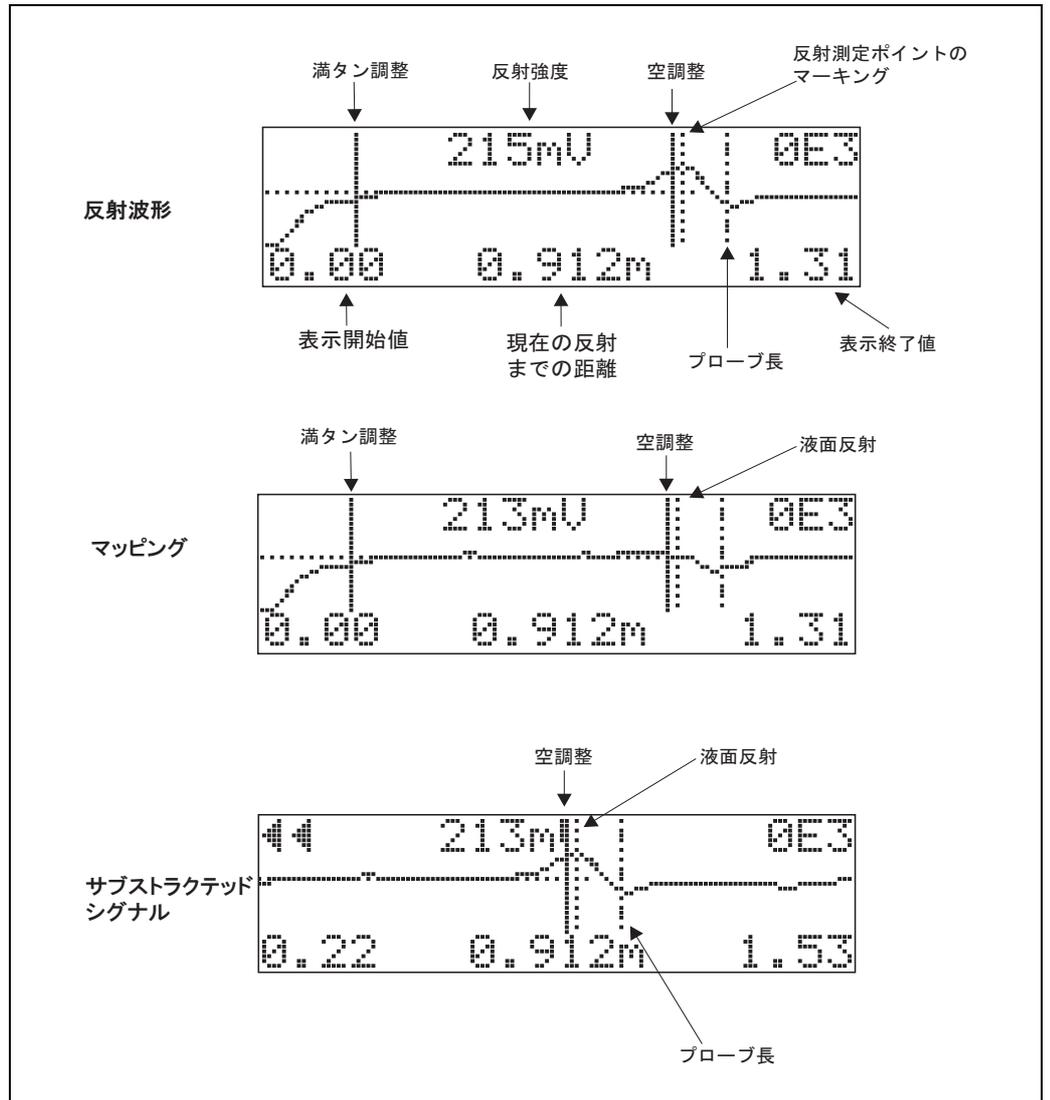


注意！

反射波形モードがディスプレイで有効になっている場合は、測定値の更新サイクル時間が遅くなります。測定点が最適化された後は反射波形表示モードを解除することを推奨します。

6.7 機能“ハンジャハケイヨウジ”；反射波形表示（0E3）

この機能の反射波形表示から以下の情報を取得できます。



L00-FMPxxxx-07-00-00-en-003

6.7.1 反射波形

レベルフレックスでは個別のパルスがすばやく連続して放射され、その反射がわずかに異なる遅延で走査されます。受信されたエネルギーは、飛行時間計測順に並べられます。この一連の動作のグラフィック表現を“反射波形”といいます。

6.7.2 マッピング（空の波形）と差分波形

干渉信号を抑制するため、レベルフレックスでは反射波形が直接評価されません。最初に反射波形からマッピング（空の波形）が差し引かれます。

算出された差分曲線で、レベル反射が検索されます。

差分波形＝反射波形－マッピング（空の波形）

マッピング（空の波形）はプローブと空のタンク、またはサイロを正しく表したものでなければいけません。計測される測定物からの信号のみが差分曲線に残るのが理想的です。

6.7.3 “マッピング” ; マッピング

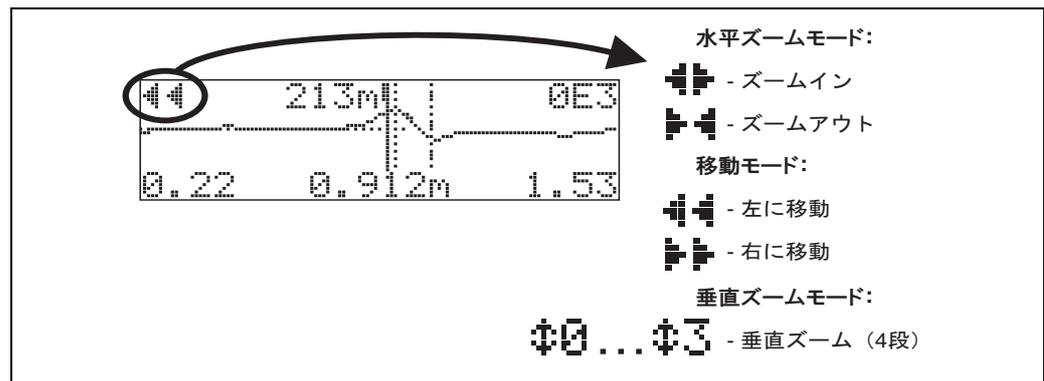
- ファクトリーマッピング
マッピング（空の波形）は、機器の納入時にすでに使用可能になっています。
- ユーザーマッピング
一部充填状態では、実際の総レベルまで最大 10 cm の距離のマッピング（マッピングレンジ＝総レベルからの実際の距離 -10 cm）、またはタンクが空の場合に LN より大きい値のマッピングが可能です。
- ダイナミックマッピング
工場やカスタム固有のマッピングと同様に静的ではありません。その代わりに、静的マッピングから直接取得され、継続的な操作中の変化するプローブ環境の特性に常に適応します。したがって、ダイナミックマッピングを明示的に記録する必要はありません。

6.7.4 反射しきい値

差分波形での最大ポイントは、指定されたしきい値を超えている場合、反射信号としてのみ受け入れられます。このしきい値は位置に依存し、使用されるプローブの理想的な反射波形から自動的に計算されます。該当するしきい値の計算は、拡張校正機能の“設置”ユーザーパラメータに依存します。

6.7.5 反射波形表示におけるナビゲーション

反射波形は、ナビゲーションを使用して、水平および垂直にスケーリングし、左または右へシフトさせることができます。ナビゲーションモードがアクティブなとき、画面上の左上隅に記号が示されます。



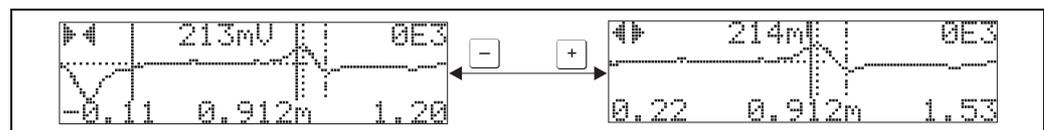
L00-FMPxxxx-07-00-00-en-004

水平ズームモード

または を押して、反射波形ナビゲーションに切り替えます。これで水平ズームモードに入ります。 または が表示されます。

以下のオプションがあります。

- をクリックすると、横縮尺が大きくなります。
- をクリックすると、横縮尺が小さくなります。



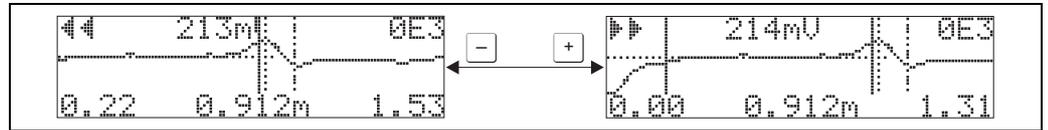
L00-FMPxxxx-07-00-00-xx-001

移動モード

次に、**[E]** を押して、移動モードに切り替えます。**▶▶** または **◀◀** が表示されます。

以下のオプションがあります。

- **[+]** をクリックすると、波形が右に移動します。
- **[-]** をクリックすると、波形が左に移動します。



L00-FMP45xxx-07-00-00-xx-002

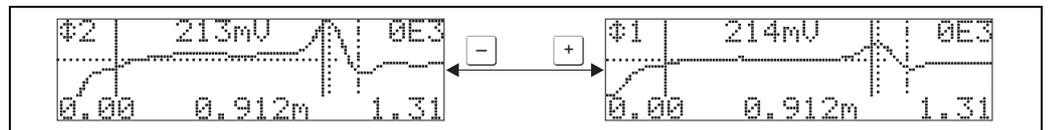
垂直ズームモード

再び **[E]** を押して、垂直ズームモードに切り換えます。**Φ1** が表示されます。

以下のオプションがあります。

- **[+]** をクリックすると、縦縮尺が大きくなります。
- **[-]** をクリックすると、縦縮尺が小さくなります。

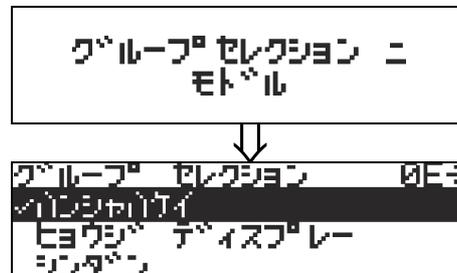
表示アイコンによって現在のズームファクタ (**Φ0** ~ **Φ3**) が示されます。



L00-FMP45xxx-07-00-00-xx-003

ナビゲーションの終了

- 反射波形ナビゲーションの別のモードへ移動する場合には、再び **[E]** を押します。
- **[+]** と **[-]** を押して、ナビゲーションを終了します。設定された縮尺および移動位置が保持されます。"ハジメハイミミ"; 反射波形読み込み (0E2) 機能を再起動させた場合のみ、レベルフレックスは再び標準表示を使用するようになります。



3 秒後、以下のメッセージが表示されます。

6.8 エンドレスハウザー社製操作プログラムでの基本設定

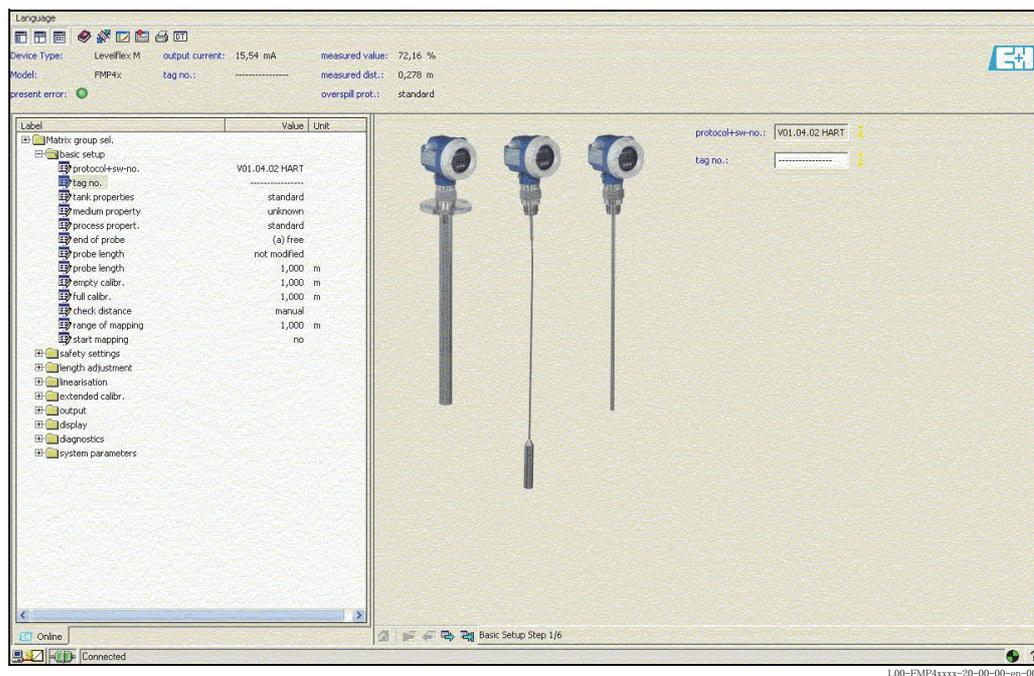
この操作プログラムでの基本設定を実行するには、次の手順に従います。

- 操作プログラムを起動して、接続を確立します。
- ナビゲーションウィンドウの "**林ノッティ**"; **基本設定** 機能グループ を選択します。

画面に以下の表示が現れます。

基本設定のステップ 1/6 :

- ステータスの状態
- 測定点の説明を入力します (TAG 番号)。

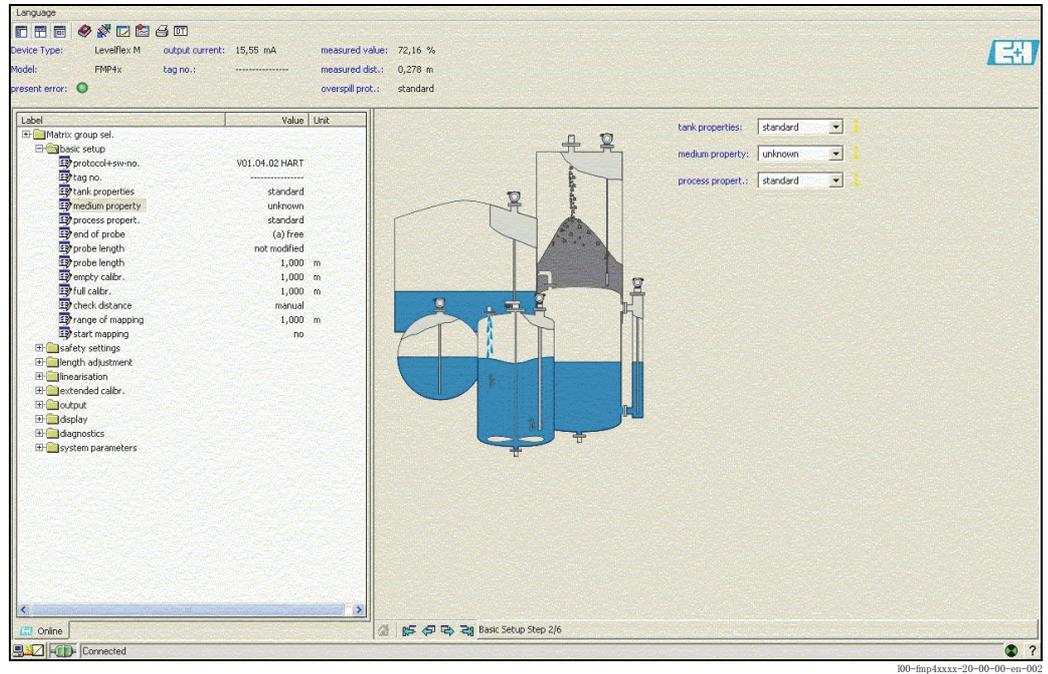


注意!

- 変更された各パラメータは **RETURN/ENTER** キーで確定しなければなりません。
- "**次へ進む**" ボタンを押すと、次の画面表示移動します。

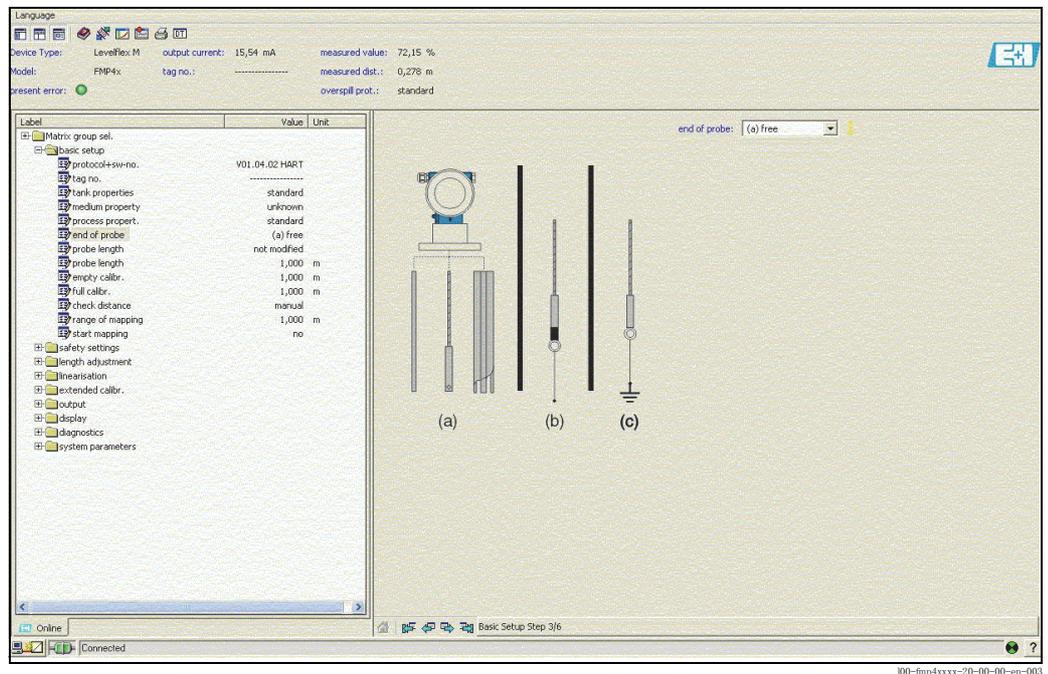
基本設定のステップ 2/6 :

- アプリケーションパラメーターを入力します (「VU331 による基本設定」を参照)。
 - タンク特性
 - 測定物特性
 - プロセス特性



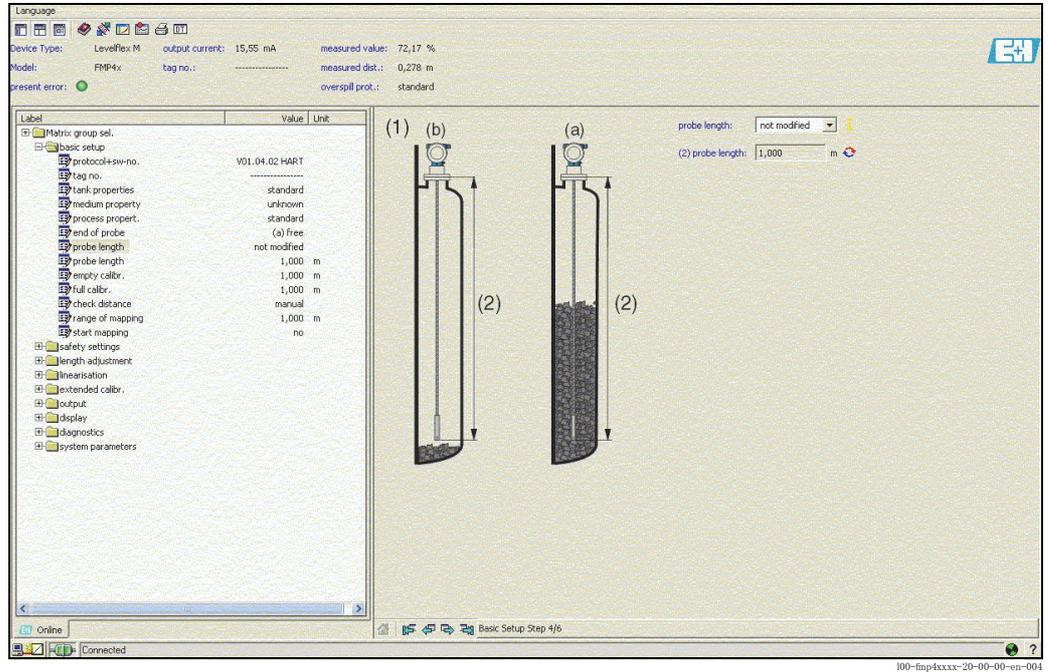
基本設定のステップ 3/6 :

- アプリケーションパラメーターを入力します (「VU331 による基本設定」を参照)。
 - プローブの終端



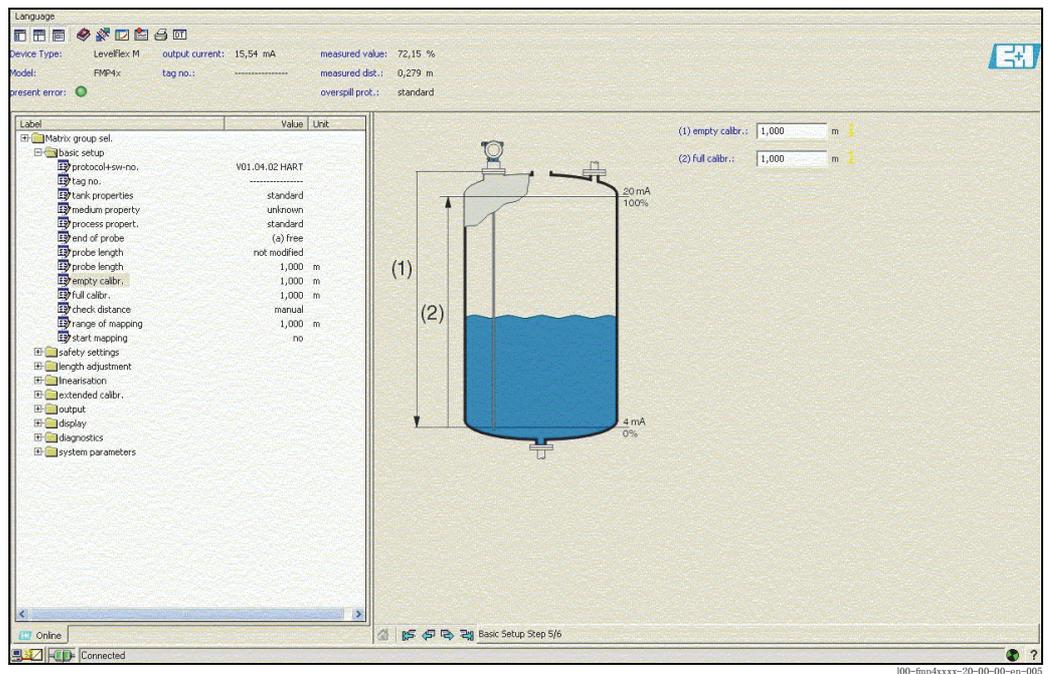
基本設定のステップ 4/6 :

- アプリケーションパラメーターを入力します (「VU331 による基本設定」を参照)。
 - プローブ長
 - プローブ
 - プローブ長
 - 長さを決定



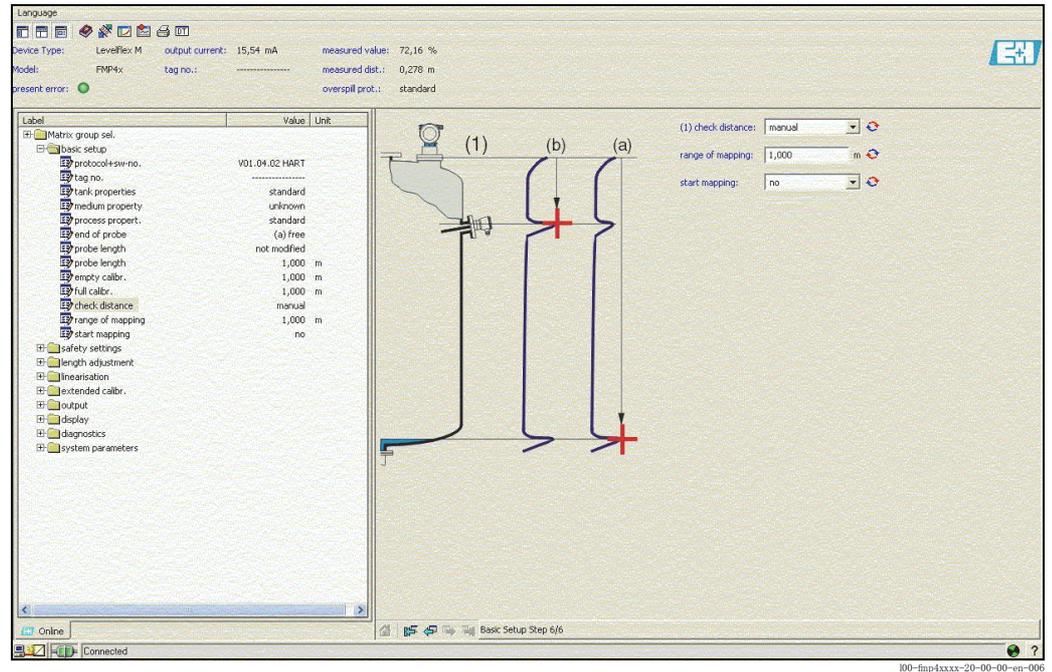
基本設定のステップ 5/6 :

- アプリケーションパラメーターを入力します (「VU331 による基本設定」を参照)。
 - 空 (0%) 調整
 - 満タン (スパン) 調整



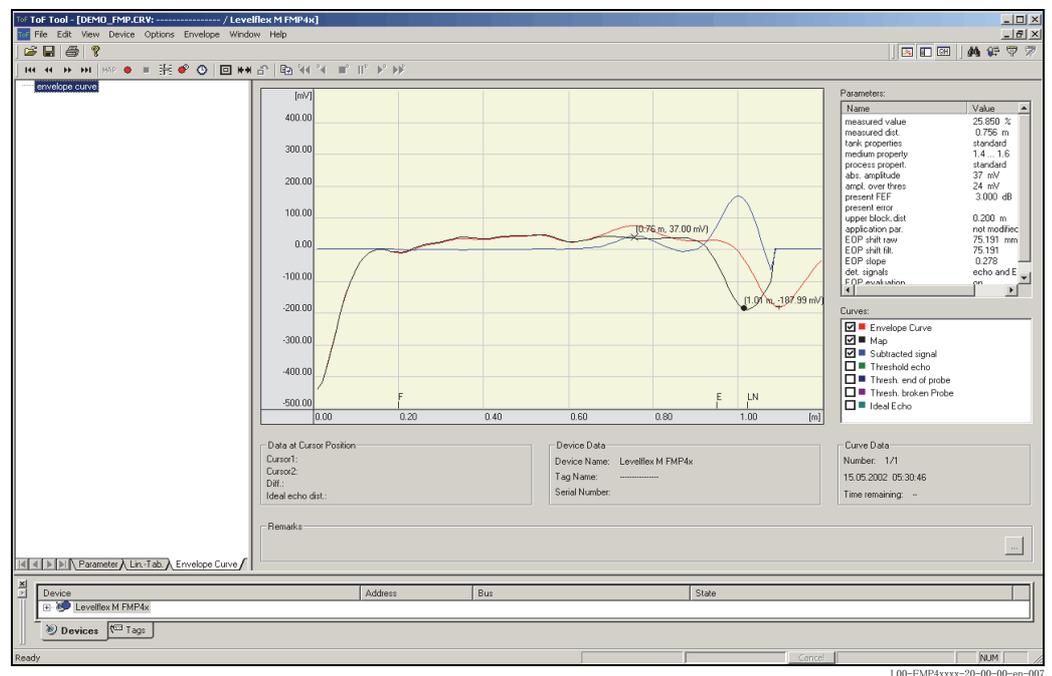
基本設定のステップ 6/6 :

- このステップにより不要反射マッピングが開始します。
- 測定距離と現在の測定値は常に見出しに表示されます。



6.8.1 反射波形を介しての信号解析

基本設定後に、反射波形を使用して測定を評価するようお勧めします。

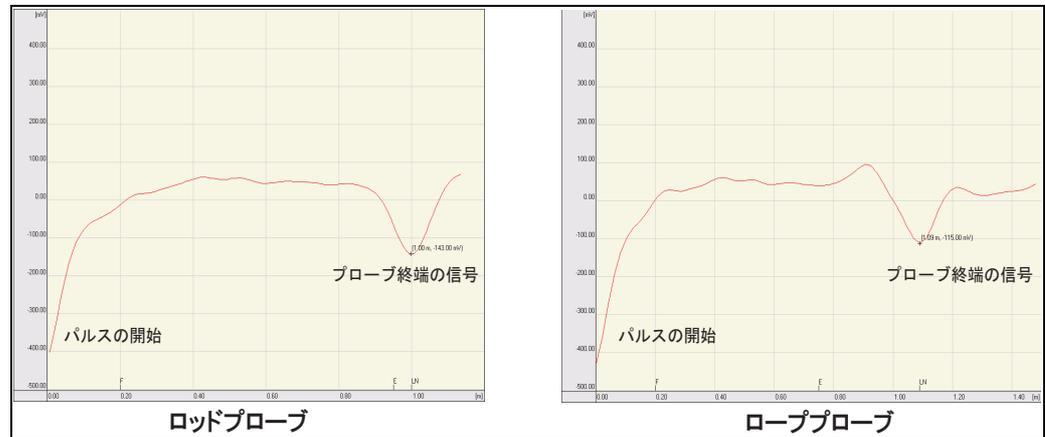


注意！
不要反射が強い場合には、レベルフレックスを別の箇所に設置することで測定を最適化できる場合があります。

反射波形による測定の評価

典型的な反射波形：

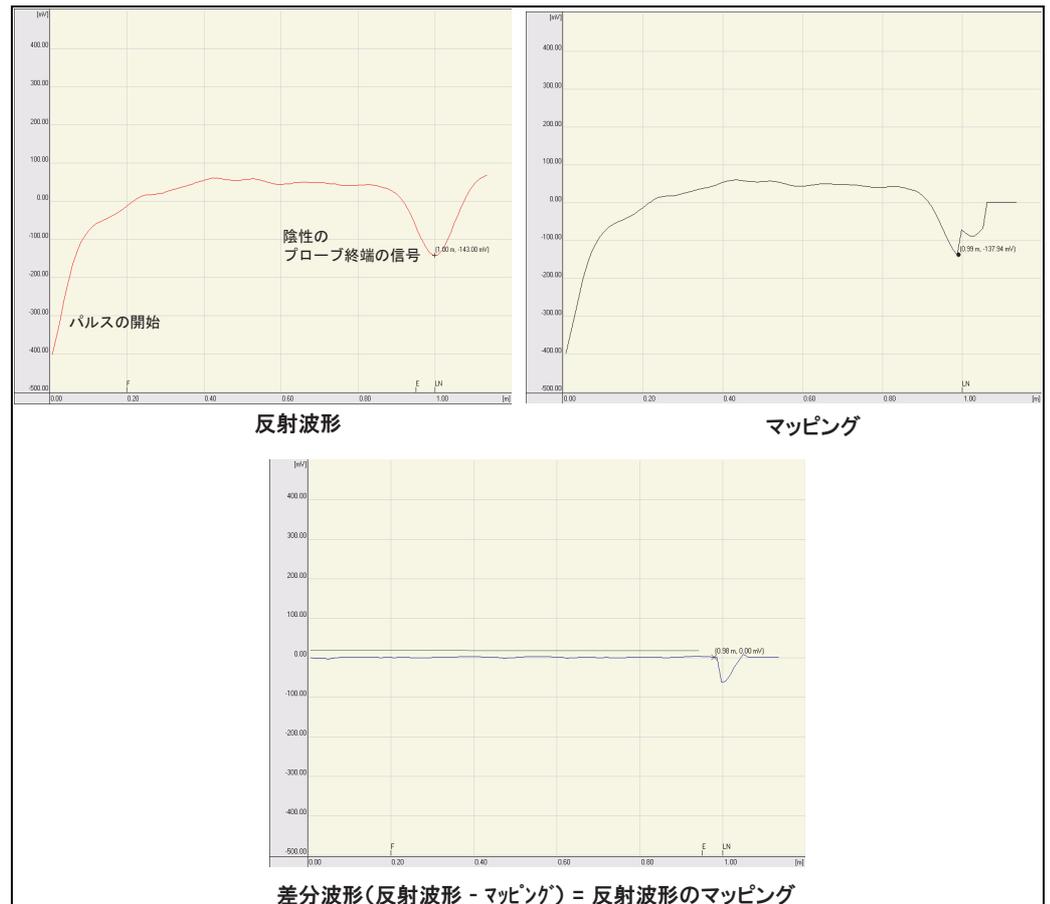
次の各例に、空のタンク内のローブプローブとロッドプローブの典型的な反射波形を記載します。プローブタイプすべてで、プローブ終端の信号は陰性を示しています。ローブプローブでは、終端のウェイトのおかげで、陽性の反射が先行して追加発生しています。ローブプローブ図を参照してください。



反射波形では、液面反射は陽性信号として検出されています。ノイズ反射は、陽性的場合（例えば、タンク内部からの反射）もあれば、陰性的場合（例えば、ノイズ）もあります。この評価には、反射波形、マップ、および差分波形を使用します。液面反射は、差分波形で求められます。

測定の評価：

- タンクが空の場合、マップは、反射波形のコースに対応している必要があります。ロッドプローブの場合はプローブ終端の最大約 5 cm 前であり、ローブプローブの場合はプローブ終端の最大約 25 cm 前になります。
- タンクが空の場合、およびプローブ固有の不感知距離で指定されたスパン内に配置されている場合、差分波形内の振幅は 0 mV のレベルになっている必要があります。タンクが空の場合、ノイズ反射を検出しないようにするには、信号が反射しきい値を超えないようにする必要があります。
- 部分充填タンクでは、マップが反射波形と異なるのは、液面反射位置だけです。このため、レベル信号は、差分波形で陽性信号として明確に検出されます。液面反射を検出するには、振幅が、反射しきい値を超える必要があります。



L00-FMP40xx-05-00-00-en-025

6.8.2 ユーザー規定 (操作)

ユーザ固有用途のパラメータ設定の詳細については、「機能説明書 - BA00245F」マニュアルを参照してください。このマニュアルは、同梱の CD-ROM に格納されています。

7 保守

レベルフレックス M 測定機器には、特別な保守は必要ありません。

7.1 外面の清掃

レベルフレックス M を清掃する場合は、ハウジング表面およびシールを侵すような洗浄液等の使用は避けてください。

7.2 修理

エンドレスハウザー社の修理コンセプトに従って、測定装置はモジュール式構造をし、ユーザーで修理を行うことができます（「スペアパーツ」、75 ページ）。サービスおよびスペアパーツに関する詳細については、弊社のサービス部門にお問い合わせください。

7.3 防爆認定された機器の修理

防爆認証機器の修理を行う場合は、以下の点にご留意ください：

- 防爆認証機器の修理は、訓練を受けた職員、またはエンドレスハウザー社サービスだけが行うことができます。
- 現行の規格、国家防爆規格、安全注意事項（XA）および認証を遵守する必要があります。
- 弊社純正部品以外は使用しないでください。
- スペアパーツを注文するときは、型式銘板上の機器名称を書き留めてください。部品は、同じ部品としか交換できません。
- 修理は取扱説明書に従って行います。修理が完了したら、機器に指定された通常のテストを行なってください。
- 弊社のサービス部門以外は、防爆認定された機器を異なるタイプの防爆認定機器に変えてはいけません。
- すべての修理作業と改造はすべて、文書に記録してください。

7.4 交換

レベルフレックス M 全体または電子モジュールを交換した後は、パラメータを、通信インターフェイスを経由して本機器にダウンロードして元に戻すことができます。

そのためには、FieldCare を使用してそれらのデータをあらかじめ PC にアップロードしておく必要があります。

新しく設定しなおすことなく、測定を継続することができます。

- リニアライゼーションを起動する必要がある可能性があります（同梱の CD-ROM に格納されている「機能説明書 - BA00245F」マニュアルを参照してください）。
- タンクマップを再度記録する必要がある場合があります（基本設定を参照）。

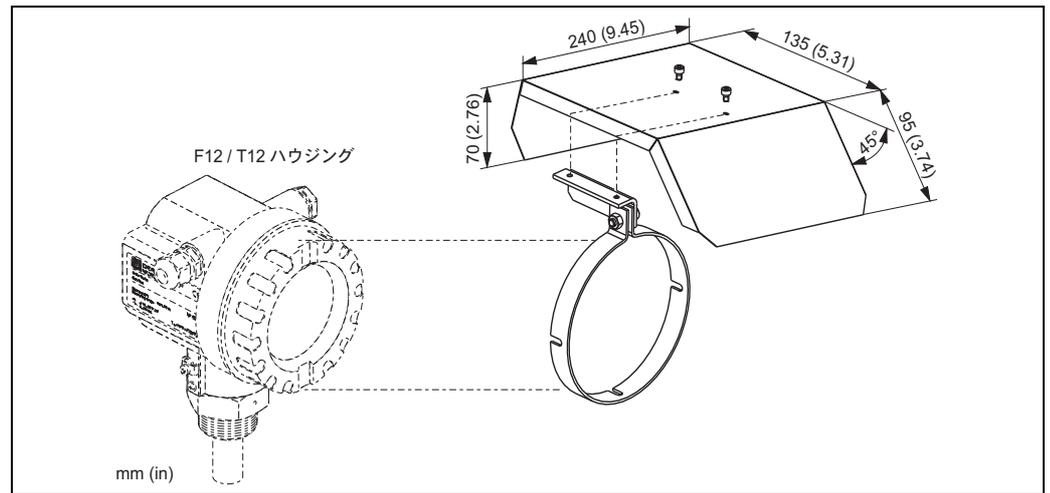
プローブまたは電子部品を交換した後で、新しい調整を実行しなければなりません。これについては、修理説明書に記載されています。

8 アクセサリ

レベルフレックス M には、さまざまなアクセサリを使用することができます。これらのアクセサリは、エンドレスハウザー社より個々に注文することができます。

8.1 日よけカバー

ステンレス製日よけカバーは屋外へ設置される場合に使用します（オーダーコード：543199-0001）。保護カバーおよびテンションクランプが同梱されています。



L00-FMR2xxxx-00-06-en-001

8.2 絶縁キット

キット	オーダー番号
4 mm ローププローブ用	52014249
6 mm ローププローブ用	52014250

ローププローブを固定する際に接地取付けできない場合は、ステンレス製 DIN 580 アイボルトと絶縁スリーブ PEEK GF-30 を使用するようお勧めします。
最大プロセス温度 150 °C

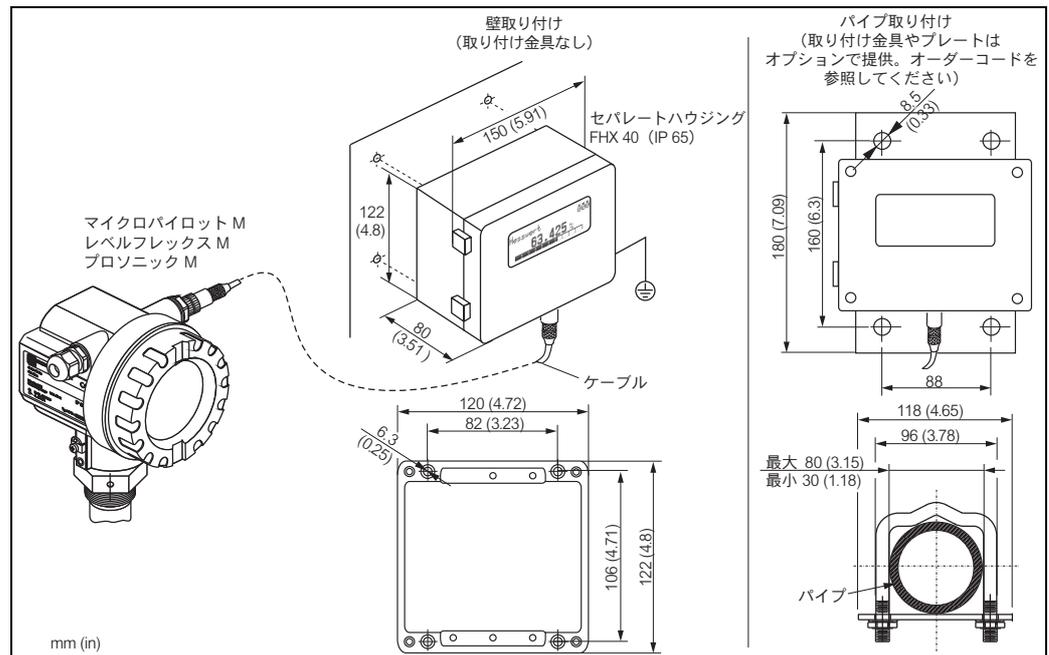
絶縁スリーブは帯電のリスクがあるので、防爆エリアで使用するのは不適切です。必ず固定具を接地する必要があります（→ 21 ページ参照）。

信頼性の高い、絶縁された取付

アイボルト
D = M8 DIN580では20mm (4mm ロープの場合)
D = M10 DIN580では25mm (6mm ロープの場合)

L00-FMP4xxxx-17-00-00-en-036

8.3 リモート表示と操作 FHX40



L00-FMxxxxx-00-00-06-de-005

技術仕様（ケーブルおよびハウジング）および製品構造

最大ケーブル長	20 m (65 ft)
温度	-30 °C ~ +70 °C (-22 °F ~ +158 °F)
保護等級	IP65/67 (ハウジング)、IP68 (ケーブル) IEC 60529 準拠
材質	ハウジング : AISI12; 水防栓 : ニッケルメッキ
寸法 [mm (in)]	122x150x80 (4.8x5.9x3.2) / HxWxD

010	認定	
	A	非防爆
	2	ATEX II 2G Ex ia IIC T6
	3	ATEX II 2D Ex ia IIIC T80°C
	G	IECEx Zone1 Ex ia IIC T6/T5
	S	FM IS Cl. I Div.1 Gr. A-D, zone 0
	U	CSA IS Cl. I Div.1 Gr. A-D, zone 0
	N	CSA 一般仕様
	K	TIIS Ex ia IIC T6
	C	NEPSI Ex ia IIC T6/T5
Y	特殊、TSP 番号 (要問合せ)	
020	ケーブル長	
	1	20m/ 65ft; HART の場合
	5	20m/ 65ft; PROFIBUS PA/FOUNDATION Fieldbus の場合
	9	特殊、TSP 番号 (要問合せ)
030	追加オプション	
	A	標準
	B	1" もしくは 2" パイプ用マウンティングブラケット
	Y	特殊、TSP 番号 (要問合せ)
FHX40 -		オーダーコード (全仕様完了)

リモート表示ディスプレイ FHX40 の接続には、個々の通信機器に適したケーブルを使用してください。

8.4 センタリングディスク

ロッド型のプローブを内筒管または外筒管で使用する場合は、プローブと壁が接触しないように設置する必要があります。センタリングディスクは、パイプの真中でロッドプローブを固定します。

8.4.1 センタリングディスク PEEK Ø 48 – 95 mm (1.89 – 3.74 インチ)

センタリングディスクは、直径が Ø 16 mm (0.63in) のロッド型プローブに適しており、呼び口径 40 A (1½”) ~ 100 A (4”) のパイプで使用できます。4脚センタリングディスクのマーキングにより、簡単・的確にセンタリングディスクをパイプ直径に合わせることができます。取扱説明書 BA00377F も参照してください。

- PEEK (静的散逸)
- 測定レンジ: -60 °C ~ +200 °C

オーダー番号 71069064

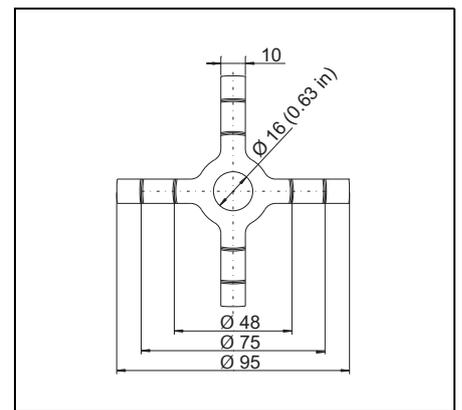
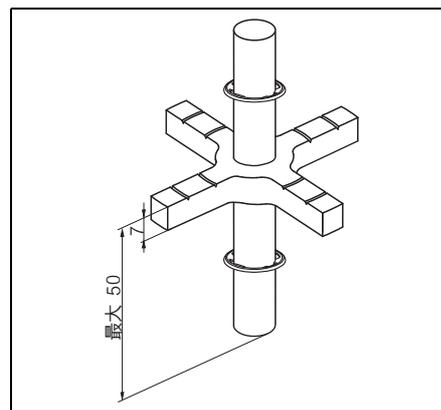


注意!

センタリングディスクを外筒管に挿入する場合は、外筒管の下側の排出口よりも下に取り付けてください。プローブ長を選択する際、取付位置を考慮してください。

通常、センタリングディスクはプローブ終端よりも 50 mm 以上高い位置に取り付けしないでください。

ロッドプローブの測定レンジ内には、PEEK センタリングディスクを挿入しないでください。

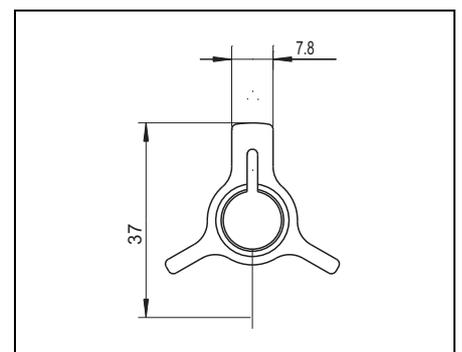
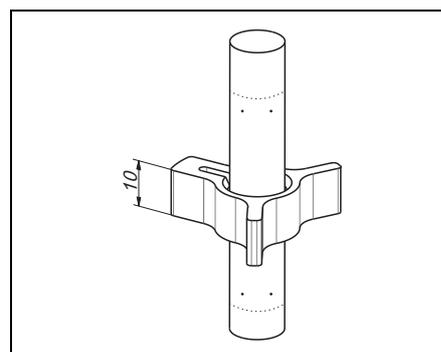


8.4.2 センタリングディスク PFA Ø1.46 インチ

センタリングディスクは、直径が 16 mm (0.63 インチ) のロッド型プローブまたはコートされたプローブに適しており、呼び口径 40 A (1½”) ~ 50 A (2”) のパイプで使用できます。取扱説明書 BA00378F も参照してください。

- 測定レンジ: -200 °C ~ +150 °C

オーダー番号 71069065



8.5 コミュボックス FXA195 HART

USB インターフェイスによる FieldCare との本質安全通信用。
詳細は、TI00404F をご覧ください。

8.6 コミュボックス FXA291

コミュボックス FXA291 は、CDI インターフェース (= エンドレスハウザー社製共通データインターフェース) により、機器をパソコンまたはノート PC の USB インターフェースに接続します。詳細は、TI00405C をご覧ください。



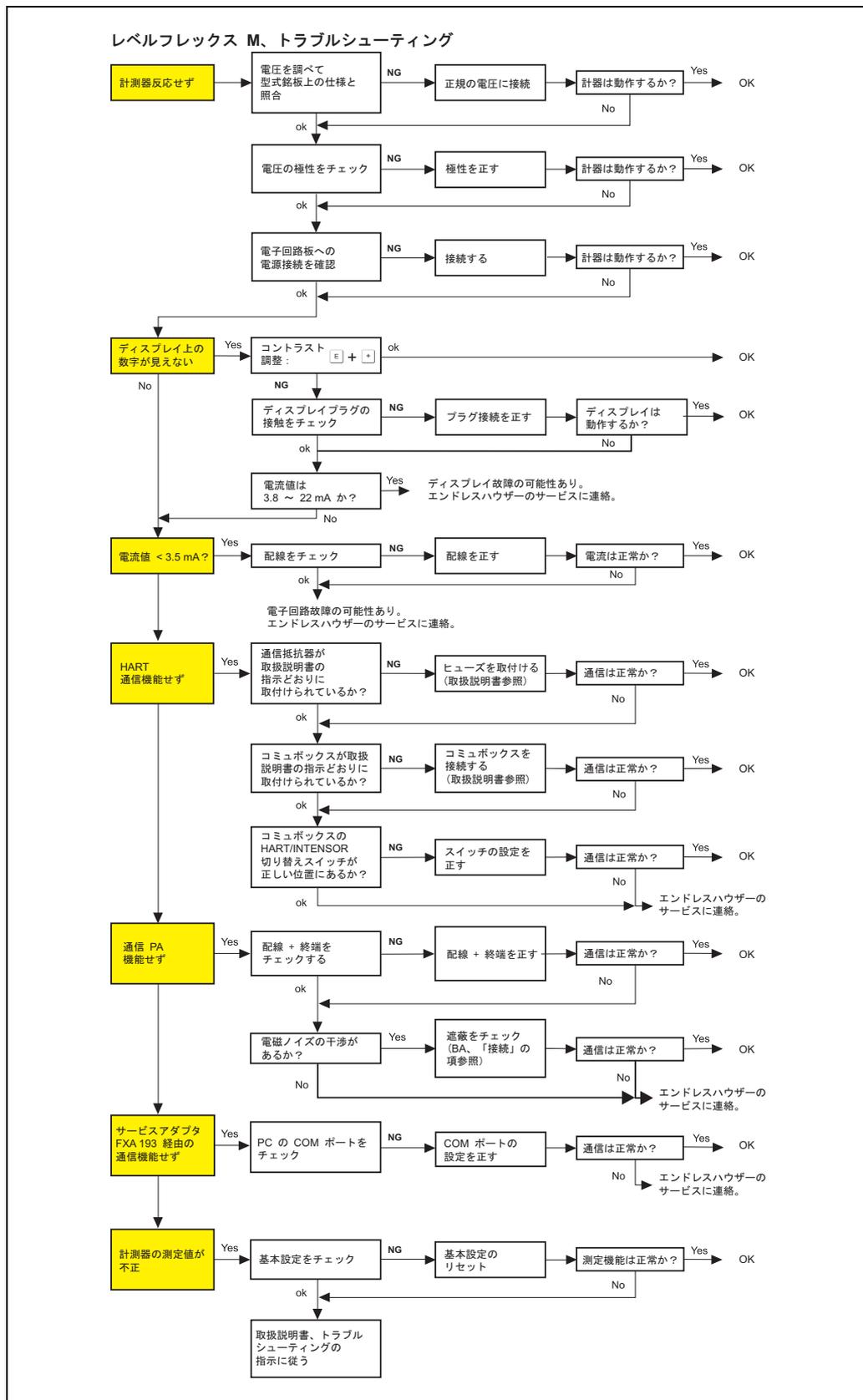
注意!
次の機器では、アクセサリとして "ToF アダプタ FXA291" が必要です。

8.7 ToF アダプタ FXA291

ToF アダプタ FXA291 は、パソコンまたはノート PC の USB インターフェースを介してコミュボックス FXA291 を機器に接続します。詳細は、KA00271F/00/A2 をご覧ください。

9 トラブルシューティング

9.1 トラブルシューティングの説明



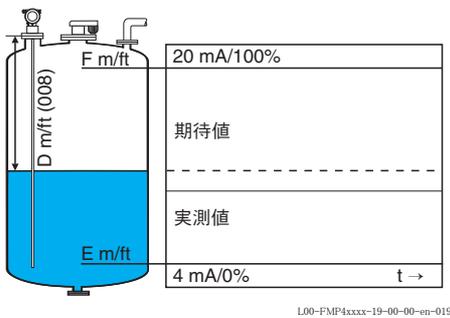
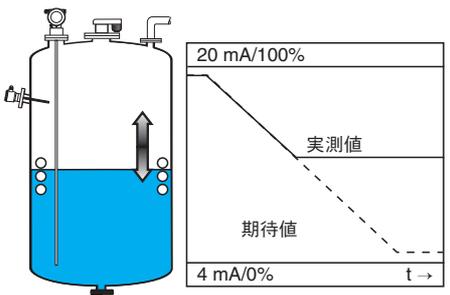
L00-FMP4xxxx-19-00-00-en-100

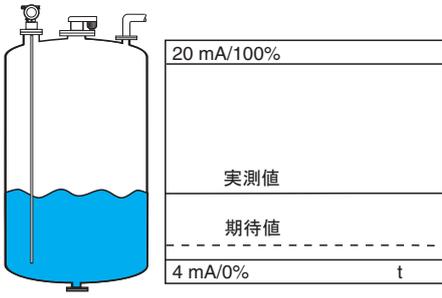
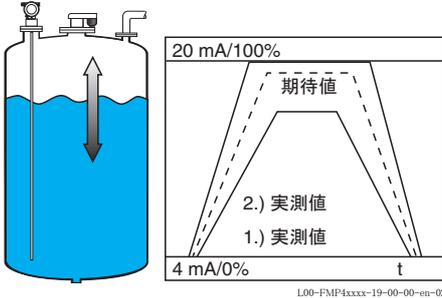
9.2 システムエラーメッセージ

コード	説明掲載ページ	予想される原因	対策
A102	checksum error チェックサム・エラー。 general reset & new calibr. required 通常のリセットおよび新たな調整が必要。	データを保存される前に電源がオフにされた。 電磁干渉の問題。 EEPROM の故障。	リセットする。 電磁干渉の問題を取り除く。 リセット後もアラームが提示され続ける場合は電子部品を交換する。
W103	initialising - please wait 初期設定中 - 待機してください。	EEPROM への保存が終了していない。	数秒間待機する。警告が提示され続ける場合は電子部品を交換する。
A106	downloading please wait : ダウンロード中 - 待機してください。	データのダウンロードを処理中。	警告が消えるまで待機する。
A110	checksum error : チェックサムエラー general reset & new calibr.required : 通常のリセットおよび新たな調整が必要。	データを保存される前に電源がオフにされた。 電磁干渉の問題。 EEPROM の故障。	リセットする。 電磁干渉の問題を取り除く。 リセット後もアラームが提示され続ける場合は電子部品を交換する。
A111	electronics defect : 電子部品が故障。	RAM の不良。	リセットする。 リセット後もアラームが提示され続ける場合は電子部品を交換する。
A113	electronics defect : 電子部品が故障。	ROM の不良。	リセットする。 リセット後もアラームが提示され続ける場合は電子部品を交換する。
A114	electronics defect : 電子部品が故障。	EEPROM の故障。	リセットする。 リセット後もアラームが提示され続ける場合は電子部品を交換する。
A115	electronics defect : 電子部品が故障。	一般的なハードウェアの問題。	リセットする。 リセット後もアラームが提示され続ける場合は電子部品を交換する。
A116	download error : ダウンロード・エラー。 repeat download : ダウンロードをやり直す。	保存されたデータのチェックサムが間違っている。	データのダウンロードを再開する。
A121	electronics defect : 電子部品が故障。	工場出荷時の校正値が存在していない。 EEPROM の故障。	サービスに問い合わせる。
W153	initialising - please wait 初期設定中 - 待機してください。	電子部品の初期設定。	数秒間待機する。警告が提示され続ける場合は、機器の電源をオフにしてから再びオンにする。
A160	checksum error : チェックサムエラー general reset & new calibr.required : 通常のリセットおよび新たな調整が必要。	データを保存される前に電源がオフにされた。 電磁干渉の問題。 EEPROM の故障。	リセットする。 電磁干渉の問題を取り除く。 リセット後もアラームが提示され続ける場合は電子部品を交換する。
A164	electronics defect : 電子部品が故障。	ハードウェアの問題。	リセットする。 リセット後もアラームが提示され続ける場合は電子部品を交換する。
A171	electronics defect : 電子部品が故障。	ハードウェアの問題。	リセットする。 リセット後もアラームが提示され続ける場合は電子部品を交換する。
A221	Probe pulse deviation from average values : プローブのパルスが平均値から外れている。	HF モジュールと電子部品間の HF モジュール またはケーブルの故障。	HF モジュールの接点をチェックする。 エラーが解消されない場合は、HF モジュールを交換する。
A241	Broken probe : プローブが折れている。	プローブが折れているか、プローブ長の値が小さすぎる。	033 でプローブ長をチェックする。 プローブ自体をチェックする。 プローブが折れている場合は、プローブを交換するか、非接触系に変更する。
		事前にマッピングを行わずに、プローブ故障の監視が作動した。	プローブ故障の監視機能を解除する、マッピングを行い再度監視機能を始動させる。

コード	説明掲載ページ	予想される原因	対策
A251	Feedthrough : フィードスルー	プロセスフィードスルー内の接点がなく なっている。	プロセスフィードスルーを交換す る。
A261	HF cable defective : HF ケーブルの異常。	HF ケーブルに異常があるか、HF コネクタ が外れている。	HF コネクタをチェックする。異常 がある場合はケーブルを交換する。
W275	Offset too high : オフセットが高すぎる。	電子部品の温度が高すぎる、または HF モ ジュールの故障。	温度をチェックする。故障してい る場合は HF モジュールを交換する。
W512	recording of mapping please wait : マッピングの記録中。 待機してください。	マッピングを実行中。	アラームが消えるまで数秒間待機す る。
W601	linearisation ch1 curve not monotone : リニアライゼーションカー ブ (ch1) が単調ではない。	リニアライゼーションが単調増加してい ない。	リニアライゼーションテーブルを修 正する。
W611	less than 2 linearisation points for channel 1 : チャンネル 1 のリニアライ ゼーションポイントが 2 つ 未満しかない。	入力されたリニアライゼーションポイント の数が 2 つ未満しかない。	リニアライゼーションテーブルを修 正する。
W621	simulation ch. 1 on : シミュレーション (ch. 1) がオンになっている。	シミュレーションモードが有効になってい る。	シミュレーションをオフにする。
E641	no usable echo channel 1 : 使用可能な反射がない (チャンネル 1)。 check calibr. : 調整をチェッ クしてください。	アンテナの付着物の付着状況が原因で反射 が失われた。	設備をチェックする。 アンテナをクリーニングする (機能 説明書を参照)。
W650	Signal/noise ratio too low or no echo : S/N 比が低すぎるか、反射 がない。	信号のノイズが高すぎる。	電磁妨害をなくす。
E651	level in safety distance - risk of overspill: レベルが安全距離内に入っ ている - 溢れ出しの危険あ り。	レベルが安全距離内に入っている。	アラームはレベルが安全距離外に下 がりしだい消える。
A671	linearisation ch1 not complete, not usable : リニアライゼーション (ch1) が未完了、使用不可。	リニアライゼーションテーブルが編集モー ドになっている。	リニアライズテーブルを使用可能に する。
W681	current ch1 out of range : 電流値 (ch1) が有効範囲内 に入っていない。	電流値が有効範囲内 (3.8 mA ~ 20.5 mA) に入っていない。	調整およびリニアライゼーションを チェックする。

9.3 アプリケーションエラー

エラー	出力	予想される原因	対策
警告またはアラームが発生した。	設定によって異なる。	エラーメッセージの表を参照 (→ 71 ページ参照)	1. エラーメッセージの表を参照 (→ 71 ページ参照)
"ソケ仔"; 測定値 (00) が不正。	 <p style="text-align: right; font-size: small;">L00-FMP4xxxx-19-00-00-en-019</p>	<p>"ソケイキヨリ"; 測定距離 (008) は正しいか?</p> <p>"ハイ"; はい →</p> <p>"イエ"; いいえ ↓</p> <p>ノイズ反射が評価された可能性あり。</p> <p>"ハイ"; はい →</p>	<p>1. "カラチャウセイ"; 空 (0%) 調整 (005) および "マタンチャウセイ"; 満タン (スパン) 調整 (006) をチェックする。</p> <p>2. "リアライゼーション"; リニアライゼーションをチェックする。 → "レベル / アレージ"; レベル / アレージ (040) → "max. スケール"; 最大スケール (046) → "ヨウキチャウケイ"; 容器直径 (047) → テーブルをチェック</p> <p>1. タンクマッピングを実行する → "キホンセッテイ"; 基本設定</p>
充填、排出時にもかかわらず測定値が不変。	 <p style="text-align: right; font-size: small;">L00-FMR2xxxx-19-00-00-en-014</p>	<p>機器、ノズルまたはアンテナ上の伸長パイプ (アンテナ伸長パーツ) からのノイズ反射</p>	<p>1. タンクマッピングを実行する → "キホンセッテイ"; 基本設定</p> <p>2. 必要に応じ、プローブのクリーニングを行う。</p> <p>3. 必要に応じ、設置位置を変更する。</p>
電源をオンにした後の E 641 (反射無し (失信号))	<p>反射が無い (失信号) ことによって機器が "ホールド"; ホールドに設定されている場合、"シツク"; 出力はどのような値 / 電流値にでも設定されます。</p>	<p>初期設定段階でのノイズレベルが高すぎる。</p>	<p>もう一度 "カラチャウセイ"; 空 (0%) 調整 (005) をやり直す。</p> <p>警告! 確認する前に、<input type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> を押して、編集モードに切り換えてください。</p>

エラー	出力	予想される原因	対策
<p>タンクが空の場合 機器がレベルを表示</p>	 <p style="text-align: right; font-size: small;">L00-FMP4xxxx-19-00-00-en-020</p>	<p>プローブ長が不正</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. タンクが空の場合、自動プローブ長検出を実行する。 2. タンクが空の場合（プローブカバーなし）プローブ全体にわたってマッピングを実行する。
<p>測定値が不正（測定レンジ全体で勾配エラー）</p>	 <p style="text-align: right; font-size: small;">L00-FMP4xxxx-19-00-00-en-021</p>	<p>タンク特性が不正</p> <p>測定物特性が不正</p>	<p>LN < 4 m および "アルミニウムタンク"; アルミニウムタンクのタンク特性を選択</p> <ul style="list-style-type: none"> → 調整不可能。 → 選択 → 標準を選択 → しきい値が高すぎる <p>下位の測定物特性を選択する</p>

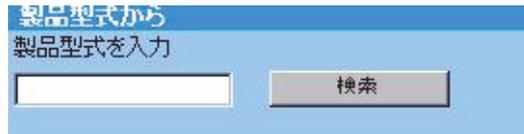
9.4 スペアパーツ

お使いの機器のスペアパーツについてはウェブサイト (www.endress.com) でお知らせしています。スペアパーツに関する情報には以下の手順に従ってアクセスしてください。

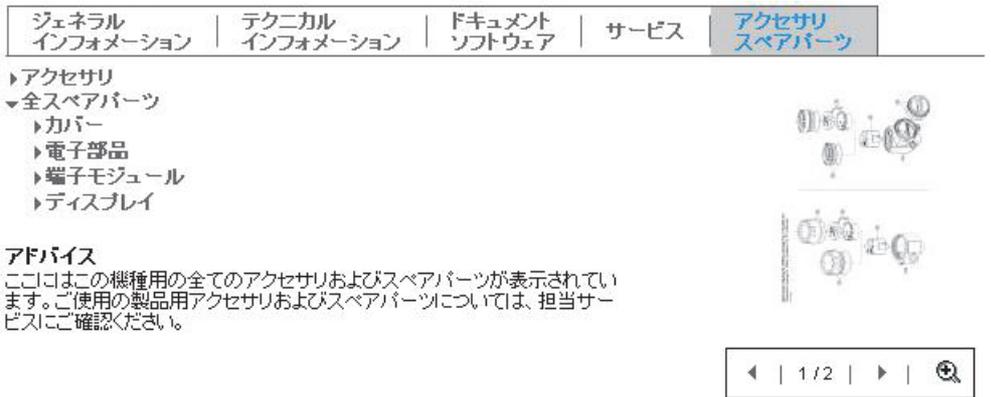
1. "www.endress.com" にアクセスし、国を選択します。
2. "機器" をクリックします。



3. "製品名" の入力欄にお使いの製品名を入力します。



4. 機器を選択します。
5. "アクセサリ / スペアパーツ" のタブを選択します。



6. 必要なスペアパーツを選択します (画面右側には概略図が表示)。

スペアパーツを注文するときは、型式銘板上の機器名称を提示してください。スペアパーツには必要に応じて交換のための説明書が付属します。

9.5 返却

修理または校正のために伝送器をエンドレスハウザー社に返却する前には、以下の処置を行う必要があります：

- 付着している残留物はすべて取り除いてください。特に、液体が残っている可能性のあるガスケットの溝および割れ目には注意してください。これは、腐食性のある液体、有毒な液体、発ガン性のある液体および放射性のある液体などの健康に害のある液体の場合に特に重要です。
- 必要事項を適切に記入し、「洗浄証明書」（取扱説明書の巻頭の「洗浄証明書」のコピー）を必ず同封してください。
これで、エンドレスハウザー社では返品された機器を輸送、検査、修理するだけで済みます。
- 必要に応じて、例えば EN 91/155/EEC1 に準拠した安全データシートなど、特別な説明書を同梱してください。

さらに以下について明記します：

- 用途の正確な説明
- 製品の科学的、物理的特性
- 発生したエラーの簡単な説明（可能であればエラーコードも記載）
- 必要に応じて、エラーコード

9.6 廃棄

処分の際は、材質別にコンポーネントを個別に分けてください。

9.7 ソフトウェアの履歴

日付	ソフトウェアのバージョン/日付	ソフトウェアの変更点	説明書	機能説明書の記述
08.2003	01.02.02	オリジナルのソフトウェア 操作手段： - ToF Tool - Commuwin II（バージョン 2.08-1 アップデート C 以降） - HART-コミュニケーター DXR375（Rev. 1、DD 1）	BA279F/00/en/03.04 52021039 BA279F/00/en/04.04 52021039	-----
07.2004	01.02.04	● “マッピング開始”機能の改善	BA279F/00/en/06.04 52021039 BA279F/00/en/01.06 52021039	BA245F/00/en/06.04 52011936 BA245F/00/en/01.06 52011936
01.2005	01.02.06	“反射の消失”機能の改善	-----	-----
03.2006	01.04.00	● 「検出ウィンドウ」機能	BA279F/00/en/05.06 52021039 BA279F/00/en/11.06 52021039 BA279F/00/en/12.06 52021039	BA245F/00/en/06.06 52011936 BA245F/00/DE/07.07 71040943
04.2007	01.04.02	外筒管が完全に満量になっている反射の検出の改善	BA279F 71074807 BA00279F 71120320 BA00279F 71134031 BA00279F 71154965	

9.8 エンドレスハウザー社へのお問い合わせ

問い合わせアドレスについては、ホームページ “www.endress.com/worldwide” を参照してください。ご質問については、エンドレスハウザー社の代理店に遠慮なくお問い合わせください。

10 技術データ

10.1 追加の技術データ

10.1.1 入力

計測値 計測値は測定相違点 および測定対象物表面との距離になります (→ 12 ページ参照の図を参照)。空の距離「E」を入力したと仮定して、レベルが計算されます。あるいは、レベルはリニアライゼーション (32 点) によって他の変数 (体積、質量) に変換されます。

10.1.2 出力

出力信号 HART プロトコルで 4 ~ 20 mA (反転可能)

アラーム信号 エラー情報は、以下のインターフェースを介して得ることができます。

- 機器本体ディスプレイ：
 - エラーシンボル (→ 33 ページ参照)
 - シンプルなテキスト表示
- 電流値、エラー時の信号を選択できます。(例えば NAMUR 推奨基準 NE43 に従う)
- デジタルインターフェース

リニアライゼーション レベルフレックス M のリニアライズ機能を使用すれば、測定値の単位を希望する単位 (長さまたは体積、質量またはパーセンテージ値) に変換できます。枕型タンク内の体積計算については、事前にプログラムされたリニアライズテーブルが用意されています。手動形式または半自動形式で、最大 32 個の値ペアから他のテーブルに入力できます。リニアライズテーブルの作成には、特に FieldCare を使用すると便利です。

10.1.3 性能特性

リファレンス作動条件

- 温度 = +20 °C (68 °F) ± 5 °C (9 °F)
- 圧力 = 101.3 kPa (絶対圧) (14.7 psia) ± 2 kPa (0.3 psi)
- 湿度 = 65 % ± 20 %
- 反射ファクタ ≥ 0.8 (コアキシャルプローブの場合は水の表面、ロッドプローブおよびローブプローブの場合は、最低 1 m 径の金属板)
- ロッドプローブおよびローブプローブのフランジは ≥ 30 cm 径
- 障害物までの距離 ≥ 1 m

最大計測誤差 機能グループ "キホンセッテイ"; 基本設定 (00)、43 ページを参照。

分解能

- デジタル : 1 mm
- アナログ : 測定レンジに対し 0.03%

応答時間 応答時間は、構成によって違ってきます。

最短時間：

- 2 線式タイプ : 1 秒
- 4 線式タイプ : 0.7 秒

周囲温度の影響

測定は、EN 61298-3 に従って実施されています：

- デジタル出力：
 - 温度レンジ全域 (-40 °C ~ +80 °C) に渡って平均 T_K : 0.6 mm/10 K、最大 ±3.5 mm

2線式

- 電流出力 (スパン 16mA に対するの追加誤差)
 - ゼロ点 (4 mA)
 - 温度レンジ全域 (-40 °C ~ +80 °C) に渡って平均 T_K : 0.032 %/10 K、最大 0.35 %
 - スパン (20 mA)
 - 温度レンジ全域 (-40 °C ~ +80 °C) に渡って平均 T_K : 0.05 %/10 K、最大 0.5 %

4線式

- 電流出力 (スパン 16mA に対するの追加誤差)
 - ゼロ点 (4 mA)
 - 温度レンジ全域 (-40 °C ~ +80 °C) に渡って平均 T_K : 0.02 %/10 K、最大 0.29 %
 - スパン (20 mA)
 - 温度レンジ全域 (-40 °C ~ +80 °C) に渡って平均 T_K : 0.06 %/10 K、最大 0.89%

気相の影響

高圧環境の場合、液面より上部にあるガスや蒸気の中で、計測信号 (マイクロ波) の伝搬が遅くなります。伝搬速度の落ち方はガス / 蒸気の種類および温度によって異なります。このため、計測基準点 (フランジ) から測定液面までの距離が増すほど計測誤差も大きくなります。次の表は、こうした測定誤差を一般的なガス・蒸気について示したものです (距離が正の値になっている場合、レベル計測結果が実際よりも大きく出てくることを意味します)。

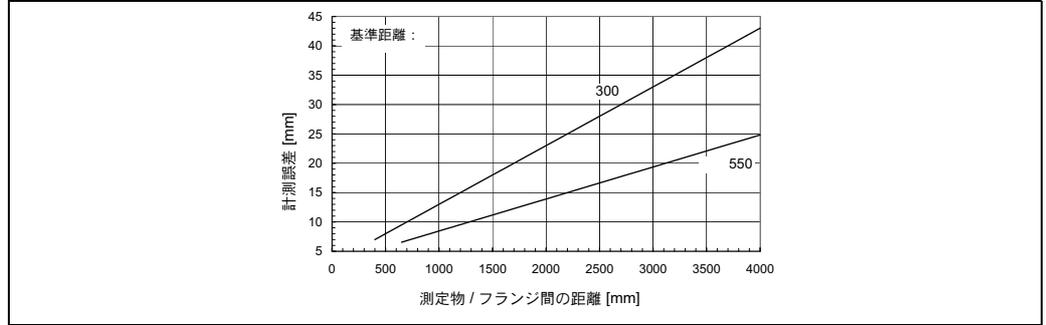
気相	温度		圧力					
	°C	°F	0.1 MPa (14.5 psi)	1 MPa (145 psi)	5 MPa (725 psi)	10 MPa (1450 psi)	20 MPa (2900 psi)	40 MPa (5801 psi)
空気	20	68	0.00 %	0.22 %	1.2 %	2.4 %	4.9 %	9.5 %
	200	392	-0.01 %	0.13 %	0.74 %	1.5 %	3.0 %	6.0 %
	400	752	-0.02 %	0.08 %	0.52 %	1.1 %	2.1 %	4.2 %
水素	20	68	-0.01 %	0.10 %	0.61 %	1.2 %	2.5 %	4.9 %
	200	392	-0.02 %	0.05 %	0.37 %	0.76 %	1.6 %	3.1 %
	400	752	-0.02 %	0.03 %	0.25 %	0.53 %	1.1 %	2.2 %

気相	温度		圧力				
	°C	°F	0.1 MPa (14.5 psi)	1 MPa (145 psi)	5 MPa (725 psi)	10 MPa (1450 psi)	20 MPa (2900 psi)
飽和水蒸気	100	212	0.20 %	-	-	-	-
	180	356	-	2.10 %	-	-	-
	263	507	-	-	8.6 %	-	-
	310	592	-	-	-	22.0 %	-
	364	691	-	-	-	-	58 %

気相補正機能付きの FMP45 を装着する場合 (コアキシャルプローブのみ)

アプリケーション

高温・高圧蒸気環境下で蒸気のレベル計測を行う場合。
 高温・高圧下では、蒸気 (イオン化した媒体) 中のマイクロ波の伝搬速度が遅くなります。この物理的影響は、計測技術を用いた自動気相補正機能により補正することができます。
 計測精度は、基準距離 (Lref) が増すほど、また計測範囲が小さくなるほど高くなります。



L00-FMP4xxx-05-00-00-yy-003

急激な圧力変化が発生した場合は、計測距離はレベル計測の 2 倍の時定数でフィルタリングされるため、追加誤差が発生する場合があります。
 またアンバランスな状況 (例えば加熱など) により、媒体の密度と圧力が不均一になったり、プローブ上に結露ができる場合があります。そのため、タンク内のレベル測定値は、場所により多少異なる場合があります。
 このような現象の影響で、計測誤差が 2 ~ 3 倍になる可能性があります。



注意!

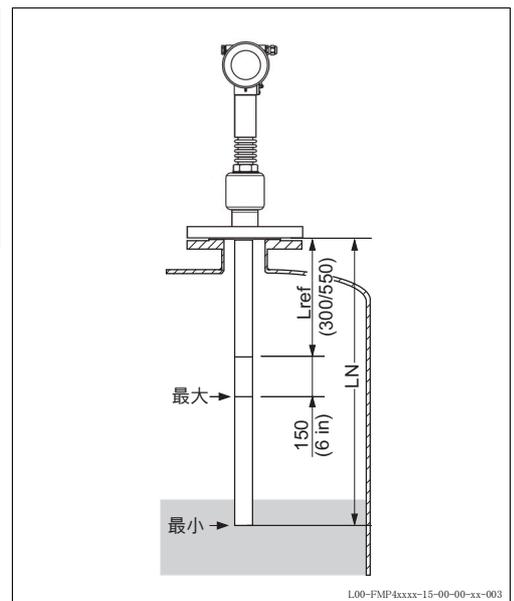
基準反射付きのコアキシャルプローブは、どのタンクにもタンク内に垂らすか、または外筒管内に挿入して設置することができます。コアキシャルプローブの装着および調整は、工場出荷時にすべて行います。そのため新たな設定を必要とせず、すぐに使用することができます。

設置

本タイプのレベルフレックス M は、フランジからの基準距離 (Lref) で基準反射が発生します (→ 6 ページ、「型式」、オプション U : 300 mm/11", オプション V : 550 mm/21")。基準距離は、測定物の最高レベルより 150mm 以上上方に設定する必要があります。レベルフレックス M では、パルスの ToF を基準距離分短く補正して、自動的に測定誤差を小さくするようにしてあります。

コアキシャルプローブの制限

最大プローブ長 (LN)	$LN \leq 4000 \text{ mm}$
最小プローブ長 (LN)	$LN > Lref + 200 \text{ mm}$
基準距離 (Lref)	300 mm / 550 mm
最大レベル (フランジのシール面を基準) :	$Lref + 150 \text{ mm}$
測定物の比誘電率の最小値 :	$D_C > 7$



L00-FMP4xxx-15-00-00-xx-003

10.1.4 動作条件 / 機器周囲環境

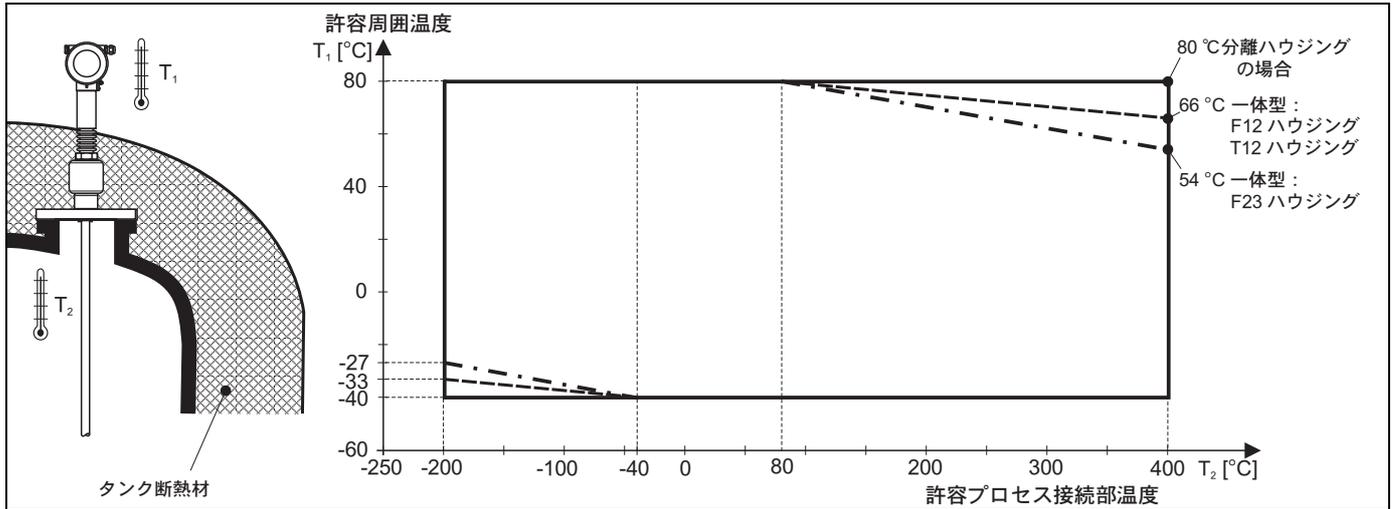
機器周囲温度

伝送器に対する周囲温度：-40℃～+80℃ 機能上 LCD ディスプレイは $T_a < -20℃$ および $T_a > +60℃$ 内のみでしか使用できません。屋外での測定には機器を直射日光から守るため日よけカバーをご使用ください。

限界周囲温度

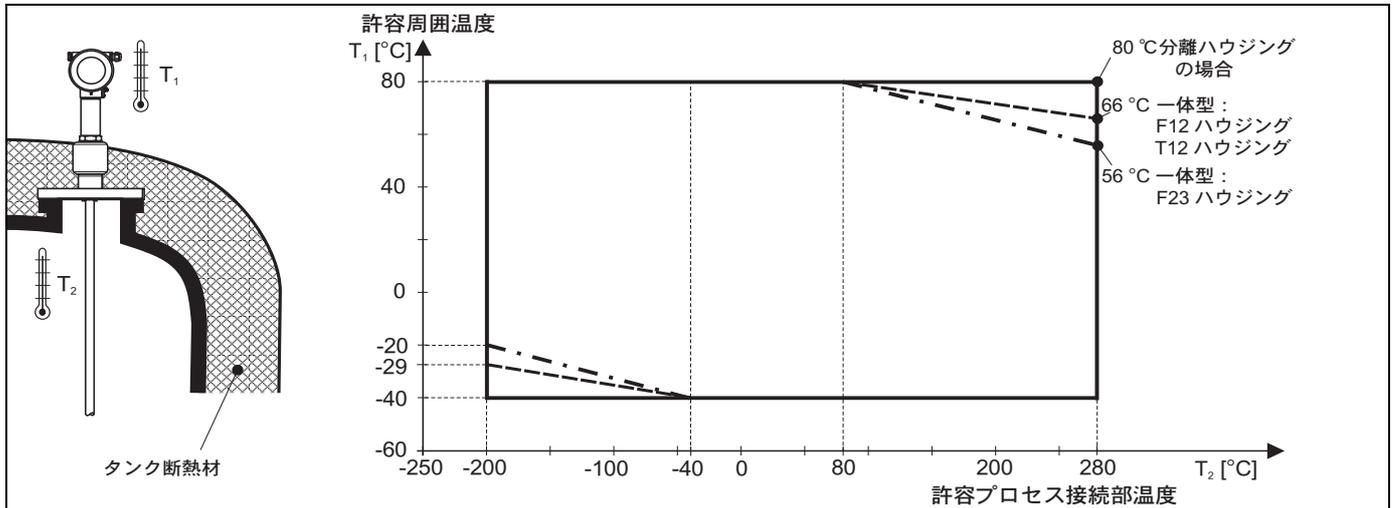
FMP 45 (HT 400℃)

プロセス接続部の温度 (T_2) が -40℃より低いか+80℃より高い場合、許容周囲温度 (T_1) は図に示すように制限されます (温度ディレーティング)。



FMP 45 (XT 280℃)

プロセス接続部の温度 (T_2) が -40℃より低いか+80℃より高い場合、許容周囲温度 (T_1) は図に示すように制限されます (温度ディレーティング)。



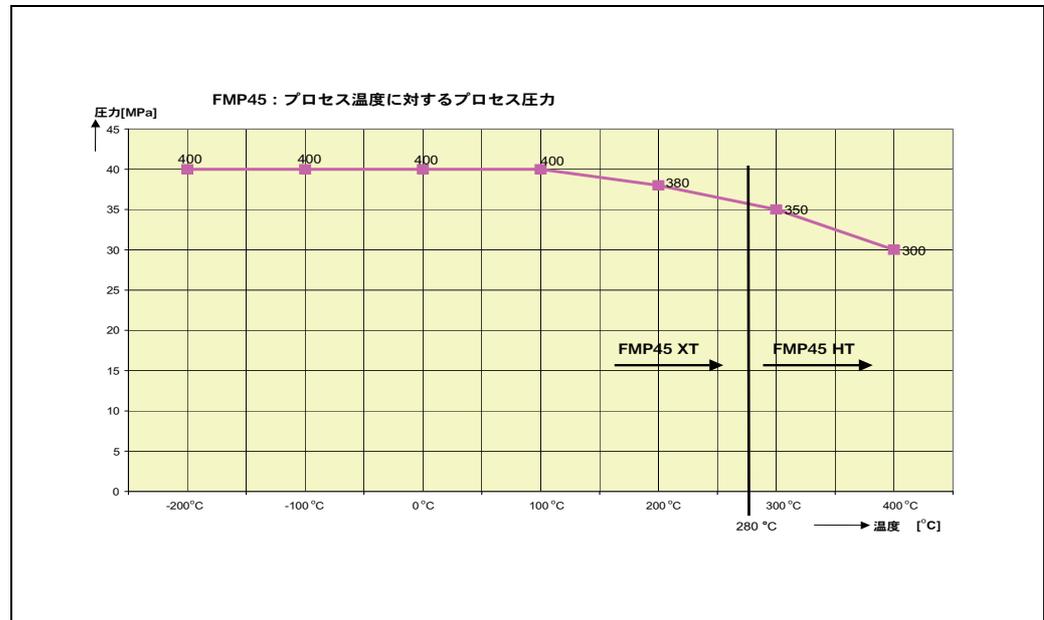
注意！
飽和水蒸気アプリケーションで FMP45 XT を使用する場合は、プロセス温度が 200℃ (392°F) を超えないようにしてください。それよりも高いプロセス温度に対しては、HT バージョンを使用してください。

保存温度	-40 °C ~ +80 °C
気候クラス	DIN EN 60068-2-38 (テスト Z/AD)
耐振動性	DIN EN 60068-2-64 / IEC 68-2-64: 20 ~ 2000 Hz、1 (m/s ²)/Hz プローブの洗浄 アプリケーションによっては、汚れや付着物がプローブに堆積します。堆積が、薄く、均一な場合は、測定への影響も少しです。厚い場合は、信号が減衰し、測定レンジが減少します。かなりの厚み、不均一な付着、結晶化している場合などは、誤った測定結果をもたらします。このような場合、非接触型の測定方法を採用するか、定期的にプローブの付着物を検査されることをお勧めします。
電磁適合性 (EMC)	<p>電磁適合性は、EN 61326 および NAMUR 推奨基準 EMC (NE21) に準拠しています。詳細は「適合性の宣言」に記してあります。アナログ信号だけを使用する場合には標準的な取り付けケーブルで十分です。重畳的な通信信号 (HART) を扱う場合には、シールド付きケーブルを使用してください。</p> <p>金属タンクおよびコンクリートタンクにプローブを設置する場合、あるいはコアキシャルプローブを使用する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> • 干渉波の放出は EN 61326 - x シリーズに準拠：electrical equipment Class B • 干渉波の適合性は EN 61326 - x シリーズに準拠：工業分野および NAMUR 推奨基準 NE21 (EMC) の必要条件 <p>ロッドとプローブが、シールド / 金属壁がなく (例：プラスチック製や木製)、強い磁場が存在する環境に設置されている場合、測定値は影響を受けることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 干渉波の放出は EN 61326 - x シリーズに準拠：electrical equipment Class A • 干渉波の適合性：強い磁場により、測定値は影響を受けます

10.1.5 動作条件 / プロセス

プロセス温度範囲

プロセス接続部（測定ポイントの図を参照）での最高許容温度は使用するプロセス接続により決定されます。

**注意！**

飽和水蒸気アプリケーションで FMP45 XT を使用する場合は、プロセス温度が 200 °C (392 °F) を超えないようにしてください。それよりも高いプロセス温度に対しては、HT バージョンを使用してください。

プロセス圧力の限界

選択したプロセス接続により、図に示した値より低くなる場合があります。圧力レート (PN) はリファレンス温度 20 °C でのフランジ (ASME フランジでは 100°F) における仕様です。圧力 / 温度の依存関係に注意してください。

高温度の許容圧力値については、次の基準を参照してください。

- EN 1092-1: 2001 Tab.18
材質 1.4404 と 1.4435 は温度の安定性特性の点から、EN 1092-1 表 18 の 13E0 に分類されています。2 材質の化学成分は同じです。
- ASME B 16.5a - 1998 Tab. 2-2.2 F316
- ASME B 16.5a - 1998 Tab. 2.3.8 N10276
- JIS B 2220

比誘電率

- ロッドおよびロープ : $DC \geq 1.6$ 、口径 150 mm 以下の金属パイプに取り付ける場合 : $DC \geq 1.4$
- コアキシャルプローブ : $DC \geq 1.4$

10.1.6 機械構造

材質 TI00386F の「材質 (プロセスと接していない)」と「材質 (プロセスと接している)」を参照

プローブ長の許容差

	ロッドプローブ				ローププローブ			
超過 (m / ft)		1 (3.2)	3 (9.8)	6 (20)		1 (3.2)	3 (9.8)	6 (20)
最大 (m / ft)	1 (3.2)	3 (9.8)	6 (20)		1 (3.2)	3 (9.8)	6 (20)	
許容誤差 (mm / inch)	- 5 (- 0.2)	- 10 (- 0.4)	- 20 (- 0.8)	- 30 (- 1.2)	- 10 (- 0.4)	- 20 (- 0.8)	- 30 (- 1.2)	- 40 (- 1.6)

質量

レベルフレックス M	XT バージョン (最大 280 °C)		
	ロッドプローブ	ローププローブ	コアキシャルプローブ
質量 F12 または T12 ハウジングの場合	約 8.5 kg + 約 1.6 kg/m プローブ長 + フランジ質量	約 8.5 kg + 約 0.1 kg/m プローブ長 + フランジ質量	約 8.5 kg + 約 3.5 kg/m プローブ長 + フランジ質量
質量 F23 ハウジング の場合	約 12 kg + 約 1.6 kg/m プローブ長 + フランジ質量	約 12 kg + 約 0.1 kg/m プローブ長 + フランジ質量	約 12 kg + 約 3.5 kg/m プローブ長 + フランジ質量

レベルフレックス M	HT バージョン (最大 400 °C)		
	ロッドプローブ	ローププローブ	コアキシャルプローブ
質量 F12 または T12 ハウジングの場合	約 9.5 kg + 約 1.6 kg/m プローブ長 + フランジ質量	約 9.5 kg + 約 0.1 kg/m プローブ長 + フランジ質量	約 9.5 kg + 約 3.5 kg/m プローブ長 + フランジ質量
質量 F23 ハウジング の場合	約 13 kg + 約 1.6 kg/m プローブ長 + フランジ質量	約 13 kg + 約 0.1 kg/m プローブ長 + フランジ質量	約 13 kg + 約 3.5 kg/m プローブ長 + フランジ質量

10.1.7 証明と認定

CE 認定 計測システムは EC ガイドラインの法的要求に準拠しています。関連の「EC 適合性の宣言」にリストされていますが、同時に規格に適合しています。エンドレスハウザー社は機器が要求されたテストに合格した事を本体の CE マークにより示しています。

製造宣言 許容圧力、温度、負荷サイクル：EN 13445、AD-データシート S2 (FMP 45 用)

Ex 承認 装置は防爆エリアで使用するよう認証されています。型式銘板に安全注意事項が記されています。

- ヨーロッパ：EC タイプ検査証明書、安全注意事項 XA
- USA：FM 承認、制御図
- カナダ：互換性の CSA 証明書、制御図
- 中国：NEPSI 防爆適合宣言、安全注意事項 (XA)
- 日本：Ex 装置の TIIS 証明書

安全注意事項 (XA) および証明書 (ZE) と機器との関係関係：

コード		オプション	ZD256F	ZD199F	ZD198F	ZD177F	ZD176F	ZD174F	ZD173F	ZD172F	ZD166F	ZD165F	ZD162F	ZD159F	ZD157F	ZD156F	XA405F	XA404F	XA388F	XA377F	XA329F	XA274F	XA273F	XA272F	XA270F	XA269F	XA268F	XA264F	XA263F	XA262F	XA261F
10 認定	非防爆	A																													
	NEPSI Ex emb(ia) IIC T6	C																		X											
	非防爆 + WHG	F X																													
	ATEX II 3G Ex nA II T6	G																				X									
	NEPSI Ex ia IIC T6	I															X X														
	NEPSI Ex d(ia) IIC T6	J																		X											
	*TIIS Ex ia IIC T4	K																													
	TIIS Ex d (ia) IIC T4	L																													
	CSA General Purpose	N																													
	*NEPSI DIP	Q																													
	NEPSI Ex nA II T6	R																		X											
	FM IS CII,III,III Div.1 Gr-A-G NI., Zone 0,1,2	S										X X X X X X			X X																
	FM XP CII,III,III Div.1 Gr-A-G, Zone 1,2	T													X																
	CSA IS CII,III,III Div.1 Gr-A-D,G+ coal dustNI., Zone 0,1,2	U	X X X X X X	X X																											
	CSA XP CII,III,III Div.1 Gr-A-D,G+ coal dustNI., Zone 1,2	V					X																								
ATEX II 1/2G Ex ia IIC T6 安全注意事項 (XA) (帯電) に注意!	1																					X X		X X				X X			
ATEX II 2G Ex emb (ia) IIC T6 安全注意事項 (XA) (帯電) に注意!	3																										X				
ATEX II 1/2G Ex ia IIC T6,ATEX II 1/3D 安全注意事項 (XA) (帯電) に注意!	5																				X		X		X						
ATEX II 1/2G Ex ia IIC T6, WHG 安全注意事項 (XA) (帯電) に注意!	6 X																					X X		X X				X X			
ATEX II 1/2G Ex d (ia) IIC T6 安全注意事項 (XA) (帯電) に注意!	7																											X			
ATEX II 1/2G Ex ia IIC T6, ATEX II 1/3D, WHG 安全注意事項 (XA) (帯電) に注意!	8 X																					X		X		X					
40 電源供給 出力：	2線 4-20mA SIL HART	B	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X		
	2線 PROFIBUS PA	D	X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X		
	2線 FOUNDATION Fieldbus	F	X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X	X X X X		
	4線 90-250VAC 4-20mA SIL HART	G																													
	4線 10.5-32VDC 4-20mA SIL HART	H																													
2線 4-20mA HART, Interface	K	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X		
70 ハウジング：	アルミニウム F12 ハウジング、塗装 IP68、NEMA6P	A					X X X X				X X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X			
	SUS316L相当 F23 ハウジング、NEMA6P	B		X X			X	X X X X			X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X		
	アルミニウム T12 ハウジング、塗装 IP68、NEMA6P	C			X						X		X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X		
80 水防栓/ 電線口	アルミニウム T12 ハウジング、塗装 IP68、NEMA6P+過電圧保護	D	X X				X X X X				X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X	X	X X X X		
	電線口 M20 (Exd>電線口 M20)	2															X X X X X X														
	電線口 M20	3															X X X X X X														
	電線口 NPT1/2	4															X X X X X X														
プラグ M12	5															X X X X															
プラグ 7/8"	6															X X X X															

1) ハウジング F12/F23/T12-OVP：電源供給オプション B、D、F と組合わせた場合、電流出力は本質安全となります。
* 準備中

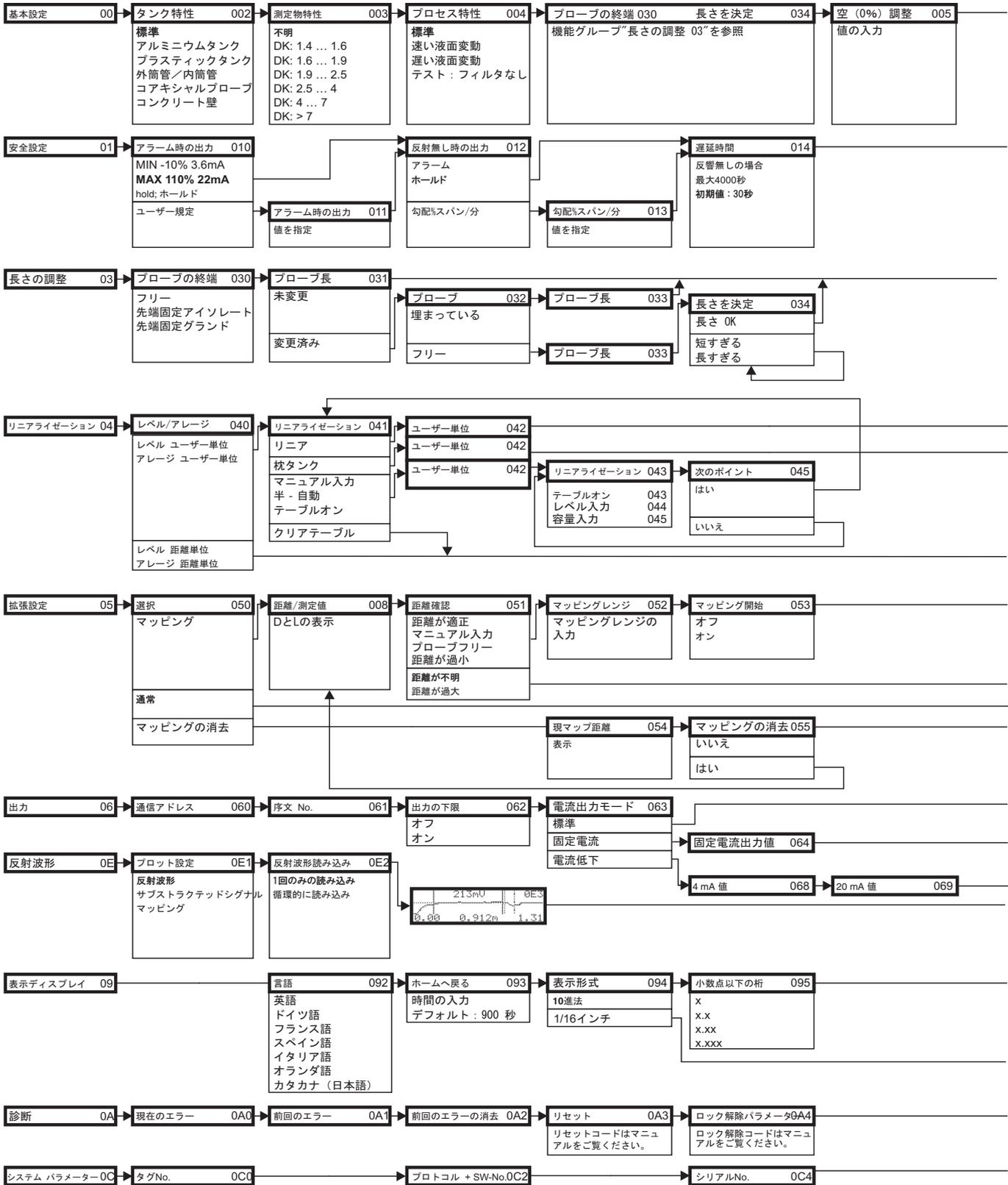
オーバースピル プロテクション	WHG 「型式」 (6 ページ) (ZE00256F/00/DE) を参照してください。 SIL 2、4 ~ 20 mA 出力信号 (SD00174F 「機能安全マニュアル」を参照)。
電気通信	FCC Part 15 に従う。すべてのプローブは Class A デジタル装置の要求事項を遵守しています。 さらに、コアキシャルプローブのみならず金属密閉容器に設置された全てのプローブは Class B デジタル装置に適合しています。
外部規格とガイドライン	ヨーロッパ指令と基準は、関連の EC 「適合性の宣言」 から適用できます。レベルフレックス M には以下も適用されます。 EN60529 ハウジングの保護等級 (IP コード) NAMUR - 化学工業・測定制御基準委員会 <ul style="list-style-type: none"> • NE21 産業プロセスとラボ用制御装置の電磁適合性 (EMC) • NE43 デジタル変換器障害情報に関する信号レベルの標準化
圧力機器指令	FMP45 は、97/23/EC 指令 (圧力機器指令) に該当します。圧力アクセサリ、容量 < 0.1L、カテゴリ I に対応します。 適合評価は、モジュール A (EN 13445 による設計と、AD2000 技術仕様) によって実施されます。 FMP45 は、20 MPa 以上の不安定なガスには適しません。
蒸気ボイラー認定	FMP45 は、EN 12952-11 および EN 12953-9 に準拠し、コンテナ内液体の最高水位 (HW) および最低水位 (LW) 測定用の機器として認定されています (TÜV Nord 認証)。→ 6 ページの 「型式」 を参照してください。詳細は、蒸気ボイラー認定に関する安全注意事項をご覧ください (SD00288F/00/EN)。

10.1.8 関連ドキュメント

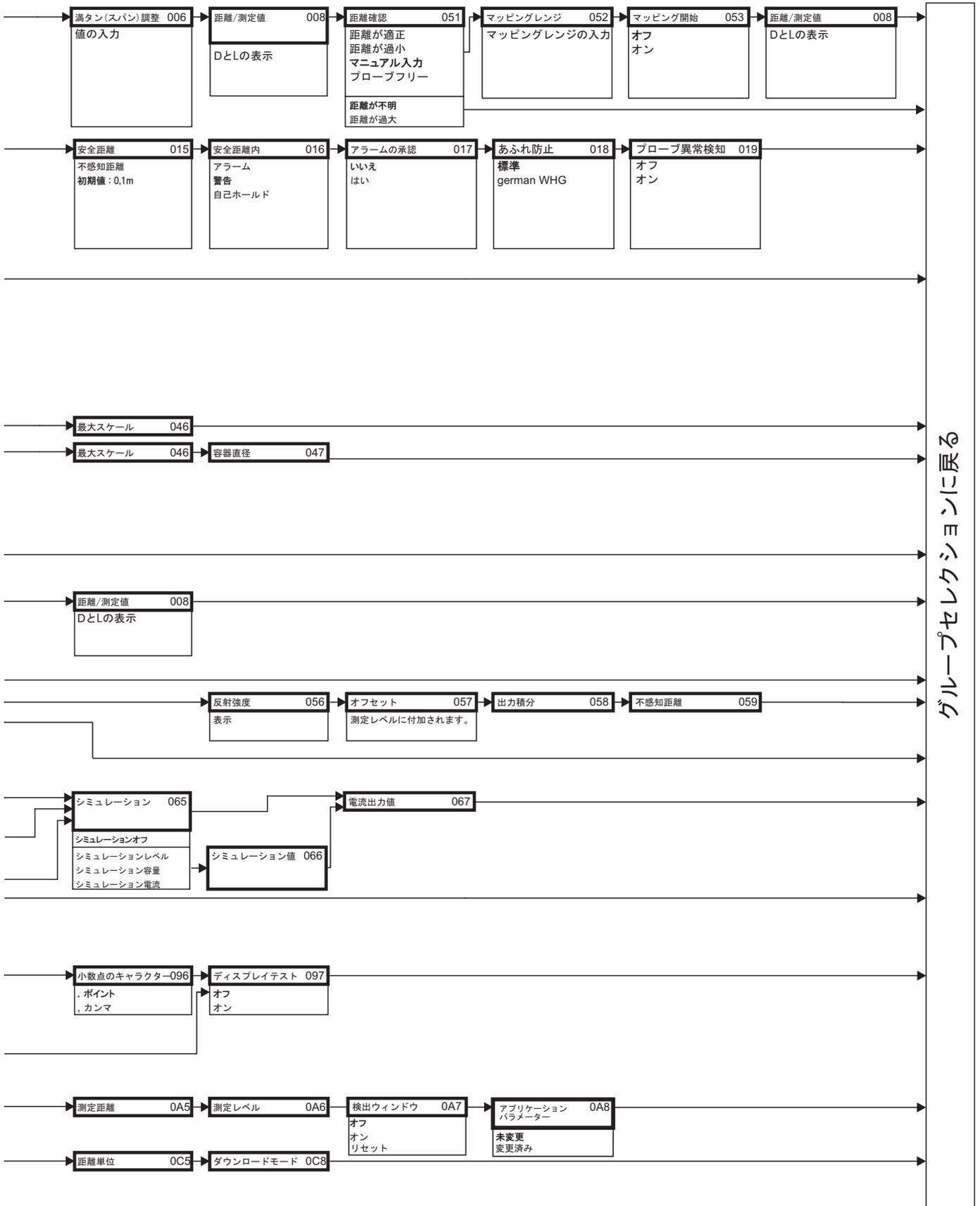
関連ドキュメント	関連ドキュメントは、www.endress.com の製品ページに掲載されています。 <ul style="list-style-type: none"> • 技術仕様書 (TI00386F) • 安全マニュアル "機能安全ハンドブック" (SD00174F) • 証明書 "Allgemeine bauaufsichtliche Zulassung" (ドイツ構造工学研究所による認定) (ZE00256F/00/DE) • 蒸気ボイラー認定に関する安全注意事項 (SD00288F) • 簡易取扱説明書 (KA01044F)
----------	---

11 付録

11.1 HART (表示モジュール) の操作メニュー



注意! パラメーターの既定値は太字で表示されています。



11.2 特許

本製品は、次にリストした少なくとも 1 つの商標によって保護されています。
これら以外にも申請中の特許があります。

- US 5,661,251 ≒ EP 0 780 664
- US 5,827,985 ≒ EP 0 780 664
- US 5,884,231 ≒ EP 0 780 665
- US 5,973,637 ≒ EP 0 928 974

●機器調整（新規調整、再調整、故障）不適合に関するお問い合わせ

サービス部サービスデスク

〒183-0036 府中市日新町 5-70-3

Tel. 042(314)1919 Fax. 042(314)1941

■仙台サービス

〒981-3125 仙台市泉区みずほ台 12-5

Tel. 022(371)2511 Fax. 022(371)2514

■新潟サービス

〒950-0923 新潟市中央区姥ヶ山 4-11-18

Tel. 025(286)5905 Fax. 025(286)5906

■千葉サービス

〒290-0054 市原市五井中央東 1-15-24 斉藤ビル

Tel. 0436(23)4601 Fax. 0436(21)9364

■東京サービス

〒183-0036 府中市日新町 5-70-3

Tel. 042(314)1912 Fax. 042(314)1941

■横浜サービス

〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川 2-8-8 第1川島ビル

Tel. 045(441)5701 Fax. 045(441)5702

■名古屋サービス

〒461-0034 名古屋市東区豊前町 2-28-1

Tel. 052(930)5300 Fax. 052(937)1180

■大阪サービス

〒564-0042 吹田市穂波町 26-4

Tel. 06(6389)8511 Fax. 06(6389)8182

■水島サービス

〒712-8061 倉敷市神田 1-5-5

Tel. 086(445)0611 Fax. 086(448)1464

■徳山サービス

〒745-0814 周南市鼓海 2-118-46

Tel. 0834(25)6231 Fax. 0834(25)6232

■小倉サービス

〒802-0971 北九州市小倉南区守恒本町 3-7-6

Tel. 093(963)2822 Fax. 093(963)2832

■計量器製造業登録工場 ■特定建設業認定工場許可（電気工事業、電気通信工事業）